

平成 22 年度 「取引実態調査」(第 5 回) 結果

平成 23 年 5 月

全国米穀販売事業共済協同組合

目 次

I 調査方法	P. 1
II 調査結果概要	P. 3
III 調査結果	
<取引のある販売先区分>	問 1 P. 10
<告示第 1 項「不当な返品」について>	問 2 ～ 問 5 P. 11
<告示第 2 項「不当な値引」について>	問 6 ～ 問 9 P. 21
<告示第 3 項「不当な委託販売取引」について>	問10 ～ 問12 P. 31
<告示第 4 項「特売商品等の買ったたき」について>	問13 ～ 問16 P. 37
<告示第 5 項「特別注文品の受領拒否」について>	問17 ～ 問20 P. 47
<告示第 6 項「押し付け販売等」について>	問21 ～ 問24 P. 57
<告示第 7 項「納入業者の従業員等の不当使用等」について>	問25 ～ 問28 P. 67
<告示第 8 項「不当な経済上の利益の收受等」について>	問29 ～ 問33 P. 77
<告示第 9 項「要求拒否の場合の不利益な取扱い」について>	問34 ～ 問37 P. 89
<告示第10 項「公正取引委員会への報告に対する 不利益な取扱い」について>	問38 ～ 問 40 P. 99
<その他> 返品がない理由	問 41 P.101
ご意見	問 42 P.103
【ブロック別比較表】	P.106

I 調査方法

1. 調査実施時期

平成23年1月～2月

2. 調査方法

組合員卸への郵送によるアンケート調査

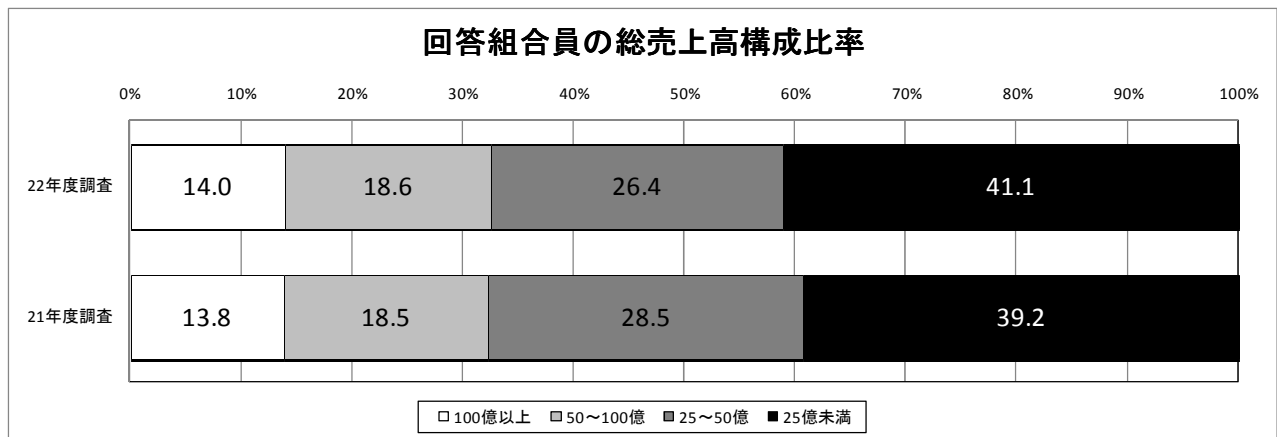
3. 回収結果

		21年度	20年度	19年度
(1) 送付組合員卸数	187卸	193卸	197卸	205卸
(2) 回答組合員卸数	129卸	130卸	120卸	122卸
(3) 回収率	69.0%	67.4%	60.9%	59.5%

留意点

1. 当てはまるもの1つを選ぶ設問の回答は、帯グラフで表示
2. 複数回答の設問は、棒グラフで表示
3. <販売先区分名>の後ろの()は、回答卸数
4. <販売先小売>は、大手スーパー、中小スーパー、百貨店、生協、ホームセンター、ドラッグストアの延回答卸数
5. <販売先実需>は、大手外食事業者、中小外食事業者、ベンダーの延回答卸数
6. ≪全販売先≫は、大手スーパー、中小スーパー、百貨店、生協、ホームセンター、ドラッグストア、大手外食事業者、中小外食事業者、ベンダーの延回答卸数
7. 問4・8・15・19・23・27・31・36の〔具体的内容別に名前の記載があった取引先〕の取引先名は、ランダムなアルファベットであり、実社名の頭文字ではない

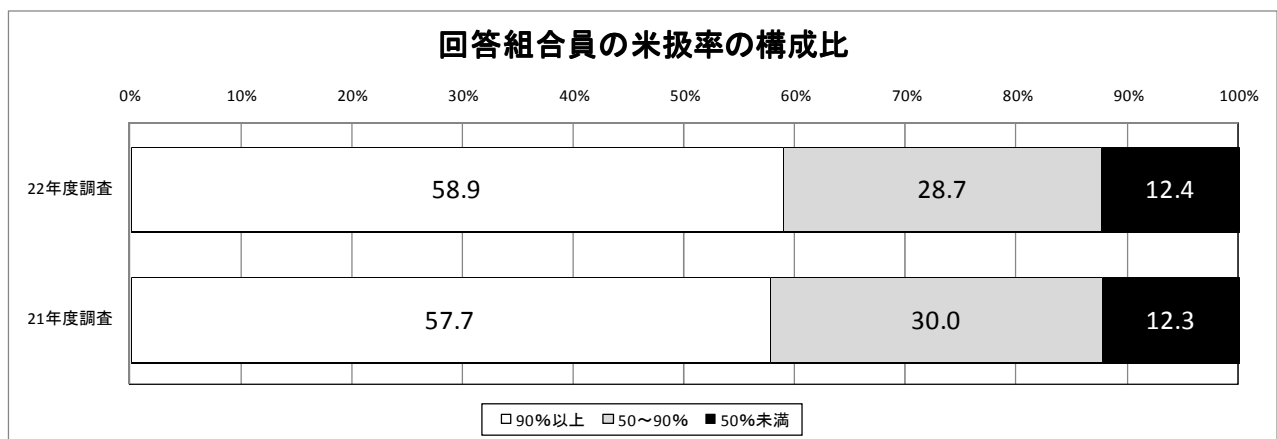
4. 回答組合員の総売上高構成比



売上高構成比 データテーブル

	100億以上	50～100億	25～50億	25億未満	合計
22年度調査	18 卸 14.0 %	24 卸 18.6 %	34 卸 26.4 %	53 卸 41.1 %	129 卸
21年度調査	18 卸 13.8 %	24 卸 18.5 %	37 卸 28.5 %	51 卸 39.2 %	130 卸
増減	± 0 卸 + 0.1 ポイント	± 0 卸 + 0.1 ポイント	▲ 3 卸 ▲ 2.1 ポイント	+ 2 卸 + 1.9 ポイント	▲ 1 卸 ± 0 ポイント

5. 回答組合員の米扱率（総売上高に占める米穀売上高の割合）構成比



米扱率 データテーブル

	90%以上	50～90%	50%未満	合計
22年度調査	76 卸 58.9 %	37 卸 28.7 %	16 卸 12.4 %	129 卸
21年度調査	75 卸 57.7 %	39 卸 30.0 %	16 卸 12.3 %	130 卸
増減	+ 1 卸 + 1.2 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 1.3 ポイント	± 0 卸 + 0.1 ポイント	▲ 1 卸 ± 0 ポイント

Ⅱ 調査結果概要

<取引のある販売先区分>

- 回答組合員 129 卸のうち販売先区分〔1〕大手スーパー〔2〕中小スーパー〔3〕百貨店〔4〕生協〔5〕ホームセンター〔6〕ドラッグストア〔7〕大手外食事業者〔8〕中小外食事業者〔9〕ベンダーのいずれかと取引のある回答組合員は 116 卸であった。
- 最も取引のある販売先区分は、中小スーパー（103 卸 88.8%（取引のある組合員に対する割合。以下同じ））であった。以下、中小外食（92 卸 79.3%）、大手スーパー（75 卸 64.7%）、ベンダー（71 卸 61.2%）との取引が多かった。

以下については、販売先区分〔1〕～〔6〕を<販売先小売>、〔7〕～〔9〕を<販売先実需>、〔1〕～〔9〕全体を<全販売先>としている。

<告示第1項「不当な返品」について>

1. 「不当な返品」の有無

- 「不当な返品が存在する」と回答した卸の割合は、<全販売先>で前年の 30.0%から 19.6%と大きく減少した。
- 全販売先で減少し、特に、ホームセンター（前年比▲28.3 ㊦）、ドラッグストア（同▲23.9 ㊦）の減少が大きかった。
- 割合が多い販売先は、中小スーパー33.0%、ドラッグストア 31.9%、大手スーパー29.7%、ホームセンター23.1%であった。

2. 「不当な返品」と思われる取引の具体的内容

- 最も多く選択されたのは「4. 取引先の責任による破損品の返品」で、<全販売先>は 7.4%（前年比▲5.2 ㊦）であった。
販売先区分では、大手スーパー13.0%、中小スーパー12.8%が多かった。
- 二番目は、前年最も多く選択された「1. 販売期限を経過したとする返品」で、<全販売先>は 5.2%（同▲11.9 ㊦）と昨年比べ大きく減少した。
販売先区分では、ドラッグストア 13.0%、大手スーパー11.6%、中小スーパー10.6%が多かった。
- 三番目は、「3. 新米販売時の古米の返品」で、<全販売先>は 4.9%（同▲7.3 ㊦）であった。
販売先区分では、中小スーパー12.8%、ドラッグストア 8.7%が多かった。
- 四番目は、「5. 顧客のクレーム、またはキャンセルによる返品」で、<全販売先>は 4.7%（同▲4.7 ㊦）であった。
販売先区分では、百貨店 10.0%、大手スーパー7.2%が多かった。
- 五番目は「2. 売残ったとする返品」で、<全販売先>は 3.3%（同▲5.0 ㊦）であった。
販売先区分では、ドラッグストア 8.7%、大手スーパー7.2%、中小スーパー6.4%が多かった。

3. 前年度に比べ、「不当な返品」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策）

- 商品を見直し、回転率の低い商品を外した。
- 各担当者に説明し、注文数量を調整してもらっている。
- 注文の時、過剰発注は確認するようにした。
- 配送頻度や時間帯の調整等を行った（外食）。
- 割引きセールを行うようにした。
- 店の方で値引して売っている。
- 返品について取り決めた。
- 返品無しを条件に納入価格を再考した。
- 粘り強くお願いした。
- 優越的地位の濫用について、取引先の理解度が向上した。
- 公正取引委員会が動いたため。

<告示第2項「不当な値引」について>

1. 「不当な値引」の有無

- 「不当な値引が存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前年の 12.2%から 2.8%（前年比▲9.4 ㊦、）と大きく減少した。
- 全販売先で減少し、ドラッグストア（同▲18.3 ㊦）、大手スーパー（同▲17.1 ㊦）、大手外食（同▲12.3 ㊦）、中小スーパー（同▲10.9 ㊦）、ホームセンター（同▲10.4 ㊦）の減少が大きかった。
- 割合が多い販売先は、ホームセンターの 5.4%であったが、卸数が多い販売先は、中小スーパーの 4 卸であった。

2. 「不当な値引」と思われる取引の具体的内容

- 「1. 販売先が値引き販売等を行ったことを理由に値引き要求」は、大手スーパーで 2 卸、中小スーパーで 1 卸であった。
「2. 業績目標達成のための値引き要求」は、大手スーパーの 1 卸であった。
「3. 他店との価格を比較しての値引き要求」は、中小スーパーで 1 卸、中小外食で 1 卸であった。
「4. その他」は、大手外食で 1 卸、中小外食で 2 卸であった。

3. 前年度に比べ、「不当な値引」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策）

- バイヤー等に商談の度、納品後の値引はできないことを説明している。
- 納入価格、条件、リベート等、事前調整を行っている。
- 事前の価格交渉を緊密に行うことで改善した。
- コンプライアンスを遵守する動きが見られる。

＜告示第3項「不当な委託販売取引」について＞

1. 「不当な委託販売取引」の有無

- 「不当な委託販売取引が存在する」と回答した卸は2卸のみであった。

2. 「不当な委託販売取引」と思われる取引の具体的内容

記載なし

3. 前年度に比べ、「不当な委託販売取引」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策）

- 商談時に内容を詳細に決めた。
- 改善困難な先は取引を辞退した。

＜告示第4項「特売商品等の買ったたき」について＞

1. 「特売商品等の買ったたき」の有無

- 「特売商品等の買ったたきが存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前年が12.8%、本年が13.1%（前年比+0.3㊦）と、ほぼ横ばいであった。
- 販売先区分では、大手スーパー31.5%、中小スーパー20.2%、ドラッグストア 20.0%、ホームセンター19.4%が多かった。
特に、大手スーパー（同+7.8㊦）が前年よりも大きく増加した。
- 「著しく低い価格」と判断した通常納入価格との乖離率は、2%～50%の間で12通りの回答があった。全回答の加重平均は、10.4%であった。
販売先区分の加重平均は、大手スーパー12.2%、中小スーパー11.4%、ホームセンター10.6%、ドラッグストア10.3%が高かった。

2. 「特売商品等の買ったたき」と思われる取引の具体的内容

- 最も多く選択されたのは、「1. 販売先が一方的に納入価格を決定」で、《全販売先》は8.4%（前年比+4.1㊦）であった。
販売先区分では、大手スーパー21.1%、中小スーパー15.5%、ドラッグストア13.3%、ホームセンター11.1%が多かった。特に、大手スーパー（前年比+14.4㊦）が前年に比べ大きく増加した。
- 次に多かった「2. 新店オープン等で著しく低い納入価格を要求」は、前年は最も多かったが、本年は《全販売先》は前年の9.2%から6.5%（同▲2.7㊦）に減少した。
販売先区分では、大手スーパー14.1%、ドラッグストア13.3%、中小スーパー11.3%、ホームセンター11.1%が多かった。

3. 前年度に比べ、「特売商品等の買ったたき」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策）

- 粘り強くお願いした。
- 米の相場状況および社内事情を先方に訴えた。

＜告示第5項「特別注文品の受領拒否」について＞

1. 「特別注文品の受領拒否」の有無

- 「特別注文品の受領拒否が存在する」と回答した卸数は、《全販売先》で延9卸のみで、前年と同数であった。
- 販売先区分では、大手スーパーが2卸、中小スーパーが1卸、生協が1卸、ドラッグストア3卸、中小外食が2卸であった。

2. 「特別注文品の受領拒否」と思われる取引の具体的内容

- 「1. 特別注文品の受領拒否」は、大手スーパー1卸、ドラッグストア3卸、中小外食1卸の延5卸で、「2. 特別の規格品(原料玄米等)の受領拒否」は、大手スーパー1卸、生協1卸であった。

3. 前年度に比べ、「特別注文品の受領拒否」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由(改善策)

- PB商品であっても年間数量契約とせず、こまめに受注している。

＜告示第6項「押し付け販売等」について＞

1. 「押し付け販売等」の有無

- 「押し付け販売等が存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で15.1%（前年比▲0.5㊦）とほぼ横ばいであった。
- 販売先区分では、大手外食（同▲4.8㊦）、大手スーパー（同▲1.8㊦）という大手販売先が減少したもの、中小スーパー（同+2.2㊦）、中小外食（同+2.4㊦）、ベンダー（同+4.8㊦）という中小販売先が増加した。

2. 「押し付け販売等」と思われる取引の具体的内容

- 最も多く選択されたのは、前年と同様「1. 仕入担当者等仕入取引に影響を及ぼす者が購入を要請」であったが、《全販売先》は前年の13.0%から9.3%（前年比▲3.7㊦）に減少した。
販売先区分は、大手スーパー16.2%、中小スーパー15.2%、大手外食14.3%、中小外食12.5%であった。
- 次に選択されたのは「2. 組織的又は計画的に購入を要請」で、《全販売先》は前年の6.1%から4.9%（同▲1.2㊦）に減少した。
選択の多かった販売先区分は、大手外食11.9%であった。

3. 前年度に比べ、「押し付け販売等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由(改善策)

記載なし

＜告示第7項「納入業者の従業員等の不当使用等」について＞

1. 「納入業者の従業員等の不当使用等」の有無

- 「納入業者の従業員等の不当使用等が存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前年の12.0%から5.0%（前年比▲7.0㊦）と大きく減少した。
販売先区分では、全販売先で減少しており、特に、大手スーパー10.8%（同▲21.7㊦）が大きく減少したが、最も高い割合であった。

2. 「納入業者の従業員等の不当使用等」と思われる取引の具体的内容

- 最も多く選択されたのは「4. 従業員等の派遣のために通常必要な費用を負担しない」であったが、《全販売先》でも延7卸であった。
販売先区分は、中小スーパーが5卸で、あとは大手スーパーと百貨店が各1卸であった。
- 前年最も多く、大手外食以外全ての販売先で選択された「1. 新店オープン、特売や棚卸時の人的応援」は、大手スーパー3卸、中小スーパー1卸のみと大きく減少した。

3. 前年度に比べ、「納入業者の従業員等の不当使用等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策）

- 事前に打合せし、新規オープン等の陳列の手伝いはするが、その他の場合はできないことを説明している。
- 公正取引委員会の介入を受けたため。
- 他のスーパーで不当使用が発覚したため。

＜告示第8項「不当な経済上の利益の收受等」について＞

1. 「不当な経済上の利益の收受等」の有無

- 「不当な経済上の利益の收受等が存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前年の10.0%から6.1%（前年比▲3.9㊦）に減少した。
販売先区分では、百貨店で存在するとの回答がなくなり（前年は9.1%）、大手外食2.4%、（同▲7.1㊦）、中小外食2.2%（同▲7.7㊦）が大きく減少した。増加したのは、ドラッグストア12.5%（同+4.3㊦）のみであった。
- 卸の割合の多い販売先区分は、大手スーパー13.5%、中小スーパー9.8%、ドラッグストア12.5%であった。

2. 「不当な経済上の利益の收受等」と思われる取引の具体的内容

- 最も多く選択されたのは、「3. 決算対策協賛金の要求」で、《全販売先》は2.0%、延11卸（前年比▲0.4㊦、▲2卸）と前年からほぼ横ばいであった。
販売先区分では、大手スーパーと中小スーパーで、前年と同数の5卸が選択した。ドラッグストアと中小外食は選択卸がなくなった。
- 前年最も多く選択された「4. 過度の協賛金の要求」は、《全販売先》で0.6%、延3卸（昨年比▲3.2㊦、▲17卸）と前年に比べ大きく減少した。
販売先区分では、ホームセンター、ドラッグストア、中小外食で各1卸のみとなった。
- 前年三番目に多かった「7. 売り場装飾費用の要求」（昨年《全販売先》2.3%、延12卸）は、本年はなくなった。

3. 決算対策協賛金要求の具体的事例

- 延 13 卸から回答があり、最も多いのは「決算対策協賛金」としての要求で延 8 卸（大手スーパー5 卸、中小スーパー3 卸）、その他は、「創業祭協賛金」（大手スーパー）、「〇〇周年協賛金」（中小スーパー）、「年末協賛金」（中小スーパー）という別の名目での協賛金、「納入価格の引下げ」、「仕入値引処理」であった。

4. 前年度に比べ、「不当な経済上の利益の收受等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策）

- 細かな打合せを行うようにしている。

<告示第9項「要求拒否の場合の不利益な取扱い」について>

1. 「要求拒否の場合の不利益な取扱い」の有無

- 「要求拒否の場合の不利益な取扱いが存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で 3.6%（前年比▲1.0 ㊦）であった。
販売先区分では、大手スーパー12.3%（同+3.2 ㊦）が昨年同様最も多かった。

2. 「要求拒否の場合の不利益な取扱い」と思われる取引の具体的内容

- 最も多く選択されたのは、「2. 発注数量の減少」で、《全販売先》は、1.3%、延 7 卸（前年比▲1.6 ㊦、▲9 卸）と、昨年に比べて減少した。
販売先区分では、大手スーパー4.1%、3 卸（昨年比+1.5 ㊦、+1 卸）が最も多かった。
- 次に選択されたのは、「3. アイテム・スペースの縮小」と「4. チラシからの削除」で、いずれも延 5 卸であった。

3. 前年度に比べ、「要求拒否の場合の不利益な取扱い」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策）

記載なし

<告示第10項「公正取引委員会への報告に対する不利益な取扱い」について>

1. 「公正取引委員会への報告に対する不利益な取扱い」の有無

昨年同様、存在するとの回答はない。

2. 「公正取引委員会への報告に対する不利益な取扱い」と思われる取引の具体的内容

存在するとの回答がないため記載なし。

3. 前年度に比べ、「公正取引委員会への報告に対する不利益な取扱い」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策）

記載なし

＜その他＞

1. 返品がない理由

- 最も多く選択されたのは、「2. 取引先が返品はしない主義である（「自らの責任で仕入れたものは、自らの責任で売り切るもの」という考え）」で、《全販売先》51.5%、＜販売先小売＞49.5%、＜販売先実需＞54.9%であった。
販売先区分では、大手スーパー（67.4%）、大手外食（65.4%）、生協（63.6%）が多かった。
- 次に選択されたのが、「3. 双方の合意を遵守している」で、《全販売先》50.2%、＜販売先小売＞47.4%、＜販売先実需＞54.9%であった。
- 三番目は「1. 返品を受けない条件として、納入価格メリットを出している（価格を低く設定している）」で、《全販売先》17.3%、＜販売先小売＞20.6%、＜販売先実需＞11.5%であった。

「4. その他」として記載された理由

- 返品を受け付けない。
- 取引先が販売期限を設けていない。
- 取引先の在庫を当社が調整している。
- 取引先が1週間～10日間の使用分の仕入でやっている。
- 精米年月日が古い米は自主的に取替えている。

以上

Ⅲ 調査結果

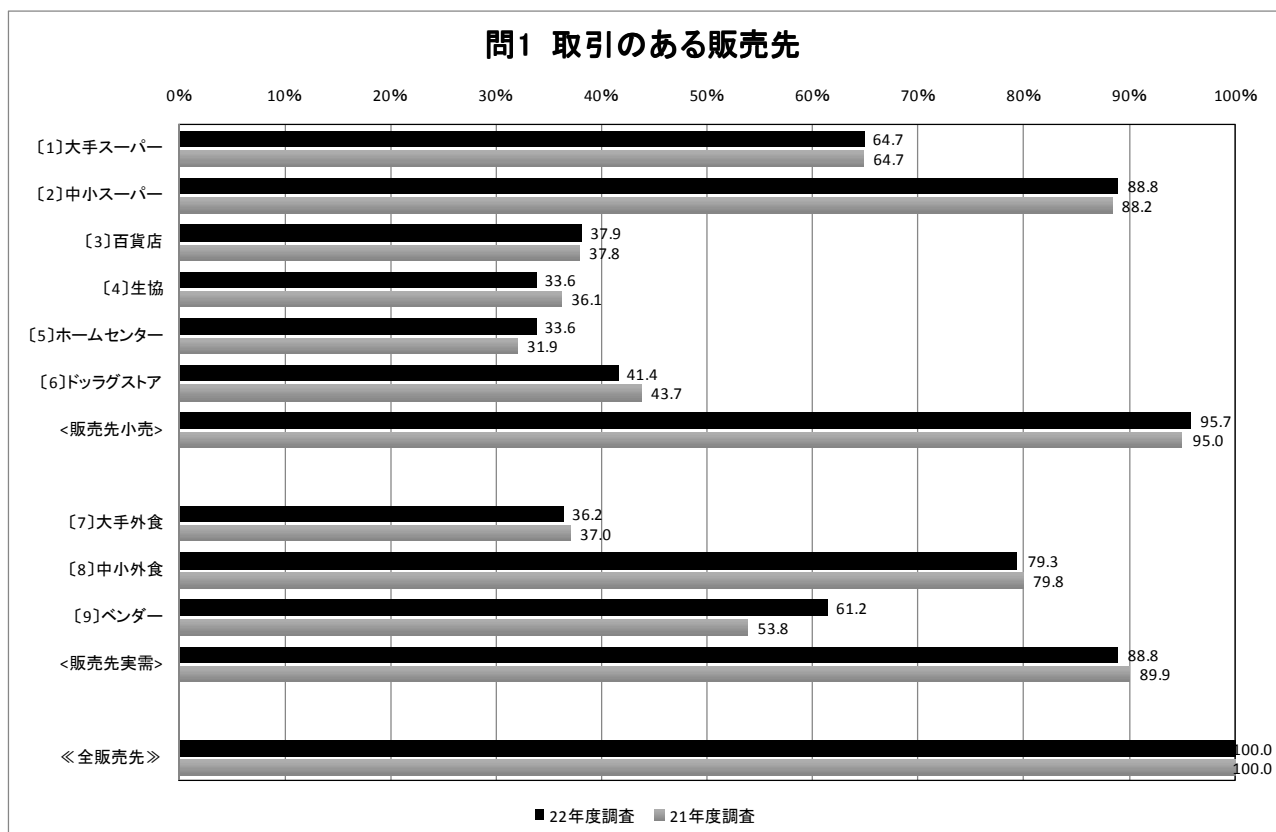
<取引のある販売先区分>

問1 現在、取引のある販売先区分を以下の中から選んで下さい。

現在取引のある販売先を下記の販売先区分より選択。該当する区分のない場合は、「該当なし」を選択。

〔1〕 大手スーパー 〔2〕 中小スーパー 〔3〕 百貨店 〔4〕 生協
 〔5〕 ホームセンター 〔6〕 ドラッグストア 〔7〕 大手外食事業者 〔8〕 中小外食事業者
 〔9〕 ベンダー 〔10〕 該当なし

- 回答組合員 129 卸のうち販売先区分〔1〕～〔9〕のいずれかと取引のある回答組合員は 116 卸であった。
- 最も取引のある販売先区分は、中小スーパー（103 卸 88.8%（取引のある組合員に対する割合。以下同じ））であった。
- 以下、中小外食（92 卸 79.3%）、大手スーパー（75 卸 64.7%）、ベンダー（71 卸 61.2%）との取引が多かった。



問1 データテーブル

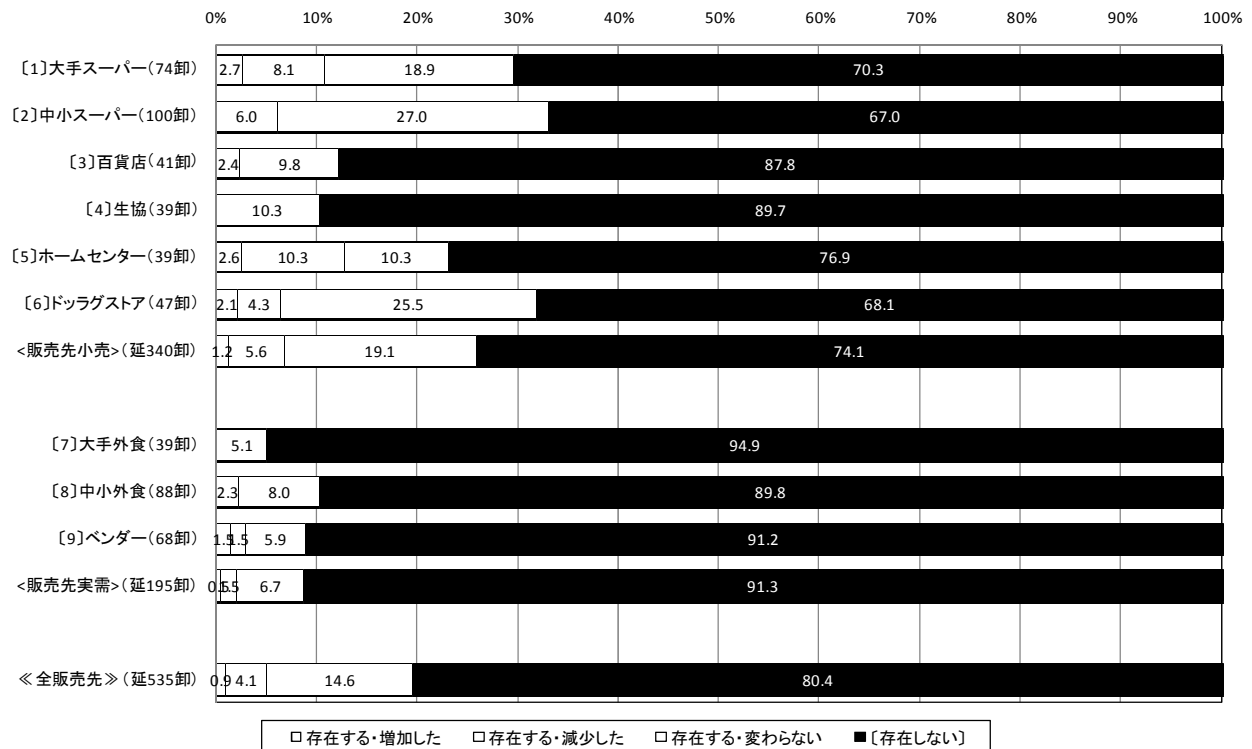
	〔1〕大手スーパー	〔2〕中小スーパー	〔3〕百貨店	〔4〕生協	〔5〕ホームセンター	〔6〕ドラッグストア	<販売先小売>	〔7〕大手外食	〔8〕中小外食	〔9〕ベンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>	〔10〕該当なし	回答卸数
22年度調査	75 卸 64.7 %	103 卸 88.8 %	44 卸 37.9 %	39 卸 33.6 %	39 卸 33.6 %	48 卸 41.4 %	111 卸 95.7 %	42 卸 36.2 %	92 卸 79.3 %	71 卸 61.2 %	103 卸 88.8 %	116 卸 100.0 %	13 卸 —	129 卸 —
21年度調査	77 卸 64.7 %	105 卸 88.2 %	45 卸 37.8 %	43 卸 36.1 %	38 卸 31.9 %	52 卸 43.7 %	113 卸 95.0 %	44 卸 37.0 %	95 卸 79.8 %	64 卸 53.8 %	107 卸 89.9 %	119 卸 100.0 %	11 卸 —	130 卸 —
増減	▲ 2 卸 ▲ 0.1 %	▲ 2 卸 + 0.6 %	▲ 1 卸 + 0.1 %	▲ 4 卸 ▲ 2.5 %	+ 1 卸 + 1.7 %	▲ 4 卸 ▲ 2.3 %	▲ 2 卸 + 0.7 %	▲ 2 卸 ▲ 0.8 %	▲ 3 卸 ▲ 0.5 %	+ 7 卸 + 7.4 %	▲ 4 卸 ▲ 1.1 %	▲ 3 卸 ± 0 %	延 + 2 卸 —	▲ 1 卸 —

＜告示第1項「不当な返品」について＞

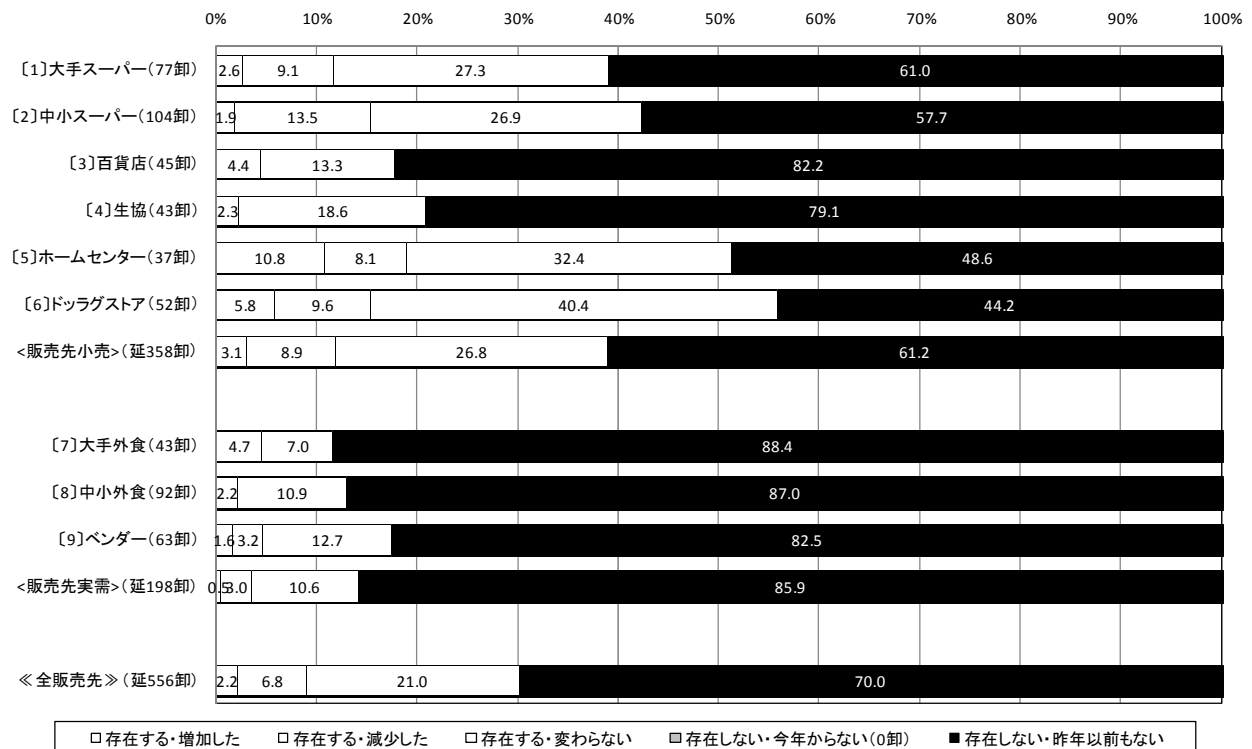
問 2 現在、販売先との取引において「不当な返品」（「貴卸の責めに帰す事由（例えば異物混入等）がある場合」、「合意による返品条件（例えば販売期限等）に従って返品する場合」あるいは「貴卸から申出をし、貴卸の直接の利益となる場合」等は該当しない）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄 1 か所に○を付して下さい。

- 「不当な返品が存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前年の 30.0%から 19.6%（前年比▲10.4 ㊦）と大きく減少した。
- 販売先区分では、全販売先で減少し、特に、ホームセンター23.1%（同▲28.3 ㊦）、ドラッグストア 31.9%（同▲23.9 ㊦）の減少が大きかった。
- 「不当な返品が存在する」と回答した卸の割合が多い販売先は、中小スーパー33.0%（同▲9.3 ㊦）、ドラッグストア、大手スーパー29.7%（同▲9.2 ㊦）、ホームセンター23.1%（同▲28.3 ㊦）であった。

問2「不当な返品」の有無



問2「不当な返品」の有無(21年度)



問2 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
存在する ・増加した	22年度調査	2 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	2 卸 2.6 %	2 卸 1.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	4 卸 10.8 %	3 卸 5.8 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 1.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 8.2 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 3.6 ポイ
存在する ・減少した	22年度調査	6 卸 8.1 %	6 卸 6.0 %	1 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	4 卸 10.3 %	2 卸 4.3 %
	21年度調査	7 卸 9.1 %	14 卸 13.5 %	2 卸 4.4 %	1 卸 2.3 %	3 卸 8.1 %	5 卸 9.6 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	▲ 8 卸 ▲ 7.5 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	+ 1 卸 + 2.1 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 5.4 ポイ
存在する ・変わらない	22年度調査	14 卸 18.9 %	27 卸 27.0 %	4 卸 9.8 %	4 卸 10.3 %	4 卸 10.3 %	12 卸 25.5 %
	21年度調査	21 卸 27.3 %	28 卸 26.9 %	6 卸 13.3 %	8 卸 18.6 %	12 卸 32.4 %	21 卸 40.4 %
	増減	▲ 7 卸 ▲ 8.4 ポイ	▲ 1 卸 + 0.1 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 3.6 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 8.3 ポイ	▲ 8 卸 ▲ 22.2 ポイ	▲ 9 卸 ▲ 14.9 ポイ
〔存在する〕	22年度調査	22 卸 29.7 %	33 卸 33.0 %	5 卸 12.2 %	4 卸 10.3 %	9 卸 23.1 %	15 卸 31.9 %
	21年度調査	30 卸 39.0 %	44 卸 42.3 %	8 卸 17.8 %	9 卸 20.9 %	19 卸 51.4 %	29 卸 55.8 %
	増減	▲ 8 卸 ▲ 9.2 ポイ	▲ 11 卸 ▲ 9.3 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 5.6 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 10.7 ポイ	▲ 10 卸 ▲ 28.3 ポイ	▲ 14 卸 ▲ 23.9 ポイ
〔存在しない〕	22年度調査	52 卸 70.3 %	67 卸 67.0 %	36 卸 87.8 %	35 卸 89.7 %	30 卸 76.9 %	32 卸 68.1 %
	21年度調査	47 卸 61.0 %	60 卸 57.7 %	37 卸 82.2 %	34 卸 79.1 %	18 卸 48.6 %	23 卸 44.2 %
	増減	+ 5 卸 + 9.2 ポイ	+ 7 卸 + 9.3 ポイ	▲ 1 卸 + 5.6 ポイ	+ 1 卸 + 10.7 ポイ	+ 12 卸 + 28.3 ポイ	+ 9 卸 + 23.9 ポイ
取引卸数	22年度調査	74 卸	100 卸	41 卸	39 卸	39 卸	47 卸
	21年度調査	77 卸	104 卸	45 卸	43 卸	37 卸	52 卸
	増減	▲ 3 卸	▲ 4 卸	▲ 4 卸	▲ 4 卸	+ 2 卸	▲ 5 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	《全販売先》
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.5 %	延 1 卸 0.5 %	延 5 卸 0.9 %
延 11 卸 3.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 12 卸 2.2 %
延 ▲ 7 卸 ▲ 1.9 割	± 0 卸 ± 0 割	± 0 卸 ± 0 割	± 0 卸 ▲ 0.1 割	延 ± 0 卸 + 0.0 割	延 ▲ 7 卸 ▲ 1.2 割
延 19 卸 5.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.3 %	1 卸 1.5 %	延 3 卸 1.5 %	延 22 卸 4.1 %
延 32 卸 8.9 %	2 卸 4.7 %	2 卸 2.2 %	2 卸 3.2 %	延 6 卸 3.0 %	延 38 卸 6.8 %
延 ▲ 13 卸 ▲ 3.4 割	▲ 2 卸 ▲ 4.7 割	± 0 卸 + 0.1 割	▲ 1 卸 ▲ 1.7 割	延 ▲ 3 卸 ▲ 1.5 割	延 ▲ 16 卸 ▲ 2.7 割
延 65 卸 19.1 %	2 卸 5.1 %	7 卸 8.0 %	4 卸 5.9 %	延 13 卸 6.7 %	延 78 卸 14.6 %
延 96 卸 26.8 %	3 卸 7.0 %	10 卸 10.9 %	8 卸 12.7 %	延 21 卸 10.6 %	延 117 卸 21.0 %
延 ▲ 31 卸 ▲ 7.7 割	▲ 1 卸 ▲ 1.8 割	▲ 3 卸 ▲ 2.9 割	▲ 4 卸 ▲ 6.8 割	延 ▲ 8 卸 ▲ 3.9 割	延 ▲ 39 卸 ▲ 6.5 割
延 88 卸 25.9 %	2 卸 5.1 %	9 卸 10.2 %	6 卸 8.8 %	延 17 卸 8.7 %	延 105 卸 19.6 %
延 139 卸 38.8 %	5 卸 11.6 %	12 卸 13.0 %	11 卸 17.5 %	延 28 卸 14.1 %	延 167 卸 30.0 %
延 ▲ 51 卸 ▲ 12.9 割	▲ 3 卸 ▲ 6.5 割	▲ 3 卸 ▲ 2.8 割	▲ 5 卸 ▲ 8.6 割	延 ▲ 11 卸 ▲ 5.4 割	延 ▲ 62 卸 ▲ 10.4 割
延 252 卸 74.1 %	37 卸 94.9 %	79 卸 89.8 %	62 卸 91.2 %	延 178 卸 91.3 %	延 430 卸 80.4 %
延 219 卸 61.2 %	38 卸 88.4 %	80 卸 87.0 %	52 卸 82.5 %	延 170 卸 85.9 %	延 389 卸 70.0 %
延 + 33 卸 + 12.9 割	▲ 1 卸 + 6.5 割	▲ 1 卸 + 2.8 割	+ 10 卸 + 8.6 割	延 + 8 卸 + 5.4 割	延 + 41 卸 + 10.4 割
延 340 卸	39 卸	88 卸	68 卸	延 195 卸	延 535 卸
延 358 卸	43 卸	92 卸	63 卸	延 198 卸	延 556 卸
延 ▲ 18 卸	▲ 4 卸	▲ 4 卸	+ 5 卸	延 ▲ 3 卸	延 ▲ 21 卸

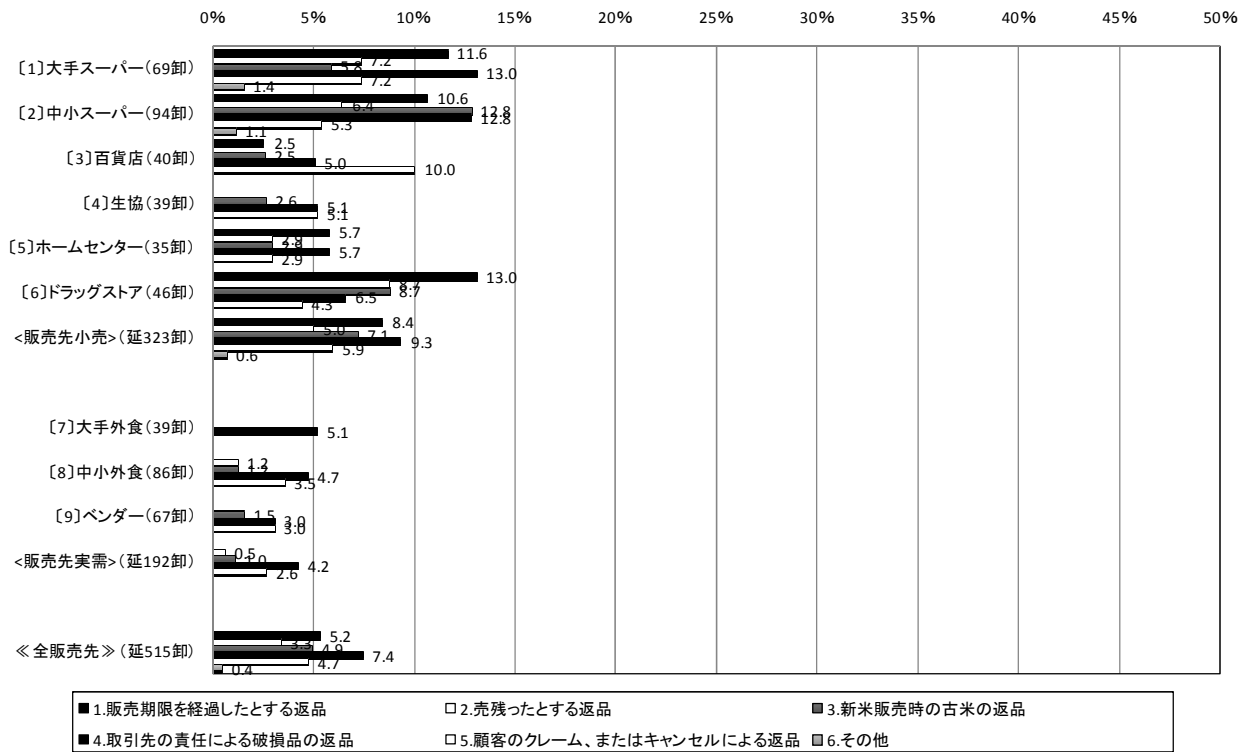
問 3 前問で「存在する」に○を付した具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に○を付して下さい（複数可）。

選択肢

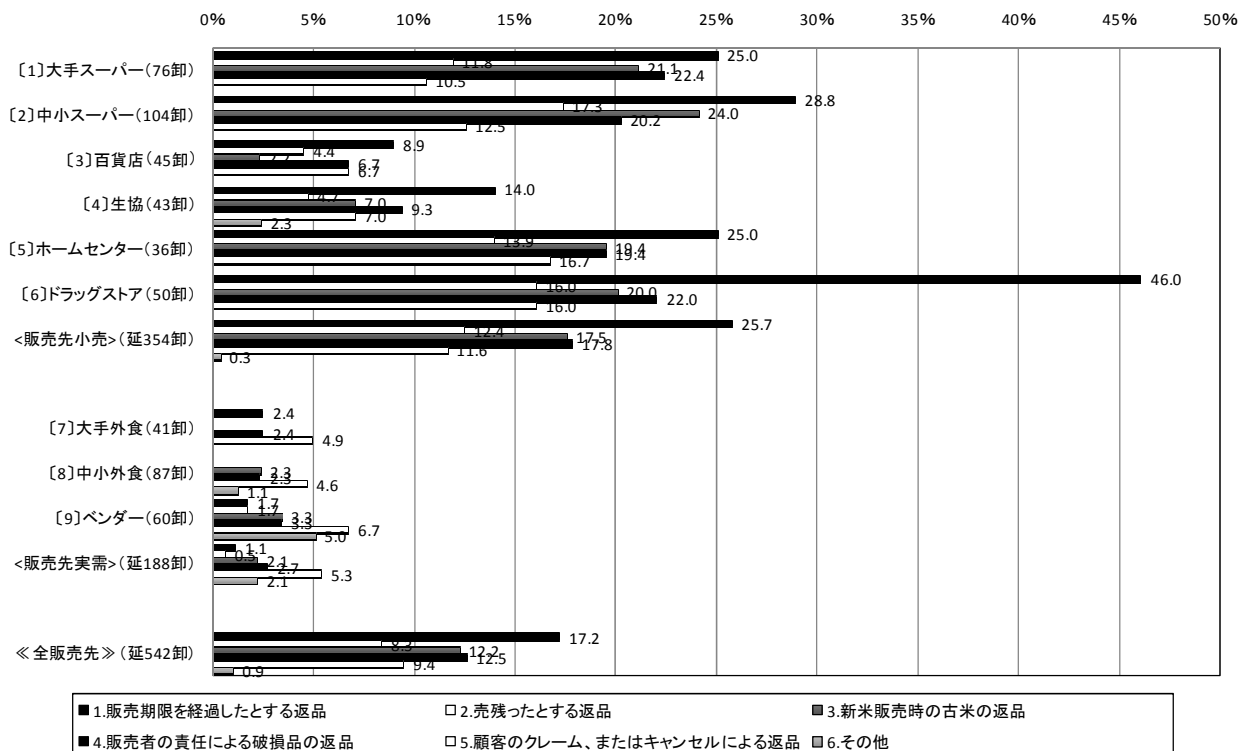
1. 購入前の合意もなく、取引先が一方的に定めた販売期限を経過したとして返品された（販売期限を経過したとする返品）
2. 購入前の合意もなく、売残った商品が返品された（売残ったとする返品）
3. 購入前の合意もなく、あるいは貴卸からの申し出もないのに、新米販売時に古米が返品された（新米販売時の古米の返品）
4. 購入前の合意もなく、取引先の責任による破損品が返品された（取引先の責任による破損品の返品）
5. 購入前の合意もなく、顧客からのクレーム、またはキャンセルがあったとして返品された（顧客のクレーム、またはキャンセルによる返品）
6. その他

- 最も多く選択されたのは「4. 取引先の責任による破損品の返品」で、《全販売先》は7.4%（前年比▲5.2 ㊦）であった。
＜販売先小売＞9.3%（同▲8.5 ㊦）と＜販売先実需＞4.2%（同＋1.5 ㊦）では＜販売先実需＞は前年比増加しているものの、＜販売先小売＞の方が多かった。
販売先区分では、大手スーパー13.0%（同▲9.4 ㊦）、中小スーパー12.8%（同▲7.4 ㊦）が多かった。
- 二番目は、前年最も多く選択された「1. 販売期限を経過したとする返品」で、《全販売先》は5.2%（同▲11.9 ㊦）と昨年比べ大きく減少した。
販売先区分では、ドラッグストア 13.0%（同▲33.0 ㊦）、大手スーパー11.6%（同▲13.4 ㊦）、中小スーパー10.6%（同▲18.2 ㊦）が多かったが、前年に比べいずれも大きく減少した。
なお、生協と＜販売先実需＞の大手外食、中小外食、ベンダーはなくなった。
- 三番目は、「3. 新米販売時の古米の返品」で、《全販売先》は4.9%（同▲7.3 ㊦）であった。
販売先区分では、中小スーパー12.8%（同▲11.3 ㊦）、ドラッグストア 8.7%（同▲11.3 ㊦）が多かった。
- 四番目は、「5. 顧客のクレーム、またはキャンセルによる返品」で、《全販売先》は4.7%（同▲4.7 ㊦）であった。
販売先区分では、百貨店 10.0%（同＋3.3 ㊦）、大手スーパー7.2%（同▲3.3 ㊦）が多かった。
- 五番目は「2. 売残ったとする返品」で、《全販売先》は3.3%（同▲5.0 ㊦）であった。
販売先区分では、ドラッグストア 8.7%（同▲7.3 ㊦）、大手スーパー7.2%（同▲4.6 ㊦）、中小スーパー6.4%（同▲10.9 ㊦）が多かった。

問3 「不当な返品」の具体的内容



問3 「不当な返品」の具体的内容(21年度)



問3 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
1.販売期限を 経過したとす る返品	22年度調査	8 卸 11.6 %	10 卸 10.6 %	1 卸 2.5 %	0 卸 0.0 %	2 卸 5.7 %	6 卸 13.0 %
	21年度調査	19 卸 25.0 %	30 卸 28.8 %	4 卸 8.9 %	6 卸 14.0 %	9 卸 25.0 %	23 卸 46.0 %
	増減	▲ 11 卸 ▲ 13.4 ポイ	▲ 20 卸 ▲ 18.2 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 6.4 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 14.0 ポイ	▲ 7 卸 ▲ 19.3 ポイ	▲ 17 卸 ▲ 33.0 ポイ
2.売残ったと する返品	22年度調査	5 卸 7.2 %	6 卸 6.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	4 卸 8.7 %
	21年度調査	9 卸 11.8 %	18 卸 17.3 %	2 卸 4.4 %	2 卸 4.7 %	5 卸 13.9 %	8 卸 16.0 %
	増減	▲ 4 卸 ▲ 4.6 ポイ	▲ 12 卸 ▲ 10.9 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.4 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.7 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 11.0 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 7.3 ポイ
3.新米販売時 の古米の返品	22年度調査	4 卸 5.8 %	12 卸 12.8 %	1 卸 2.5 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.9 %	4 卸 8.7 %
	21年度調査	16 卸 21.1 %	25 卸 24.0 %	1 卸 2.2 %	3 卸 7.0 %	7 卸 19.4 %	10 卸 20.0 %
	増減	▲ 12 卸 ▲ 15.3 ポイ	▲ 13 卸 ▲ 11.3 ポイ	± 0 卸 + 0.3 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.4 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 16.6 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 11.3 ポイ
4.取引先の責 任による破損 品の返品	22年度調査	9 卸 13.0 %	12 卸 12.8 %	2 卸 5.0 %	2 卸 5.1 %	2 卸 5.7 %	3 卸 6.5 %
	21年度調査	17 卸 22.4 %	21 卸 20.2 %	3 卸 6.7 %	4 卸 9.3 %	7 卸 19.4 %	11 卸 22.0 %
	増減	▲ 8 卸 ▲ 9.3 ポイ	▲ 9 卸 ▲ 7.4 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.7 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.2 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 13.7 ポイ	▲ 8 卸 ▲ 15.5 ポイ
5.顧客のク レーム、また はキャンセル による返品	22年度調査	5 卸 7.2 %	5 卸 5.3 %	4 卸 10.0 %	2 卸 5.1 %	1 卸 2.9 %	2 卸 4.3 %
	21年度調査	8 卸 10.5 %	13 卸 12.5 %	3 卸 6.7 %	3 卸 7.0 %	6 卸 16.7 %	8 卸 16.0 %
	増減	▲ 3 卸 ▲ 3.3 ポイ	▲ 8 卸 ▲ 7.2 ポイ	+ 1 卸 + 3.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.8 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 13.8 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 11.7 ポイ
6.その他	22年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 1 卸 + 1.4 ポイ	+ 1 卸 + 1.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
取引卸数	22年度調査	69 卸	94 卸	40 卸	39 卸	35 卸	46 卸
	21年度調査	76 卸	104 卸	45 卸	43 卸	36 卸	50 卸
	増減	▲ 7 卸	▲ 10 卸	▲ 5 卸	▲ 4 卸	▲ 1 卸	▲ 4 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ペンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 27 卸 8.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 27 卸 5.2 %
延 91 卸 25.7 %	1 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.7 %	延 2 卸 1.1 %	延 93 卸 17.2 %
延 ▲ 64 卸 ▲ 17.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.7 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 1.1 ポイ	延 ▲ 66 卸 ▲ 11.9 ポイ
延 16 卸 5.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 17 卸 3.3 %
延 44 卸 12.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.7 %	延 1 卸 0.5 %	延 45 卸 8.3 %
延 ▲ 28 卸 ▲ 7.5 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 1.2 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.7 ポイ	延 ± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ	延 ▲ 28 卸 ▲ 5.0 ポイ
延 23 卸 7.1 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	1 卸 1.5 %	延 2 卸 1.0 %	延 25 卸 4.9 %
延 62 卸 17.5 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.3 %	2 卸 3.3 %	延 4 卸 2.1 %	延 66 卸 12.2 %
延 ▲ 39 卸 ▲ 10.4 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.8 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 1.1 ポイ	延 ▲ 41 卸 ▲ 7.3 ポイ
延 30 卸 9.3 %	2 卸 5.1 %	4 卸 4.7 %	2 卸 3.0 %	延 8 卸 4.2 %	延 38 卸 7.4 %
延 63 卸 17.8 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.3 %	2 卸 3.3 %	延 5 卸 2.7 %	延 68 卸 12.5 %
延 ▲ 33 卸 ▲ 8.5 ポイ	+ 1 卸 + 2.7 ポイ	+ 2 卸 + 2.4 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.3 ポイ	延 + 3 卸 + 1.5 ポイ	延 ▲ 30 卸 ▲ 5.2 ポイ
延 19 卸 5.9 %	0 卸 0.0 %	3 卸 3.5 %	2 卸 3.0 %	延 5 卸 2.6 %	延 24 卸 4.7 %
延 41 卸 11.6 %	2 卸 4.9 %	4 卸 4.6 %	4 卸 6.7 %	延 10 卸 5.3 %	延 51 卸 9.4 %
延 ▲ 22 卸 ▲ 5.7 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.9 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 3.7 ポイ	延 ▲ 5 卸 ▲ 2.7 ポイ	延 ▲ 27 卸 ▲ 4.7 ポイ
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	3 卸 5.0 %	延 4 卸 2.1 %	延 5 卸 0.9 %
延 + 1 卸 + 0.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 5.0 ポイ	延 ▲ 4 卸 ▲ 2.1 ポイ	延 ▲ 3 卸 ▲ 0.5 ポイ
延 323 卸	39 卸	86 卸	67 卸	延 192 卸	延 515 卸
延 354 卸	41 卸	87 卸	60 卸	延 188 卸	延 542 卸
延 ▲ 31 卸	▲ 2 卸	▲ 1 卸	+ 7 卸	延 + 4 卸	延 ▲ 27 卸

問 4 前問で○を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

〔略〕

問 5 昨年と比べて、「不当な返品」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

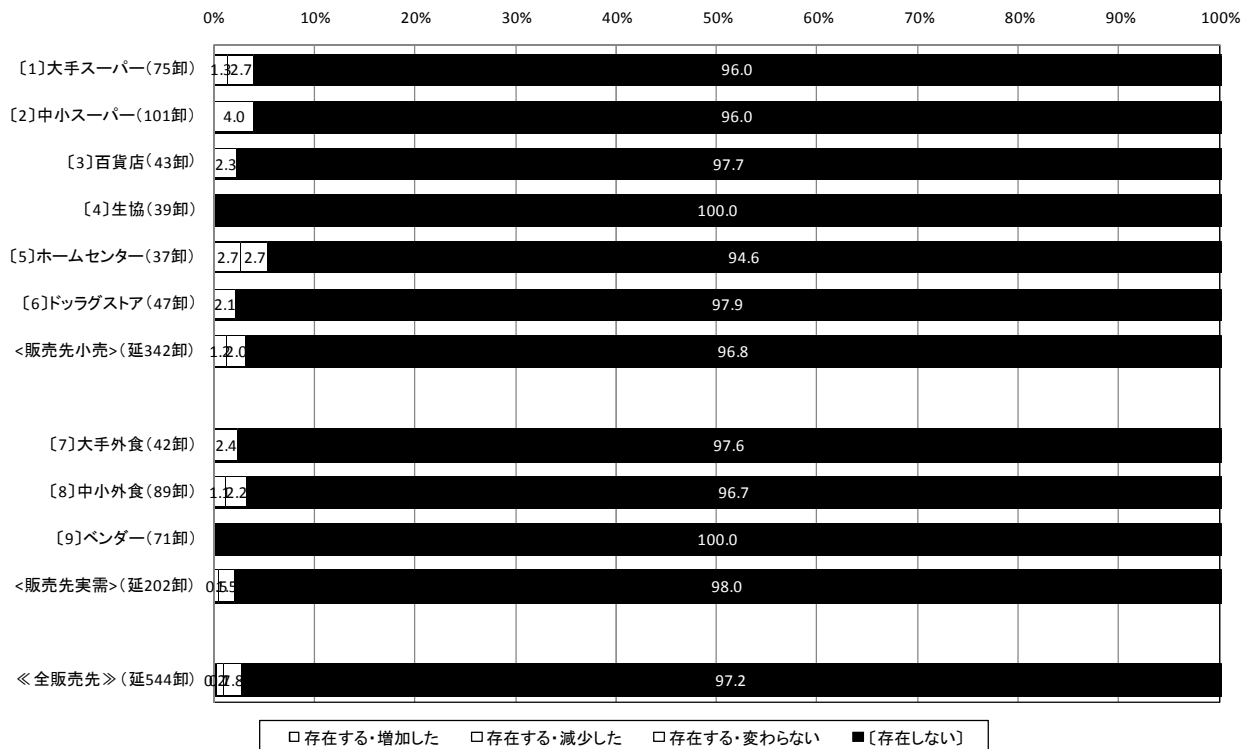
- 商品を見直し、回転率の低い商品を外した
- 各担当者に説明し、注文数量を調整してもらっている
- 注文の時、過剰発注は確認するようにした
- 配送頻度や時間帯の調整等を行った（外食）
- 割引きセールを行うようにした
- 店の方で値引して売っている
- 返品について取り決めた
- 返品無しを条件に納入価格を再考
- 粘り強くお願いした
- 優越的地位の濫用への理解度が向上した
- 公正取引員会が動いた

＜告示第2項「不当な値引」について＞

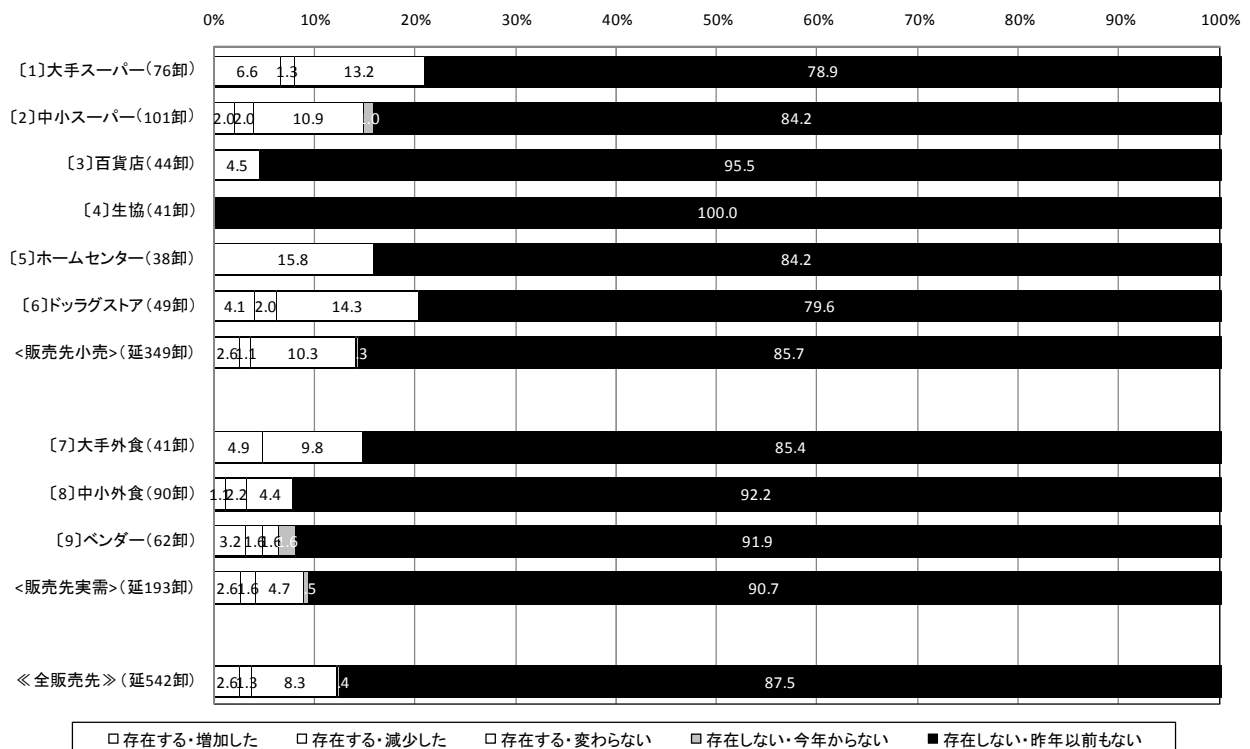
問 6 現在、販売先との取引において「不当な値引」（商品購入後の納入価格の一方向的な値引）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「不当な値引が存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前年の12.2%から2.8%（前年比▲9.4 ㊦、）と大きく減少した。
- 販売先区分では、前年もなかった生協を除き全販売先で減少し、ドラッグストア2.1%（同▲18.3 ㊦）、大手スーパー4.0%（同▲17.1 ㊦）、大手外食2.4%（同▲12.3 ㊦）、中小スーパー4.0%（同▲10.9 ㊦）、ホームセンター5.4%（同▲10.4 ㊦）の減少が大きかった。
- 「不当な値引が存在する」と回答した卸の割合が多い販売先は、ホームセンターの5.4%であったが、その卸数は2卸（同▲4 卸）のみであった。卸数で1番多い販売先は、中小スーパーの4卸（同▲11 卸）であった。なお、前年最も多かった大手スーパーは3卸（同▲13 卸）であった。

問6「不当な値引」の有無



問6「不当な値引」の有無(21年度)



問6 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
存在する ・増加した	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	5 卸 6.6 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.1 %
	増減	▲ 5 卸 ▲ 6.6 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.1 ポイ
存在する ・減少した	22年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	1 卸 1.3 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.0 %
	増減	± 0 卸 + 0.0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイ	+ 1 卸 + 2.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.7 ポイ	± 0 卸 + 0.1 ポイ
存在する ・変わらない	22年度調査	2 卸 2.7 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	10 卸 13.2 %	11 卸 10.9 %	2 卸 4.5 %	0 卸 0.0 %	6 卸 15.8 %	7 卸 14.3 %
	増減	▲ 8 卸 ▲ 10.5 ポイ	▲ 7 卸 ▲ 6.9 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.5 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 13.1 ポイ	▲ 7 卸 ▲ 14.3 ポイ
〔存在する〕	22年度調査	3 卸 4.0 %	4 卸 4.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	2 卸 5.4 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	16 卸 21.1 %	15 卸 14.9 %	2 卸 4.5 %	0 卸 0.0 %	6 卸 15.8 %	10 卸 20.4 %
	増減	▲ 13 卸 ▲ 17.1 ポイ	▲ 11 卸 ▲ 10.9 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.2 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 10.4 ポイ	▲ 9 卸 ▲ 18.3 ポイ
〔存在しない〕	22年度調査	72 卸 96.0 %	97 卸 96.0 %	42 卸 97.7 %	39 卸 100.0 %	35 卸 94.6 %	46 卸 97.9 %
	21年度調査	60 卸 78.9 %	86 卸 85.1 %	42 卸 95.5 %	41 卸 100.0 %	32 卸 84.2 %	39 卸 79.6 %
	増減	+ 12 卸 + 17.1 ポイ	+ 11 卸 + 10.9 ポイ	± 0 卸 + 2.2 ポイ	▲ 2 卸 ± 0 ポイ	+ 3 卸 + 10.4 ポイ	+ 7 卸 + 18.3 ポイ
取引卸数	22年度調査	75 卸	101 卸	43 卸	39 卸	37 卸	47 卸
	21年度調査	76 卸	101 卸	44 卸	41 卸	38 卸	49 卸
	増減	▲ 1 卸	± 0 卸	▲ 1 卸	▲ 2 卸	▲ 1 卸	▲ 2 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ペンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 1 卸 0.2 %
延 9 卸 2.6 %	2 卸 4.9 %	1 卸 1.1 %	2 卸 3.2 %	延 5 卸 2.6 %	延 14 卸 2.6 %
延 ▲ 9 卸 ▲ 2.6 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 3.2 ポイ	延 ▲ 4 卸 ▲ 2.1 ポイ	延 ▲ 13 卸 ▲ 2.4 ポイ
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.7 %
延 4 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.2 %	1 卸 1.6 %	延 3 卸 1.6 %	延 7 卸 1.3 %
延 ± 0 卸 + 0.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.2 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 3 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 3 卸 ▲ 0.6 ポイ
延 7 卸 2.0 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 3 卸 1.5 %	延 10 卸 1.8 %
延 36 卸 10.3 %	4 卸 9.8 %	4 卸 4.4 %	1 卸 1.6 %	延 9 卸 4.7 %	延 45 卸 8.3 %
延 ▲ 29 卸 ▲ 8.3 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 7.4 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.2 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 6 卸 ▲ 3.2 ポイ	延 ▲ 35 卸 ▲ 6.5 ポイ
延 11 卸 3.2 %	1 卸 2.4 %	3 卸 3.3 %	0 卸 0.0 %	延 4 卸 2.0 %	延 15 卸 2.8 %
延 49 卸 14.0 %	6 卸 14.6 %	7 卸 7.8 %	4 卸 6.5 %	延 17 卸 8.8 %	延 66 卸 12.2 %
延 ▲ 38 卸 ▲ 10.8 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 12.3 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 4.4 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 6.5 ポイ	延 ▲ 13 卸 ▲ 6.8 ポイ	延 ▲ 51 卸 ▲ 9.4 ポイ
延 331 卸 96.8 %	41 卸 97.6 %	87 卸 96.7 %	71 卸 100.0 %	延 199 卸 98.0 %	延 530 卸 97.2 %
延 300 卸 86.0 %	35 卸 85.4 %	83 卸 92.2 %	58 卸 93.5 %	延 176 卸 91.2 %	延 476 卸 87.8 %
延 + 31 卸 + 10.8 ポイ	+ 6 卸 + 12.3 ポイ	+ 4 卸 + 4.4 ポイ	+ 13 卸 + 6.5 ポイ	延 + 23 卸 + 6.8 ポイ	延 + 54 卸 + 9.4 ポイ
延 342 卸	42 卸	90 卸	71 卸	延 203 卸	延 545 卸
延 349 卸	41 卸	90 卸	62 卸	延 193 卸	延 542 卸
延 ▲ 7 卸	+ 1 卸	± 0 卸	+ 9 卸	延 + 10 卸	延 + 3 卸

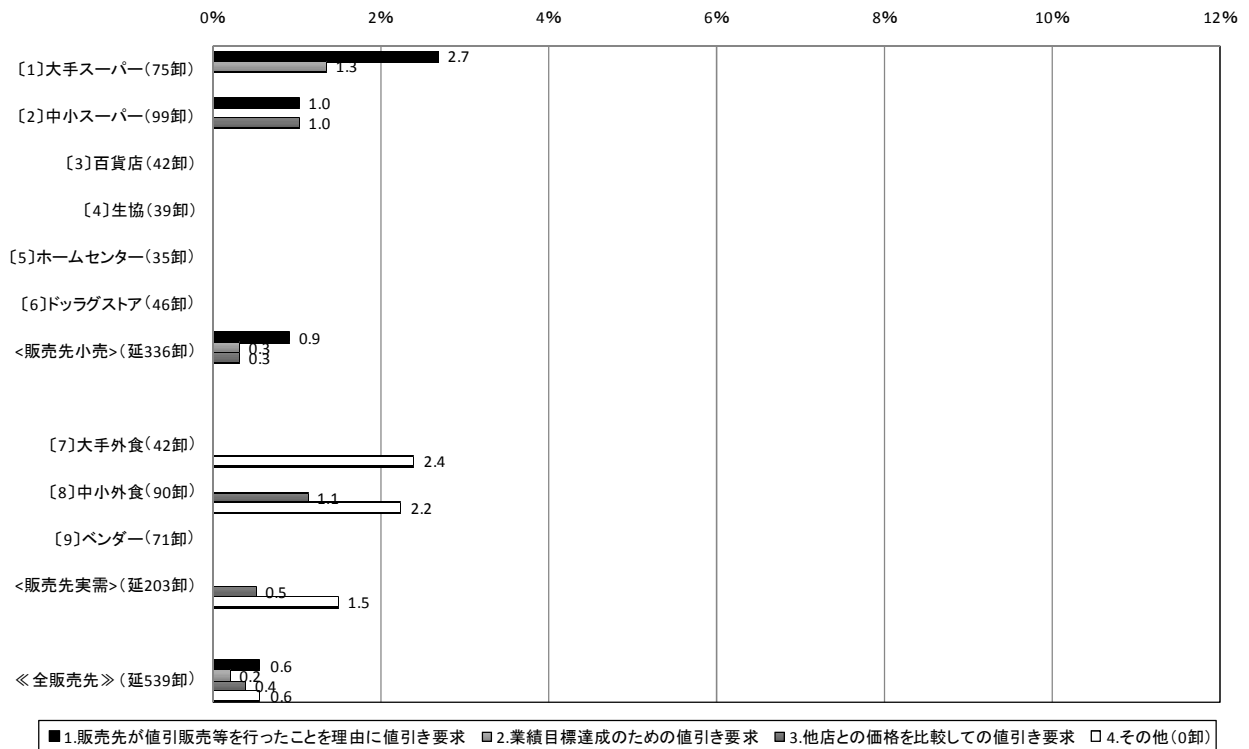
問 7 前問で「存在する」に○を付した具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に○を付して下さい（複数可）。

選択肢

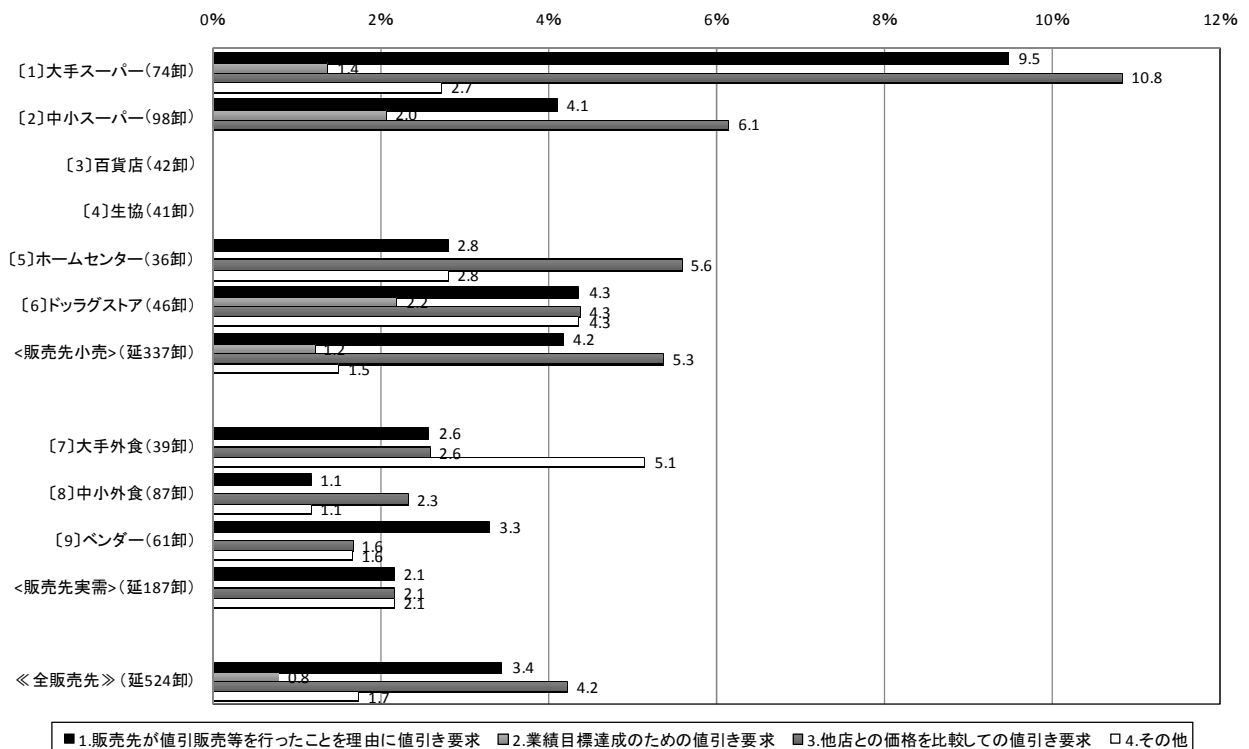
1. 商品購入後に、値引き販売等を行ったことを理由に納入価格を値引させられた
（販売先が値引き販売等を行ったことを理由に値引き要求）
2. 商品購入後に、当初の業績目標に達成しなかったことを理由に値引させられた
（業績目標達成のための値引き要求）
3. 商品購入後に、他店の販売価格が安いことを理由に値引させられた
（他店との価格を比較しての値引き要求）
4. その他

- 前問で存在するとの回答数が延15卸（前年比▲51卸）と前年よりも大きく減少したため、本問の選択数も選択肢1～4の合計で延9卸（同▲44卸）のみと前年よりも大きく減少した。
- 「1. 販売先が値引き販売等を行ったことを理由に値引き要求」は、大手スーパーで2卸（同▲5卸）、中小スーパーで1卸（同▲3卸）であった。
「2. 業績目標達成のための値引き要求」は、大手スーパーの1卸（同±0卸）のみであった。
「3. 他店との価格を比較しての値引き要求」は、中小スーパーで1卸（同▲5卸）、中小外食で1卸（同▲1卸）であった。
「4. その他」は、大手外食で1卸、中小外食で2卸であった。

問7「不当な値引」の具体的内容



問7「不当な値引」の具体的内容(21年度)



問7 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
1.販売先が値引販売等を行ったことを理由に値引き要求	22年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	7 卸 9.5 %	4 卸 4.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	2 卸 4.3 %
	増減	▲ 5 卸 ▲ 6.8 ポイント	▲ 3 卸 ▲ 3.1 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 4.3 ポイント
2.業績目標達成のための値引き要求	22年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.2 %
	増減	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.2 ポイント
3.他店との価格を比較しての値引き要求	22年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	8 卸 10.8 %	6 卸 6.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 5.6 %	2 卸 4.3 %
	増減	▲ 8 卸 ▲ 10.8 ポイント	▲ 5 卸 ▲ 5.1 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 5.6 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 4.3 ポイント
4.その他	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	2 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	2 卸 4.3 %
	増減	▲ 2 卸 ▲ 2.7 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 4.3 ポイント
取引卸数	22年度調査	75 卸	99 卸	42 卸	39 卸	35 卸	46 卸
	21年度調査	74 卸	98 卸	42 卸	41 卸	36 卸	46 卸
	増減	+ 1 卸	+ 1 卸	± 0 卸	▲ 2 卸	▲ 1 卸	± 0 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 14 卸 4.2 %	1 卸 2.6 %	1 卸 1.1 %	2 卸 3.3 %	延 4 卸 2.1 %	延 18 卸 3.4 %
延 ▲ 11 卸 ▲ 3.3 ㊦	▲ 1 卸 ▲ 2.6 ㊦	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ㊦	▲ 2 卸 ▲ 3.3 ㊦	延 ▲ 4 卸 ▲ 2.1 ㊦	延 ▲ 15 卸 ▲ 2.9 ㊦
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.8 %
延 ▲ 3 卸 ▲ 0.9 ㊦	± 0 卸 ± 0 ㊦	± 0 卸 ± 0 ㊦	± 0 卸 ± 0 ㊦	延 ± 0 卸 ± 0 ㊦	延 ▲ 3 卸 ▲ 0.6 ㊦
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 2 卸 0.4 %
延 18 卸 5.3 %	1 卸 2.6 %	2 卸 2.3 %	1 卸 1.6 %	延 4 卸 2.1 %	延 22 卸 4.2 %
延 ▲ 17 卸 ▲ 5.0 ㊦	▲ 1 卸 ▲ 2.6 ㊦	▲ 1 卸 ▲ 1.2 ㊦	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ㊦	延 ▲ 3 卸 ▲ 1.6 ㊦	延 ▲ 20 卸 ▲ 3.8 ㊦
延 0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 3 卸 1.5 %	延 3 卸 0.6 %
延 5 卸 1.5 %	2 卸 5.1 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.6 %	延 4 卸 2.1 %	延 9 卸 1.7 %
延 ▲ 5 卸 ▲ 1.5 ㊦	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ㊦	+ 1 卸 + 1.1 ㊦	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ㊦	延 ▲ 1 卸 ▲ 0.7 ㊦	延 ▲ 6 卸 ▲ 1.2 ㊦
延 336 卸	42 卸	90 卸	71 卸	延 203 卸	延 539 卸
延 337 卸	39 卸	87 卸	61 卸	延 187 卸	延 524 卸
延 ▲ 1 卸	+ 3 卸	+ 3 卸	+ 10 卸	延 + 16 卸	延 + 15 卸

問 8 前問で○を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

〔略〕

問 9 昨年と比べて、「不当な値引」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

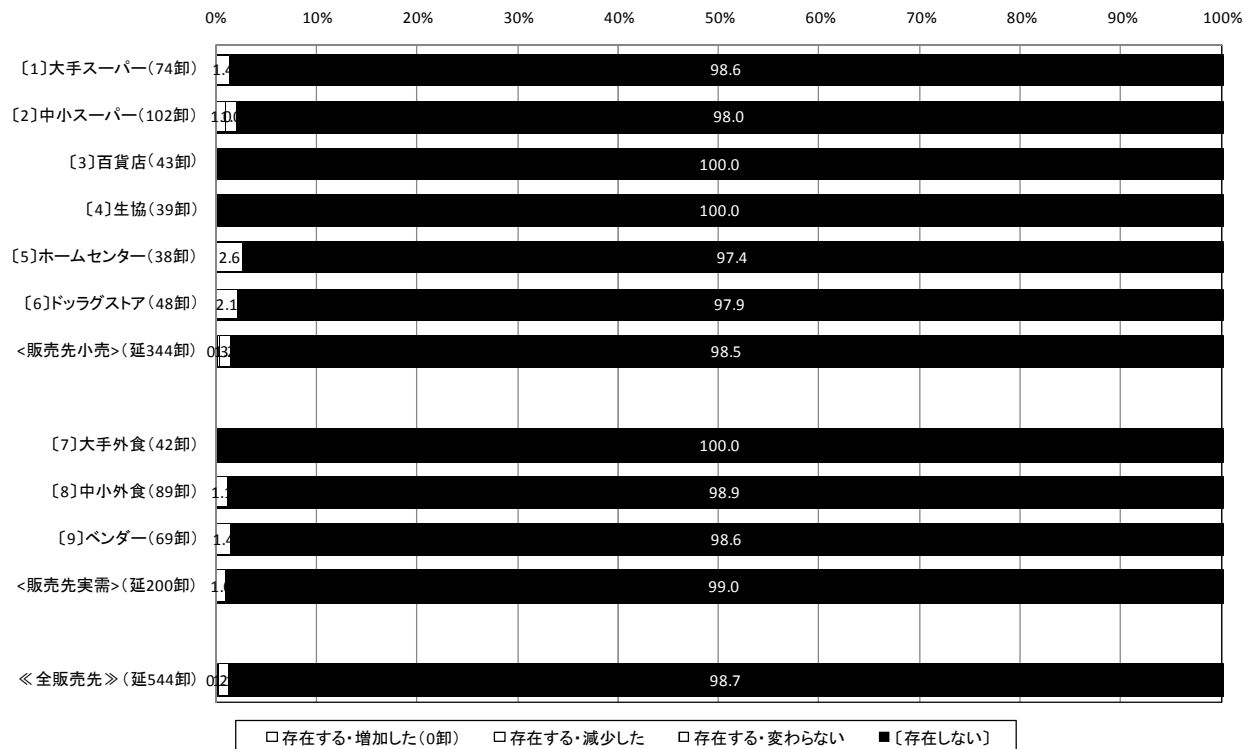
- バイヤー等に商談の度、納品後の値引はできないことを説明している。
- 納入価格、条件、リベート等の事前調整の結果。
- 事前の価格交渉を密に行うことにより改善した。
- コンプライアンスを遵守する動きになっている。

＜告示第3項「不当な委託販売取引」について＞

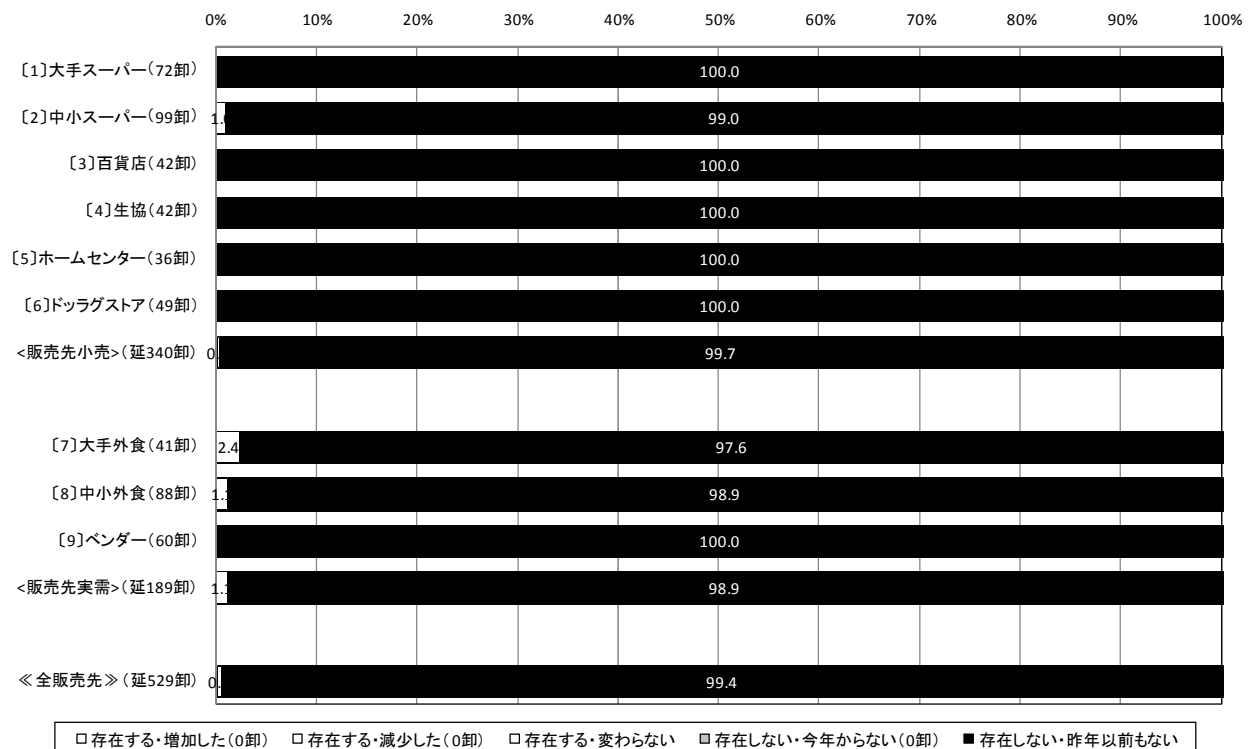
問 10 現在、販売先との取引において「不当な委託販売取引」（正常な商慣習に照らして著しく不利益となるような条件でさせる委託販売取引）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「不当な委託販売取引が存在する」と回答した卸は2卸のみであった。
1卸は、中小スーパーで存在する回答であった。
もう1卸は、大手スーパー、中小スーパー、ホームセンター、ドラッグストア、中小外食、ベンダーで存在するとの回答であった。

問10「不当な委託販売取引」の有無



問10「不当な委託販売取引」の有無(21年度)



問10 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
存在する ・増加した	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
存在する ・減少した	22年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 1.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
存在する ・変わらない	22年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 1 卸 + 1.4 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.6 ポイ	+ 1 卸 + 2.1 ポイ
〔存在する〕	22年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 1 卸 + 1.4 ポイ	+ 1 卸 + 1.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.6 ポイ	+ 1 卸 + 2.1 ポイ
〔存在しない〕	22年度調査	73 卸 98.6 %	100 卸 98.0 %	43 卸 100.0 %	39 卸 100.0 %	37 卸 97.4 %	47 卸 97.9 %
	21年度調査	72 卸 100.0 %	98 卸 99.0 %	42 卸 100.0 %	42 卸 100.0 %	36 卸 100.0 %	49 卸 100.0 %
	増減	+ 1 卸 ▲ 1.4 ポイ	+ 2 卸 ▲ 1.0 ポイ	+ 1 卸 ± 0 ポイ	▲ 3 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 ▲ 2.6 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.1 ポイ
取引卸数	22年度調査	74 卸	102 卸	43 卸	39 卸	38 卸	48 卸
	21年度調査	72 卸	99 卸	42 卸	42 卸	36 卸	49 卸
	増減	+ 2 卸	+ 3 卸	+ 1 卸	▲ 3 卸	+ 2 卸	▲ 1 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ペンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	延± 0 卸 ± 0 ポイ ント	延± 0 卸 ± 0 ポイ ント
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延+ 1 卸 + 0.3 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	延± 0 卸 ± 0 ポイ ント	延+ 1 卸 + 0.2 ポイ ント
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.4 %	延 2 卸 1.0 %	延 6 卸 1.1 %
延 1 卸 0.3 %	1 卸 2.4 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.1 %	延 3 卸 0.6 %
延+ 3 卸 + 0.9 ポイ ント	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ ント	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ ント	+ 1 卸 + 1.4 ポイ ント	延± 0 卸 ▲ 0.1 ポイ ント	延+ 3 卸 + 0.5 ポイ ント
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.4 %	延 2 卸 1.0 %	延 7 卸 1.3 %
延 1 卸 0.3 %	1 卸 2.4 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.1 %	延 3 卸 0.6 %
延+ 4 卸 + 1.2 ポイ ント	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ ント	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ ント	+ 1 卸 + 1.4 ポイ ント	延± 0 卸 ▲ 0.1 ポイ ント	延+ 4 卸 + 0.7 ポイ ント
延 339 卸 98.5 %	42 卸 100.0 %	88 卸 98.9 %	68 卸 98.6 %	延 198 卸 99.0 %	延 537 卸 98.7 %
延 339 卸 99.7 %	40 卸 97.6 %	87 卸 98.9 %	60 卸 100.0 %	延 187 卸 98.9 %	延 526 卸 99.4 %
延± 0 卸 ▲ 1.2 ポイ ント	+ 2 卸 + 2.4 ポイ ント	+ 1 卸 + 0.0 ポイ ント	+ 8 卸 ▲ 1.4 ポイ ント	延+ 11 卸 + 0.1 ポイ ント	延+ 11 卸 ▲ 0.7 ポイ ント
延 344 卸	42 卸	89 卸	69 卸	延 200 卸	延 544 卸
延 340 卸	41 卸	88 卸	60 卸	延 189 卸	延 529 卸
延+ 4 卸	+ 1 卸	+ 1 卸	+ 9 卸	延+ 11 卸	延+ 15 卸

問 11 前問で「存在する」に○を付した方に伺います。存在する「不当な委託販売取引」と思われる存在する取引の具体的内容は何ですか。貴卸の実例をご記入下さい。

〔略〕

問 12 昨年と比べて、「不当な委託販売取引」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

- 商談時に内容を詳細に決めた
- 改善困難な先は取引を辞退

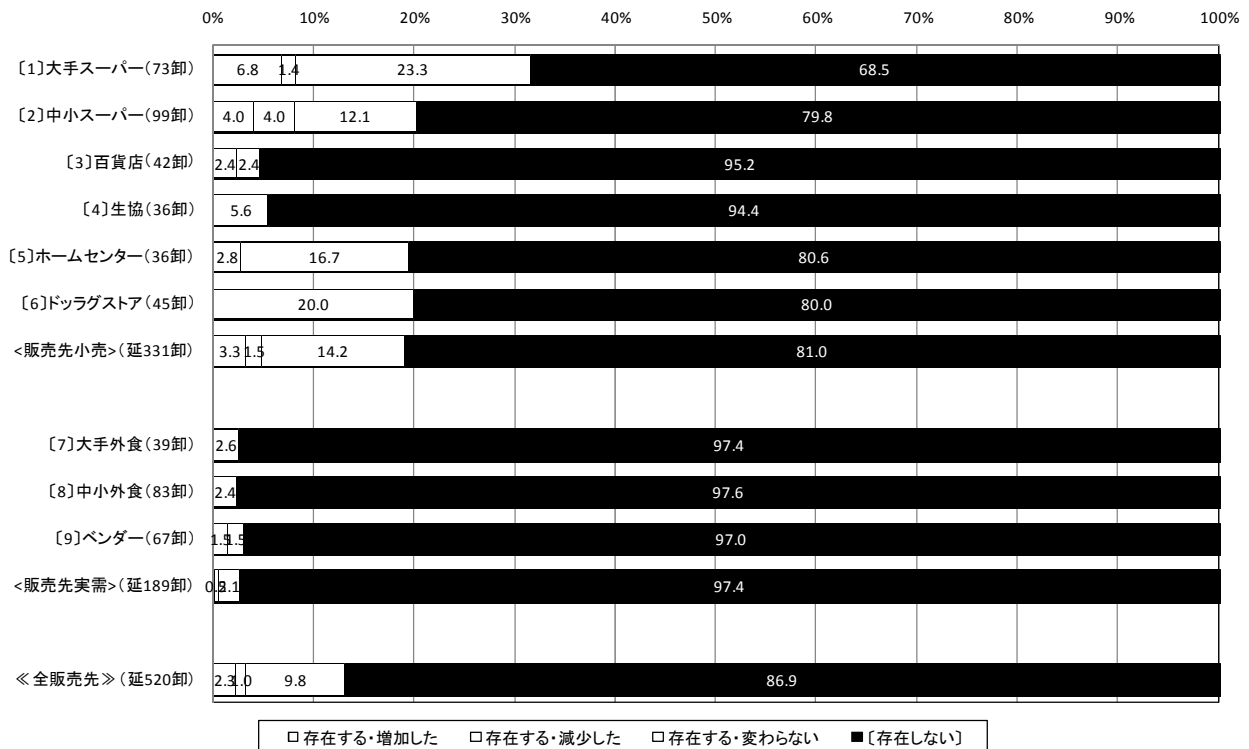
<告示第4項「特売商品等の買いたたき」について>

問 13 現在、販売先との取引において「特売商品等の買いたたき」（特売商品等について、販売先の販売価格に見合うように、通常の納入価格と比べて著しく低い価格を定めて貴卸に納入させること）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

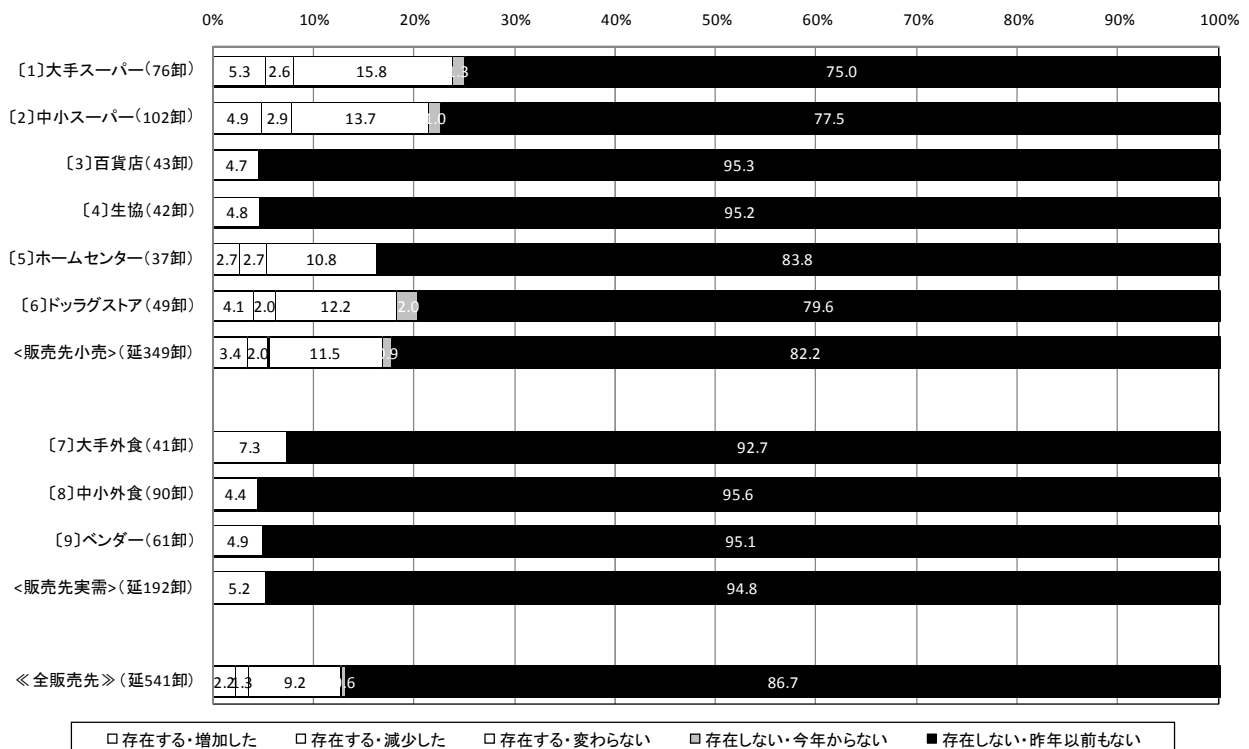
なお、「存在する」に○を付した販売先区分については、そのように判断した「著しく低い価格」とは通常の納入価格と何%程度乖離していたかご記入下さい。

- 「「特売商品等の買いたたきが存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前年が12.8%、本年が13.1%（前年比+0.3㊦）と、ほぼ横ばいであった。
 - 販売先区分では、大手スーパー31.5%（同+7.8㊦）、中小スーパー20.2%（同▲1.4㊦）、ドラッグストア20.0%（同+1.6㊦）、ホームセンター19.4%（同+3.2%）が多かった。
特に、大手スーパーが前年よりも大きく増加した。
 - 「「著しく低い価格」と判断した通常納入価格との乖離率は、2%～50%の間で12通りの回答があった。全回答の加重平均は、10.4%であった。
- 販売先区分の加重平均は、大手スーパー12.2%、中小スーパー11.4%、ホームセンター10.6%、ドラッグストア10.3%が高かった。

問13「特売商品等の買ったとき」の有無



問13「特売商品等の買ったとき」の有無(21年度)



問13 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
存在する・増加した	22年度調査	5 卸 6.8 %	4 卸 4.0 %	1 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	4 卸 5.3 %	5 卸 4.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	2 卸 4.1 %
	増減	+ 1 卸 + 1.6 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 0.9 ポイ	+ 1 卸 + 2.4 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 + 0.1 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.1 ポイ
存在する・減少した	22年度調査	1 卸 1.4 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	2 卸 2.6 %	3 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.0 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 1.3 ポイ	+ 1 卸 + 1.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ
存在する・変わらない	22年度調査	17 卸 23.3 %	12 卸 12.1 %	1 卸 2.4 %	2 卸 5.6 %	6 卸 16.7 %	9 卸 20.0 %
	21年度調査	12 卸 15.8 %	14 卸 13.7 %	2 卸 4.7 %	2 卸 4.8 %	4 卸 10.8 %	6 卸 12.2 %
	増減	+ 5 卸 + 7.5 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 1.6 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	± 0 卸 + 0.8 ポイ	+ 2 卸 + 5.9 ポイ	+ 3 卸 + 7.8 ポイ
〔存在する〕	22年度調査	23 卸 31.5 %	20 卸 20.2 %	2 卸 4.8 %	2 卸 5.6 %	7 卸 19.4 %	9 卸 20.0 %
	21年度調査	18 卸 23.7 %	22 卸 21.6 %	2 卸 4.7 %	2 卸 4.8 %	6 卸 16.2 %	9 卸 18.4 %
	増減	+ 5 卸 + 7.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 1.4 ポイ	± 0 卸 + 0.1 ポイ	± 0 卸 + 0.8 ポイ	+ 1 卸 + 3.2 ポイ	± 0 卸 + 1.6 ポイ
〔存在しない〕	22年度調査	50 卸 68.5 %	79 卸 79.8 %	40 卸 95.2 %	34 卸 94.4 %	29 卸 80.6 %	36 卸 80.0 %
	21年度調査	58 卸 76.3 %	80 卸 78.4 %	41 卸 95.3 %	40 卸 95.2 %	31 卸 83.8 %	40 卸 81.6 %
	増減	▲ 8 卸 ▲ 7.8 ポイ	▲ 1 卸 + 1.4 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 0.1 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 0.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 3.2 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 1.6 ポイ
取引卸数	22年度調査	73 卸	99 卸	42 卸	36 卸	36 卸	45 卸
	21年度調査	76 卸	102 卸	43 卸	42 卸	37 卸	49 卸
	増減	▲ 3 卸	▲ 3 卸	▲ 1 卸	▲ 6 卸	▲ 1 卸	▲ 4 卸

乖離率

	[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
0～ 2 %	0 卸	1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
2～ 4 %	5 卸	4 卸	1 卸	1 卸	1 卸	2 卸
4～ 6 %	5 卸	4 卸	0 卸	0 卸	2 卸	3 卸
6～ 8 %	1 卸	0 卸	0 卸	1 卸	0 卸	0 卸
8～10 %	1 卸	2 卸	0 卸	0 卸	1 卸	1 卸
10 %超	7 卸	4 卸	0 卸	0 卸	1 卸	1 卸
合 計	19 卸	15 卸	1 卸	2 卸	5 卸	7 卸
2 %	0 卸	1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
3 %	4 卸	2 卸	1 卸	1 卸	1 卸	1 卸
4 %	1 卸	2 卸	0 卸	0 卸	0 卸	1 卸
5 %	5 卸	4 卸	0 卸	0 卸	2 卸	3 卸
7 %	1 卸	0 卸	0 卸	1 卸	0 卸	0 卸
10 %	1 卸	2 卸	0 卸	0 卸	1 卸	1 卸
15 %	3 卸	1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
18 %	1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
20 %	0 卸	1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
30 %	2 卸	1 卸	0 卸	0 卸	1 卸	0 卸
40 %	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	1 卸
50 %	1 卸	1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
最小値	3 %	2 %	3 %	3 %	3 %	3 %
最大値	50 %	50 %	3 %	7 %	30 %	40 %
平均値	12.2 %	11.4 %	3.0 %	5.0 %	10.6 %	10.3 %

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ペンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 11 卸 3.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.5 %	延 1 卸 0.5 %	延 12 卸 2.3 %
延 12 卸 3.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 12 卸 2.2 %
延 ▲ 1 卸 ▲ 0.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 1.5 ポイ	延+ 1 卸 + 0.5 ポイ	延± 0 卸 + 0.1 ポイ
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 1.0 %
延 7 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 7 卸 1.3 %
延 ▲ 2 卸 ▲ 0.5 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 0.3 ポイ
延 47 卸 14.2 %	1 卸 2.6 %	2 卸 2.4 %	1 卸 1.5 %	延 4 卸 2.1 %	延 51 卸 9.8 %
延 40 卸 11.5 %	3 卸 7.3 %	4 卸 4.4 %	3 卸 4.9 %	延 10 卸 5.2 %	延 50 卸 9.2 %
延+ 7 卸 + 2.7 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 3.4 ポイ	延 ▲ 6 卸 ▲ 3.1 ポイ	延+ 1 卸 + 0.6 ポイ
延 63 卸 19.0 %	1 卸 2.6 %	2 卸 2.4 %	2 卸 3.0 %	延 5 卸 2.6 %	延 68 卸 13.1 %
延 59 卸 16.9 %	3 卸 7.3 %	4 卸 4.4 %	3 卸 4.9 %	延 10 卸 5.2 %	延 69 卸 12.8 %
延+ 4 卸 + 2.1 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.9 ポイ	延 ▲ 5 卸 ▲ 2.6 ポイ	延 ▲ 1 卸 + 0.3 ポイ
延 268 卸 81.0 %	38 卸 97.4 %	81 卸 97.6 %	65 卸 97.0 %	延 184 卸 97.4 %	延 452 卸 86.9 %
延 290 卸 83.1 %	38 卸 92.7 %	86 卸 95.6 %	58 卸 95.1 %	延 182 卸 94.8 %	延 472 卸 87.2 %
延 ▲ 22 卸 ▲ 2.1 ポイ	± 0 卸 + 4.8 ポイ	▲ 5 卸 + 2.0 ポイ	+ 7 卸 + 1.9 ポイ	延+ 2 卸 + 2.6 ポイ	延 ▲ 20 卸 ▲ 0.3 ポイ
延 331 卸	39 卸	83 卸	67 卸	延 189 卸	延 520 卸
延 349 卸	41 卸	90 卸	61 卸	延 192 卸	延 541 卸
延 ▲ 18 卸	▲ 2 卸	▲ 7 卸	+ 6 卸	延 ▲ 3 卸	延 ▲ 21 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ペンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 1 卸
延 14 卸	1 卸	1 卸	1 卸	延 3 卸	延 17 卸
延 14 卸	0 卸	1 卸	1 卸	延 2 卸	延 16 卸
延 2 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 2 卸
延 5 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 5 卸
延 13 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 13 卸
延 49 卸	1 卸	2 卸	2 卸	延 5 卸	延 54 卸
延 1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 1 卸
延 10 卸	1 卸	1 卸	1 卸	延 3 卸	延 13 卸
延 4 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 4 卸
延 14 卸	0 卸	1 卸	1 卸	延 2 卸	延 16 卸
延 2 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 2 卸
延 5 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 5 卸
延 4 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 4 卸
延 1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 1 卸
延 1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 1 卸
延 4 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 4 卸
延 1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 1 卸
延 2 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸	延 2 卸
2 %	3 %	3 %	3 %	3 %	2 %
50 %	3 %	5 %	5 %	5 %	50 %
11.0 %	3.0 %	4.0 %	4.0 %	3.8 %	10.4 %

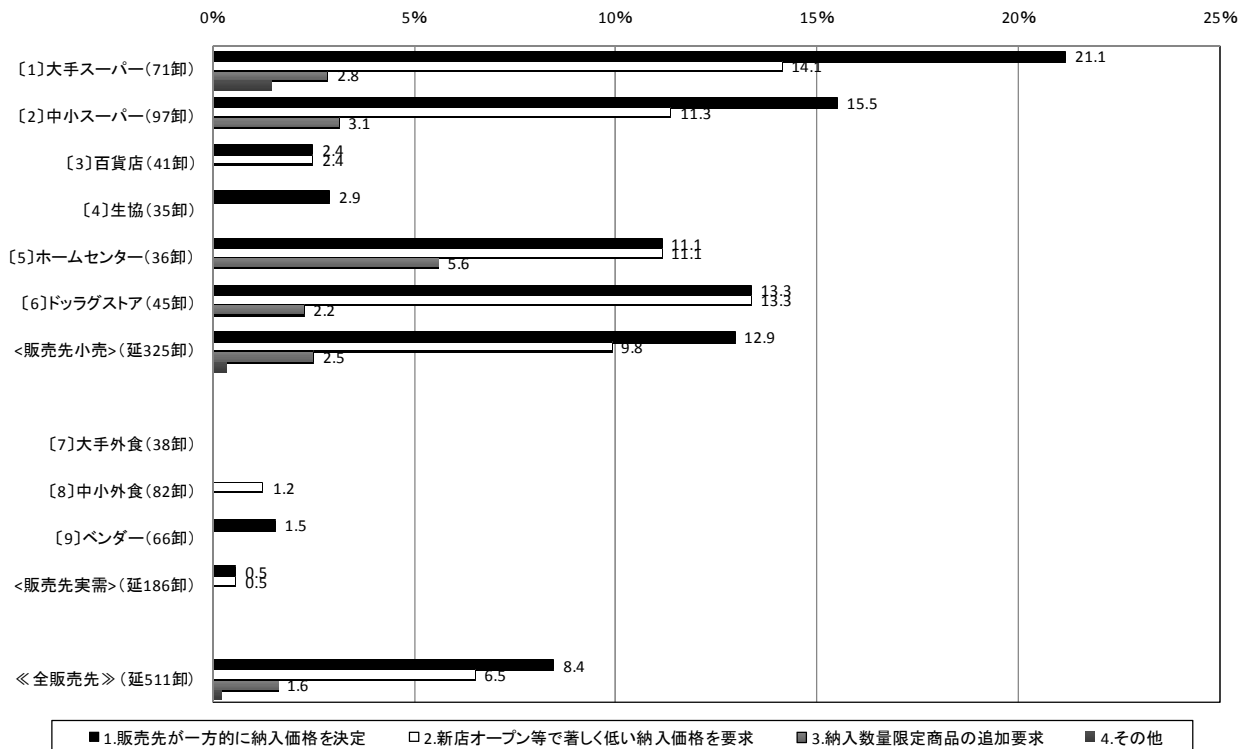
問 14 前問で「存在する」に○を付した具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に○を付して下さい（複数可）。

選択肢

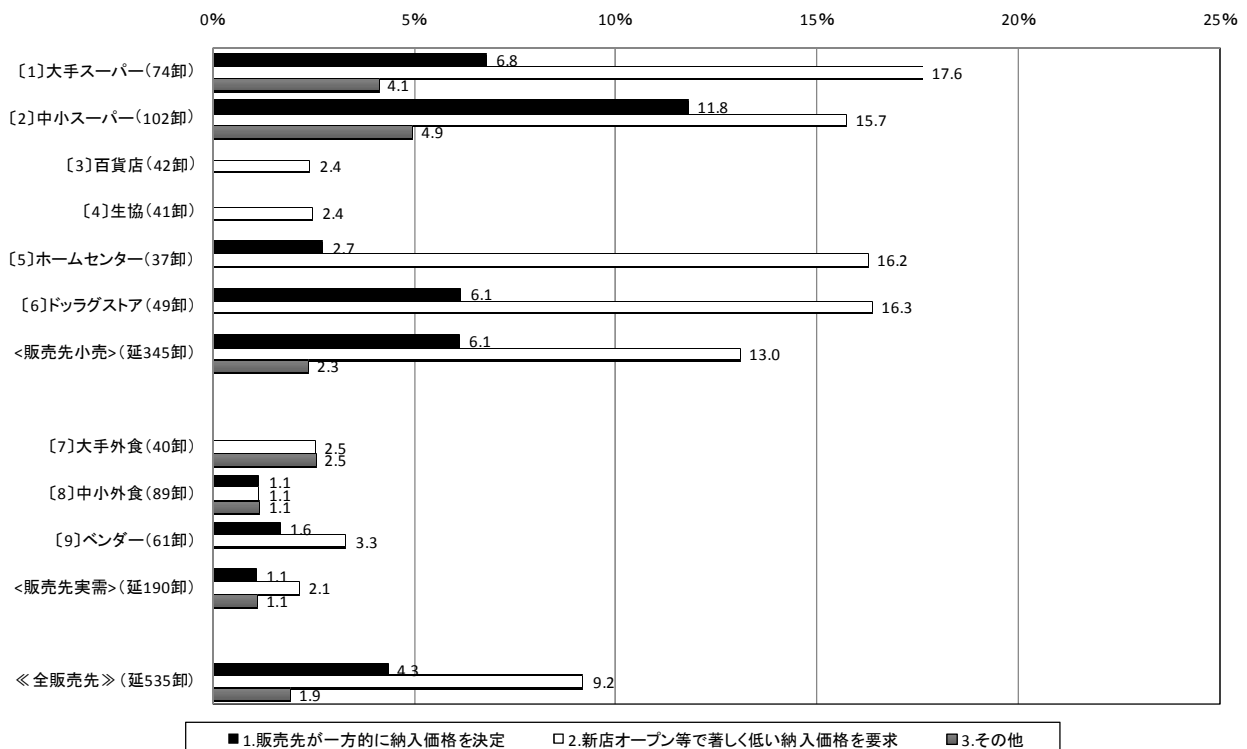
1. 特売用の商品について、販売先の販売価格に見合うように通常の納入価格と比べて著しく低い価格を定めて納入させられた
(販売先が一方的に納入価格を決定)
2. 新店オープン等を理由に、通常納入価格と比べて著しく低い納入価格を定め納入させられた
(新店オープン等で著しく低い納入価格を要求)
3. 通常納入価格より低い価格で納入する条件として納入数量を限定していたにもかかわらず追加で納入させられた
(納入数量限定商品の追加要求)
4. その他

- 最も多く選択されたのは、「1. 販売先が一方的に納入価格を決定」で、《全販売先》は8.4%（前年比+4.1 ㊦）であった。
販売先区分では、大手スーパー21.1%（同+14.4 ㊦）、中小スーパー15.5%（同+3.7 ㊦）、ドラッグストア 13.3%（同+7.2 ㊦）、ホームセンター11.1%（同+8.4 ㊦）が多かった。
特に、大手スーパーが前年に比べ大きく増加した。
- 次に多かった「2. 新店オープン等で著しく低い納入価格を要求」は、前年は最も多かったが、本年は《全販売先》は前年の9.2%から6.5%（同▲2.7 ㊦）に減少した。
販売先区分では、「1. 販売先が一方的に納入価格を決定」と同様、大手スーパー14.1%（同▲3.5 ㊦）、ドラッグストア 13.3%（同▲3.0 ㊦）、中小スーパー11.3%（同▲4.3 ㊦）、ホームセンター11.1%（同▲5.1 ㊦）が多かった。

問14「特売商品等の買ったとき」の具体的内容



問14「特売商品等の買ったとき」の具体的内容(21年度)



問14 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
1.販売先が一 方的に納入価 格を決定	22年度調査	15 卸 21.1 %	15 卸 15.5 %	1 卸 2.4 %	1 卸 2.9 %	4 卸 11.1 %	6 卸 13.3 %
	21年度調査	5 卸 6.8 %	12 卸 11.8 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	3 卸 6.1 %
	増減	+ 10 卸 + 14.4 ポイ ント	+ 3 卸 + 3.7 ポイ ント	+ 1 卸 + 2.4 ポイ ント	+ 1 卸 + 2.9 ポイ ント	+ 3 卸 + 8.4 ポイ ント	+ 3 卸 + 7.2 ポイ ント
2.新店オー プン等で著しく低 い納入価格を 要求	22年度調査	10 卸 14.1 %	11 卸 11.3 %	1 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	4 卸 11.1 %	6 卸 13.3 %
	21年度調査	13 卸 17.6 %	16 卸 15.7 %	1 卸 2.4 %	1 卸 2.4 %	6 卸 16.2 %	8 卸 16.3 %
	増減	▲ 3 卸 ▲ 3.5 ポイ ント	▲ 5 卸 ▲ 4.3 ポイ ント	± 0 卸 + 0.1 ポイ ント	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ ント	▲ 2 卸 ▲ 5.1 ポイ ント	▲ 2 卸 ▲ 3.0 ポイ ント
3.納入数量限 定商品の追加 要求	22年度調査	2 卸 2.8 %	3 卸 3.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 5.6 %	1 卸 2.2 %
	21年度調査	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—
4.その他	22年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	3 卸 4.1 %	5 卸 4.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	▲ 2 卸 ▲ 2.6 ポイ ント	▲ 5 卸 ▲ 4.9 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント
取引卸数	22年度調査	71 卸	97 卸	41 卸	35 卸	36 卸	45 卸
	21年度調査	74 卸	102 卸	42 卸	41 卸	37 卸	49 卸
	増減	▲ 3 卸	▲ 5 卸	▲ 1 卸	▲ 6 卸	▲ 1 卸	▲ 4 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 42 卸 12.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.5 %	延 1 卸 0.5 %	延 43 卸 8.4 %
延 21 卸 6.1 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.6 %	延 2 卸 1.1 %	延 23 卸 4.3 %
延+ 21 卸 + 6.8 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.1 ポイ	延 ▲ 1 卸 ▲ 0.5 ポイ	延+ 20 卸 + 4.1 ポイ
延 32 卸 9.8 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 33 卸 6.5 %
延 45 卸 13.0 %	1 卸 2.5 %	1 卸 1.1 %	2 卸 3.3 %	延 4 卸 2.1 %	延 49 卸 9.2 %
延 ▲ 13 卸 ▲ 3.2 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.5 ポイ	± 0 卸 + 0.1 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 3.3 ポイ	延 ▲ 3 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 16 卸 ▲ 2.7 ポイ
延 8 卸 2.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 8 卸 1.6 %
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 8 卸 2.3 %	1 卸 2.5 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.1 %	延 10 卸 1.9 %
延 ▲ 7 卸 ▲ 2.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.5 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 1.1 ポイ	延 ▲ 9 卸 ▲ 1.7 ポイ
延 325 卸	38 卸	82 卸	66 卸	延 186 卸	延 511 卸
延 345 卸	40 卸	89 卸	61 卸	延 190 卸	延 535 卸
延 ▲ 20 卸	▲ 2 卸	▲ 7 卸	+ 5 卸	延 ▲ 4 卸	延 ▲ 24 卸

問 15 前問で○を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

〔略〕

問 16 昨年と比べて、「特売商品等の買ったとき」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

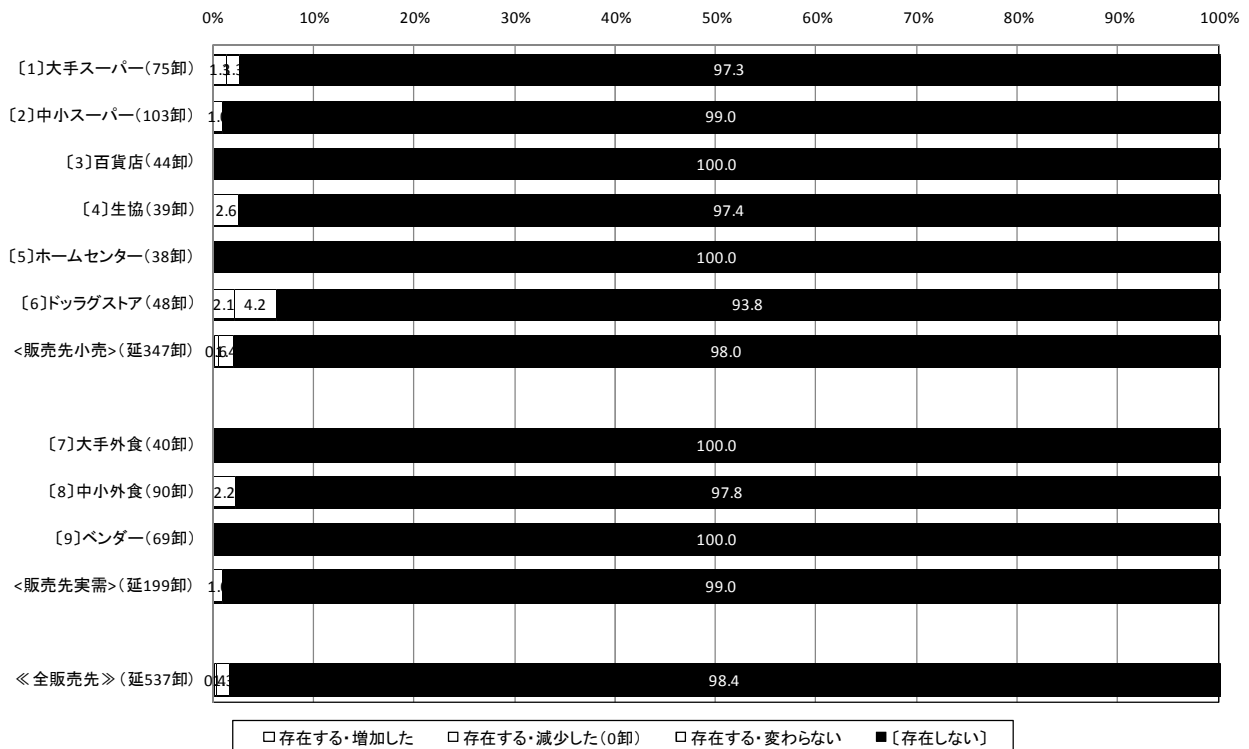
- 粘り強くお願いした
- 米穀の相場状況および社内事情を先方に訴えた

＜告示第5項「特別注文品の受領拒否」について＞

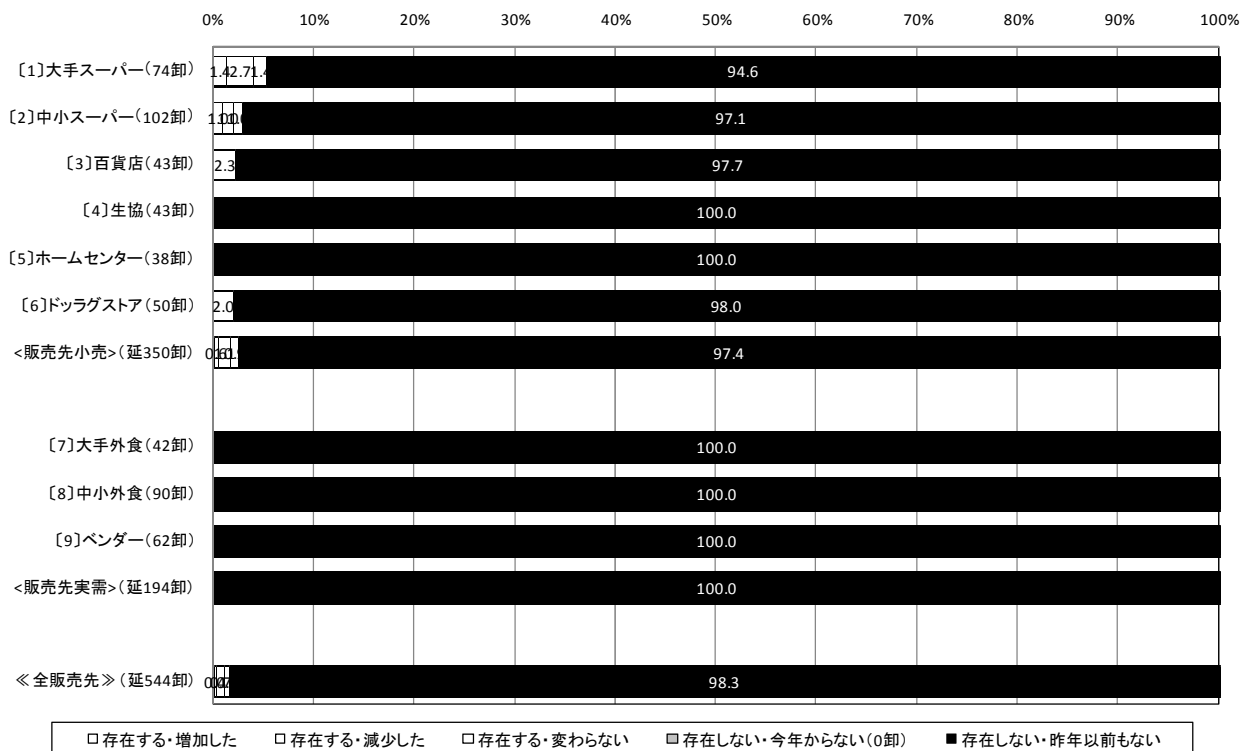
問 17 現在、販売先との取引において「特別注文品の受領拒否」（PB商品など、特別の規格等を指定して発注した後、需要見通しが変わった等の理由で商品の受領を拒むこと。但し、「貴卸に責任がある場合」や「あらかじめ貴卸の同意を得て、かつ、受領拒否による貴卸の損失を先方が負担する場合」は該当しない）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「特別注文品の受領拒否が存在する」と回答した卸数は、《全販売先》で延9卸のみで、前年と同数であった。
しかし本年は、＜販売先小売＞が延7卸と前年よりも2卸減少し、前年なかった＜販売先実需＞が延2卸となった。
- 販売先区分では、大手スーパーが2卸（前年比▲2卸）、中小スーパーが1卸（同▲2卸）、生協が1卸（同+1卸）、ドラッグストア3卸（同+2卸）、中小外食が2卸（同+2卸）であった。なお、前年1卸の百貨店は、本年はなかった。

問17「特別注文品の受領拒否」の有無



問17「特別注文品の受領拒否」の有無(21年度)



問17 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
存在する ・増加した	22年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.1 ポイ
存在する ・減少した	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	▲ 2 卸 ▲ 2.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
存在する ・変わらない	22年度調査	1 卸 1.3 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.2 %
	21年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.0 %
	増減	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.6 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.2 ポイ
〔存在する〕	22年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	3 卸 6.3 %
	21年度調査	4 卸 5.4 %	3 卸 2.9 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.0 %
	増減	▲ 2 卸 ▲ 2.7 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	+ 1 卸 + 2.6 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 2 卸 + 4.3 ポイ
〔存在しない〕	22年度調査	73 卸 97.3 %	102 卸 99.0 %	44 卸 100.0 %	38 卸 97.4 %	38 卸 100.0 %	45 卸 93.8 %
	21年度調査	70 卸 94.6 %	99 卸 97.1 %	42 卸 97.7 %	43 卸 100.0 %	38 卸 100.0 %	49 卸 98.0 %
	増減	+ 3 卸 + 2.7 ポイ	+ 3 卸 + 2.0 ポイ	+ 2 卸 + 2.3 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 2.6 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 4.3 ポイ
取引卸数	22年度調査	75 卸	103 卸	44 卸	39 卸	38 卸	48 卸
	21年度調査	74 卸	102 卸	43 卸	43 卸	38 卸	50 卸
	増減	+ 1 卸	+ 1 卸	+ 1 卸	▲ 4 卸	± 0 卸	▲ 2 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 ± 0 卸 + 0.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 4 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.7 %
延 ▲ 4 卸 ▲ 1.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ▲ 4 卸 ▲ 0.7 ポイ
延 5 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.0 %	延 7 卸 1.3 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 + 2 卸 + 0.6 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 2 卸 + 2.2 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 + 2 卸 + 1.0 ポイ	延 + 4 卸 + 0.7 ポイ
延 7 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.0 %	延 9 卸 1.6 %
延 9 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 9 卸 1.7 %
延 ▲ 2 卸 ▲ 0.6 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 2 卸 + 2.2 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 + 2 卸 + 1.0 ポイ	延 ± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ
延 340 卸 98.0 %	40 卸 100.0 %	88 卸 97.8 %	69 卸 100.0 %	延 197 卸 99.0 %	延 537 卸 98.4 %
延 341 卸 97.4 %	42 卸 100.0 %	90 卸 100.0 %	62 卸 100.0 %	延 194 卸 100.0 %	延 535 卸 98.3 %
延 ▲ 1 卸 + 0.6 ポイ	▲ 2 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.2 ポイ	+ 7 卸 ± 0 ポイ	延 + 3 卸 ▲ 1.0 ポイ	延 + 2 卸 + 0.0 ポイ
延 347 卸	40 卸	90 卸	69 卸	延 199 卸	延 546 卸
延 350 卸	42 卸	90 卸	62 卸	延 194 卸	延 544 卸
延 ▲ 3 卸	▲ 2 卸	± 0 卸	+ 7 卸	延 + 5 卸	延 + 2 卸

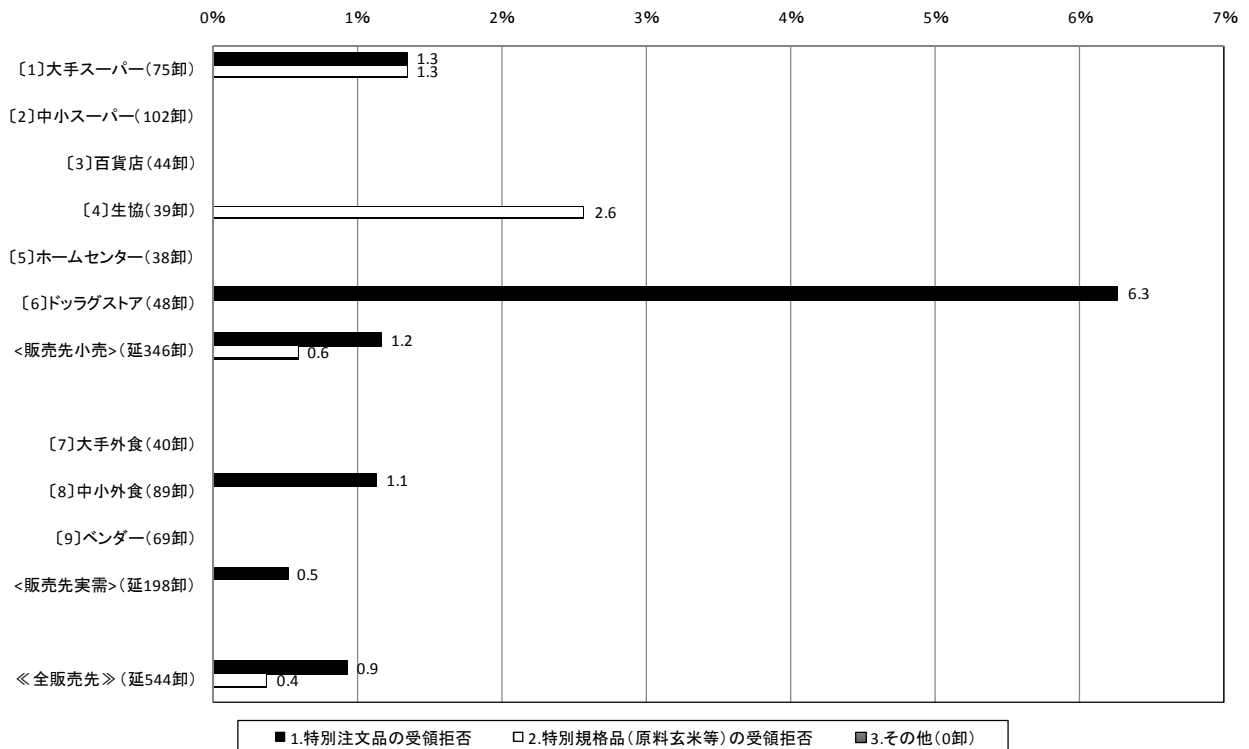
問 18 前問で「存在する」に○を付した取引の具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに存在する具体的内容に○を付して下さい（複数可）。

販売先区分ごとに「特別注文品の受領拒否」と思われる取引の具体的内容を下記より選択。

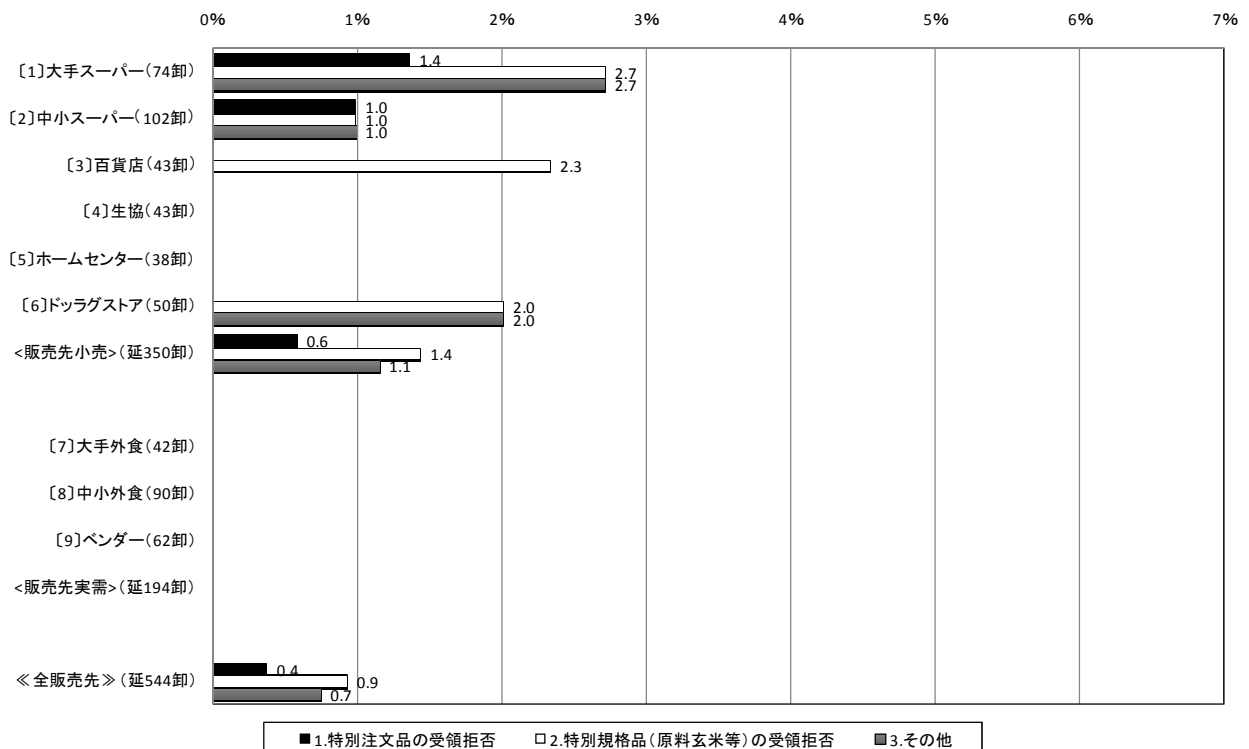
1. 販売不振等を理由に、特別注文品の受領を拒否された
（特別注文品の受領拒否）
2. 販売不振等を理由に、特別規格の原料玄米等の受領を拒否された
（特別の規格品（原料玄米等）の受領拒否）
3. その他

- 「1. 特別注文品の受領拒否」は、大手スーパー1 卸、ドラッグストア 3 卸、中小外食 1 卸の延 5 卸で、「2. 特別の規格品（原料玄米等）の受領拒否」は、大手スーパー1 卸、生協 1 卸であった。

問18「特別注文品の受領拒否」の具体的内容



問18「特別注文品の受領拒否」の具体的内容(21年度)



問18 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
1.特別注文品の受領拒否	22年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	3 卸 6.3 %
	21年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 3 卸 + 6.3 ポイ
2.特別規格品(原料玄米等)の受領拒否	22年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.0 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 1.4 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	+ 1 卸 + 2.6 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ
3.その他	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.0 %
	増減	▲ 2 卸 ▲ 2.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ
取引卸数	22年度調査	75 卸	102 卸	44 卸	39 卸	38 卸	48 卸
	21年度調査	74 卸	102 卸	43 卸	43 卸	38 卸	50 卸
	増減	+ 1 卸	± 0 卸	+ 1 卸	▲ 4 卸	± 0 卸	▲ 2 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 5 卸 0.9 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 + 2 卸 + 0.6 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 1.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 + 1 卸 + 0.5 ポイ	延 + 3 卸 + 0.6 ポイ
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 5 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 ▲ 3 卸 ▲ 0.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ▲ 3 卸 ▲ 0.6 ポイ
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 4 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.7 %
延 ▲ 4 卸 ▲ 1.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ▲ 4 卸 ▲ 0.7 ポイ
延 346 卸	40 卸	89 卸	69 卸	延 198 卸	延 544 卸
延 350 卸	42 卸	90 卸	62 卸	延 194 卸	延 544 卸
延 ▲ 4 卸	▲ 2 卸	▲ 1 卸	+ 7 卸	延 + 4 卸	延 ± 0 卸

問 19 前問で○を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

〔略〕

問 20 昨年と比べて、「特別注文品の受領拒否」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

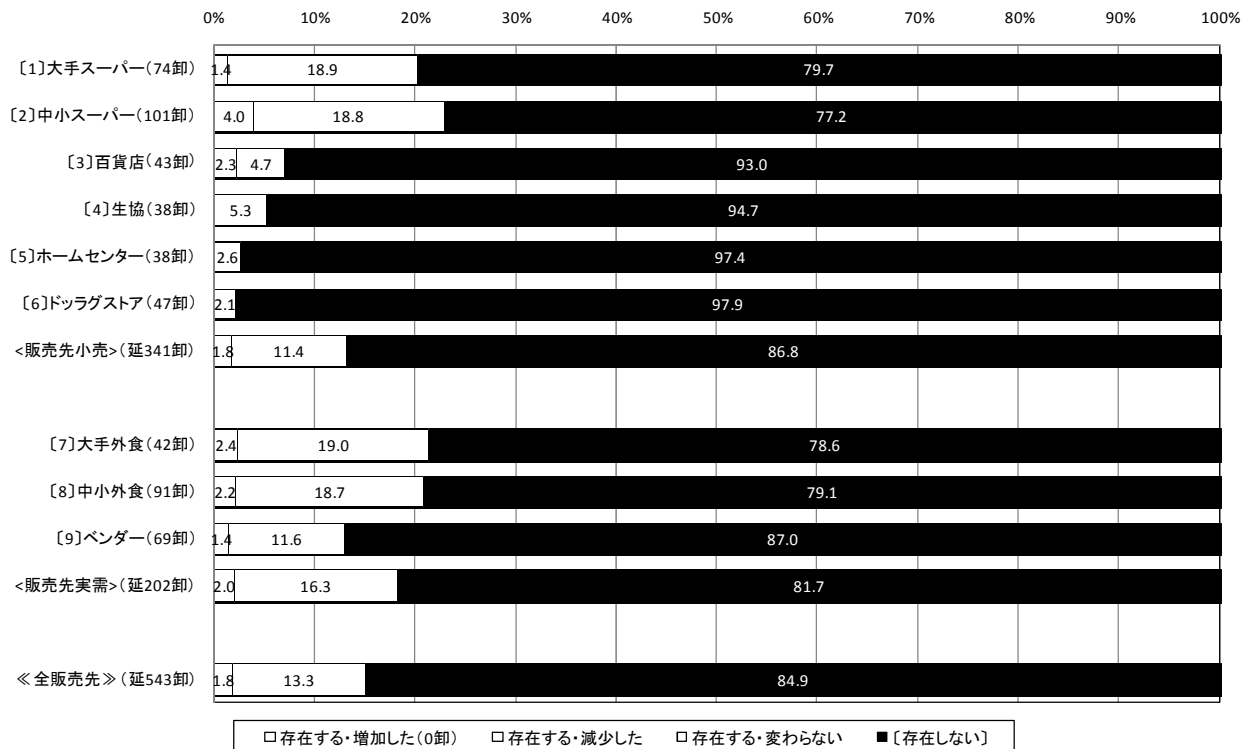
- PB 商品であっても年間数量契約とせず、こまめに受注している

<告示第6項「押し付け販売等」について>

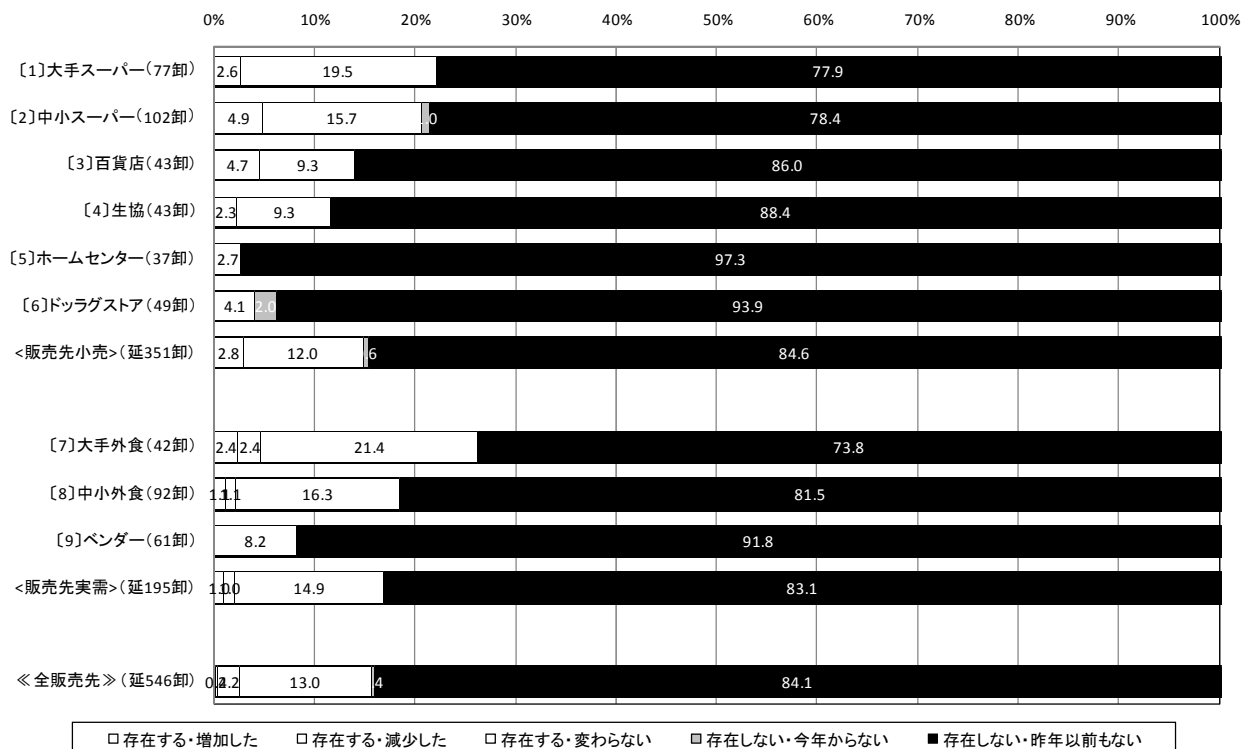
問 21 現在、販売先との取引において「押し付け販売等」（貴卸（社員等を含む）が希望しないにもかかわらず、販売先が指定する商品を購入又は利用させること）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「押し付け販売等が存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で 15.1%（前年比 ▲0.5 ㊦）と ほぼ横ばいであった。
- 販売先区分では、大手外食 21.4%（同▲4.8 ㊦）、大手スーパー20.3%（同▲1.8 ㊦）という 大手販売先が減少したものの、中小スーパー22.8%（同+2.2 ㊦）、中小外食 20.9%（同+2.4 ㊦）、ベンダー13.0%（同+4.8 ㊦）という 中小販売先が増加した。

問21 「押付販売等」の有無



問21 「押付販売等」の有無(21年度)



問21 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
存在する ・増加した	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
存在する ・減少した	22年度調査	1 卸 1.4 %	4 卸 4.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	2 卸 2.6 %	5 卸 4.9 %	2 卸 4.7 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 1.2 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 0.9 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
存在する ・変わらない	22年度調査	14 卸 18.9 %	19 卸 18.8 %	2 卸 4.7 %	2 卸 5.3 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	15 卸 19.5 %	16 卸 15.7 %	4 卸 9.3 %	4 卸 9.3 %	1 卸 2.7 %	2 卸 4.1 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 0.6 ポイ	+ 3 卸 + 3.1 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.7 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.0 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ
〔存在する〕	22年度調査	15 卸 20.3 %	23 卸 22.8 %	3 卸 7.0 %	2 卸 5.3 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	17 卸 22.1 %	21 卸 20.6 %	6 卸 14.0 %	5 卸 11.6 %	1 卸 2.7 %	2 卸 4.1 %
	増減	▲ 2 卸 ▲ 1.8 ポイ	+ 2 卸 + 2.2 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 7.0 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 6.4 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ
〔存在しない〕	22年度調査	59 卸 79.7 %	78 卸 77.2 %	40 卸 93.0 %	36 卸 94.7 %	37 卸 97.4 %	46 卸 97.9 %
	21年度調査	60 卸 77.9 %	81 卸 79.4 %	37 卸 86.0 %	38 卸 88.4 %	36 卸 97.3 %	47 卸 95.9 %
	増減	▲ 1 卸 + 1.8 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 2.2 ポイ	+ 3 卸 + 7.0 ポイ	▲ 2 卸 + 6.4 ポイ	+ 1 卸 + 0.1 ポイ	▲ 1 卸 + 2.0 ポイ
取引卸数	22年度調査	74 卸	101 卸	43 卸	38 卸	38 卸	47 卸
	21年度調査	77 卸	102 卸	43 卸	43 卸	37 卸	49 卸
	増減	▲ 3 卸	▲ 1 卸	± 0 卸	▲ 5 卸	+ 1 卸	▲ 2 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	《全販売先》
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.0 %	延 2 卸 0.4 %
延± 0 卸 ± 0 費	▲ 1 卸 ▲ 2.4 費	▲ 1 卸 ▲ 1.1 費	± 0 卸 ± 0 費	延 ▲ 2 卸 ▲ 1.0 費	延 ▲ 2 卸 ▲ 0.4 費
延 6 卸 1.8 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	1 卸 1.4 %	延 4 卸 2.0 %	延 10 卸 1.8 %
延 10 卸 2.8 %	1 卸 2.4 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.0 %	延 12 卸 2.2 %
延 ▲ 4 卸 ▲ 1.1 費	± 0 卸 ± 0 費	+ 1 卸 + 1.1 費	+ 1 卸 + 1.4 費	延+ 2 卸 + 1.0 費	延 ▲ 2 卸 ▲ 0.4 費
延 39 卸 11.4 %	8 卸 19.0 %	17 卸 18.7 %	8 卸 11.6 %	延 33 卸 16.3 %	延 72 卸 13.3 %
延 42 卸 12.0 %	9 卸 21.4 %	15 卸 16.3 %	5 卸 8.2 %	延 29 卸 14.9 %	延 71 卸 13.0 %
延 ▲ 3 卸 ▲ 0.5 費	▲ 1 卸 ▲ 2.4 費	+ 2 卸 + 2.4 費	+ 3 卸 + 3.4 費	延+ 4 卸 + 1.5 費	延+ 1 卸 + 0.3 費
延 45 卸 13.2 %	9 卸 21.4 %	19 卸 20.9 %	9 卸 13.0 %	延 37 卸 18.3 %	延 82 卸 15.1 %
延 52 卸 14.8 %	11 卸 26.2 %	17 卸 18.5 %	5 卸 8.2 %	延 33 卸 16.9 %	延 85 卸 15.6 %
延 ▲ 7 卸 ▲ 1.6 費	▲ 2 卸 ▲ 4.8 費	+ 2 卸 + 2.4 費	+ 4 卸 + 4.8 費	延+ 4 卸 + 1.4 費	延 ▲ 3 卸 ▲ 0.5 費
延 296 卸 86.8 %	33 卸 78.6 %	72 卸 79.1 %	60 卸 87.0 %	延 165 卸 81.7 %	延 461 卸 84.9 %
延 299 卸 85.2 %	31 卸 73.8 %	75 卸 81.5 %	56 卸 91.8 %	延 162 卸 83.1 %	延 461 卸 84.4 %
延 ▲ 3 卸 + 1.6 費	+ 2 卸 + 4.8 費	▲ 3 卸 ▲ 2.4 費	+ 4 卸 ▲ 4.8 費	延+ 3 卸 ▲ 1.4 費	延± 0 卸 + 0.5 費
延 341 卸	42 卸	91 卸	69 卸	延 202 卸	延 543 卸
延 351 卸	42 卸	92 卸	61 卸	延 195 卸	延 546 卸
延 ▲ 10 卸	± 0 卸	▲ 1 卸	+ 8 卸	延+ 7 卸	延 ▲ 3 卸

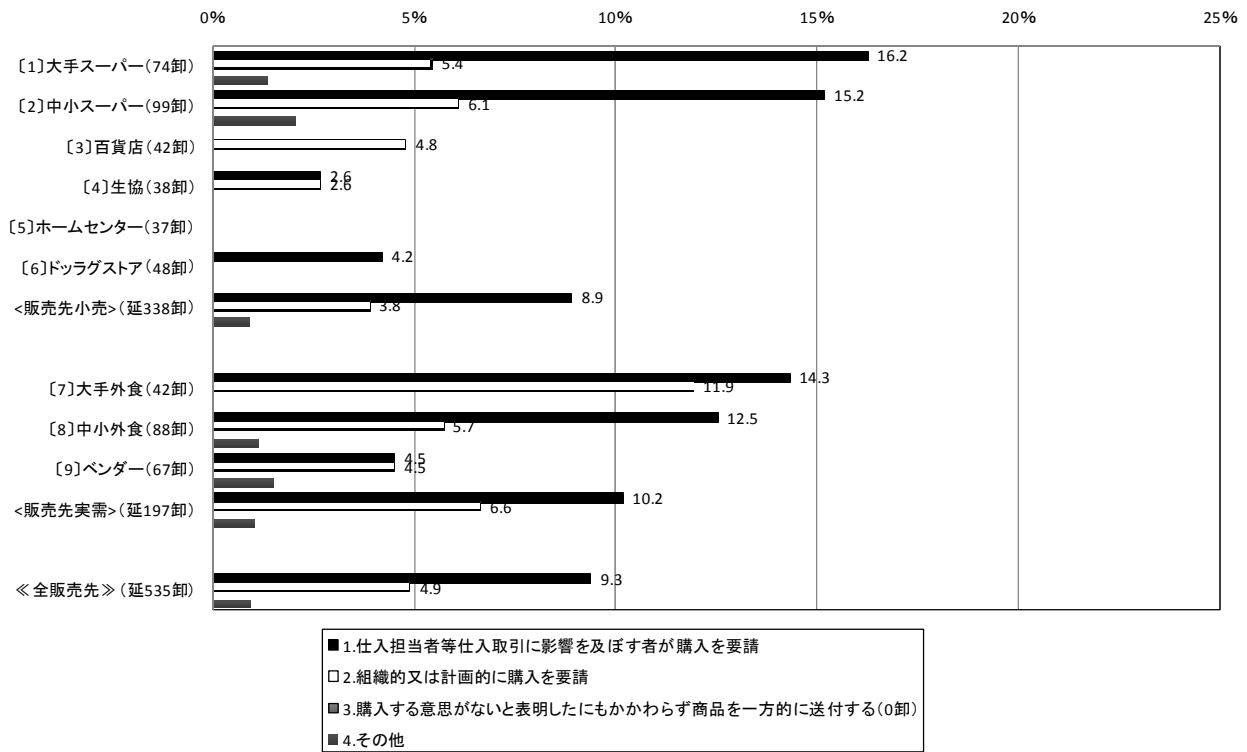
問 22 前問で「存在する」に○を付した取引の具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に○を付して下さい（複数可）。

販売先区分ごとに「押し付け販売等」と思われる取引の具体的内容を下記より選択。

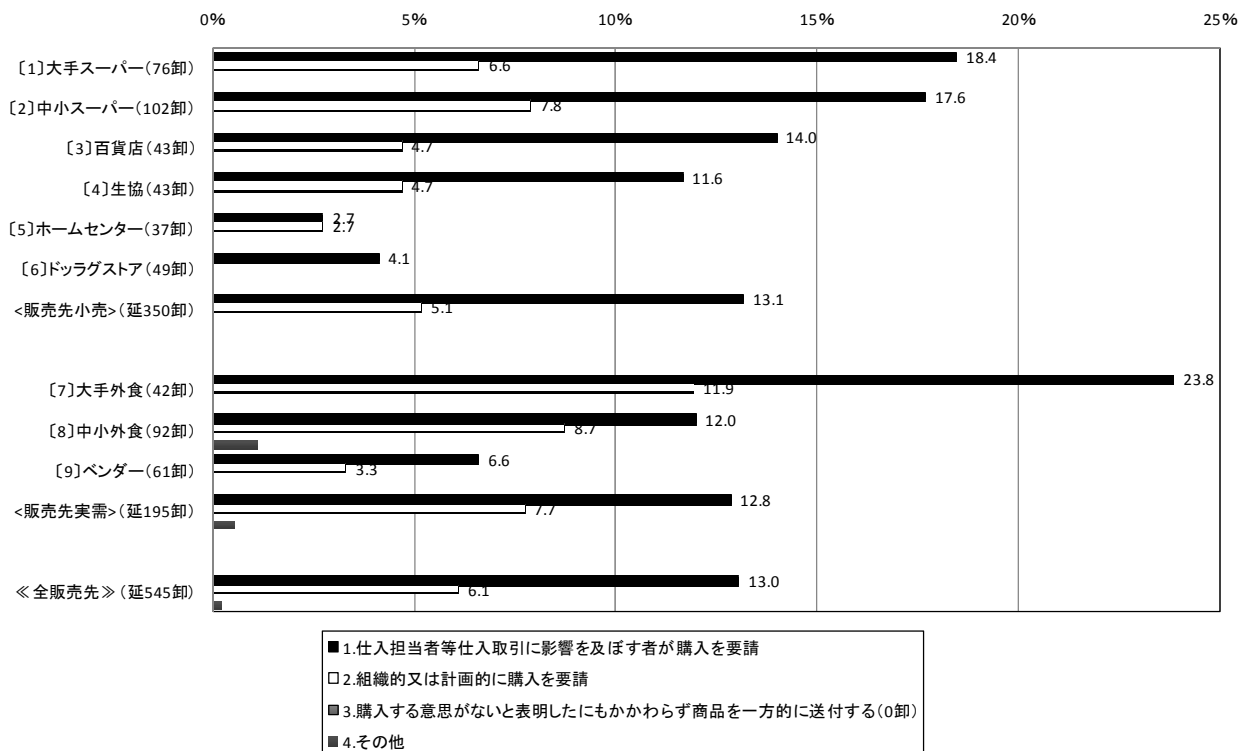
1. 仕入担当者等仕入に影響を及ぼす者に購入させられた
（仕入担当者等仕入取引に影響を及ぼす者が購入を要請）
2. 販売先が部門ごとに販売目標数を定める等、組織的又は計画的に販売を行い、購入させられた（組織的又は計画的に購入を要請）
3. 購入する意思がないと表明したのに、商品を一方的に送付され、購入させられた
（購入する意思がないと表明したにもかかわらず商品を一方的に送付する）
4. その他

- 最も多く選択されたのは、前年と同様「1. 仕入担当者等仕入取引に影響を及ぼす者が購入を要請」であったが、《全販売先》は前年の 13.0%から 9.3%（前年比▲3.7 ㊦）に減少した。
選択の多かった販売先区分は、大手スーパー16.2%（同▲2.2 ㊦）、中小スーパー15.2%（同▲2.5 ㊦）、大手外食 14.3%（同▲9.5 ㊦）、中小外食 12.5%（同+0.5 ㊦）であった。
逆に、百貨店（同▲14.0 ㊦）、ホームセンター（同▲2.7 ㊦）は選択がなくなった。
- 次に選択されたのは「2. 組織的又は計画的に購入を要請」で、《全販売先》は前年の 6.1%から 4.9%（同▲1.2 ㊦）に減少した。
選択の多かった販売先区分は、大手外食（11.9%（同±0 ㊦））であった。
- 「3. 購入する意思がないと表明したにもかかわらず商品を一方的に送付する」は、前年同様選択がなかった。

問22 「押付販売等」の具体的内容



問22 「押付販売等」の具体的内容(21年度)



問22 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
1.仕入担当者等仕入取引に影響を及ぼす者が購入を要請	22年度調査	12 卸 16.2 %	15 卸 15.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.2 %
	21年度調査	14 卸 18.4 %	18 卸 17.6 %	6 卸 14.0 %	5 卸 11.6 %	1 卸 2.7 %	2 卸 4.1 %
	増減	▲ 2 卸 ▲ 2.2 ポイント	▲ 3 卸 ▲ 2.5 ポイント	▲ 6 卸 ▲ 14.0 ポイント	▲ 4 卸 ▲ 9.0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイント	± 0 卸 + 0.1 ポイント
2.組織的又は計画的に購入を要請	22年度調査	4 卸 5.4 %	6 卸 6.1 %	2 卸 4.8 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	5 卸 6.6 %	8 卸 7.8 %	2 卸 4.7 %	2 卸 4.7 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 1.2 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 1.8 ポイント	± 0 卸 + 0.1 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
3.購入する意思がないと表明したにもかかわらず商品を一方的に送付する	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
4.その他	22年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 1 卸 + 1.4 ポイント	+ 2 卸 + 2.0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
取引卸数	22年度調査	74 卸	99 卸	42 卸	38 卸	37 卸	48 卸
	21年度調査	76 卸	102 卸	43 卸	43 卸	37 卸	49 卸
	増減	▲ 2 卸	▲ 3 卸	▲ 1 卸	▲ 5 卸	± 0 卸	▲ 1 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 30 卸 8.9 %	6 卸 14.3 %	11 卸 12.5 %	3 卸 4.5 %	延 20 卸 10.2 %	延 50 卸 9.3 %
延 46 卸 13.1 %	10 卸 23.8 %	11 卸 12.0 %	4 卸 6.6 %	延 25 卸 12.8 %	延 71 卸 13.0 %
延 ▲ 16 卸 ▲ 4.3 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 9.5 ポイ	± 0 卸 + 0.5 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.1 ポイ	延 ▲ 5 卸 ▲ 2.7 ポイ	延 ▲ 21 卸 ▲ 3.7 ポイ
延 13 卸 3.8 %	5 卸 11.9 %	5 卸 5.7 %	3 卸 4.5 %	延 13 卸 6.6 %	延 26 卸 4.9 %
延 18 卸 5.1 %	5 卸 11.9 %	8 卸 8.7 %	2 卸 3.3 %	延 15 卸 7.7 %	延 33 卸 6.1 %
延 ▲ 5 卸 ▲ 1.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 3.0 ポイ	+ 1 卸 + 1.2 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 1.1 ポイ	延 ▲ 7 卸 ▲ 1.2 ポイ
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.5 %	延 2 卸 1.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 1 卸 0.2 %
延 + 3 卸 + 0.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 + 0.0 ポイ	+ 1 卸 + 1.5 ポイ	延 + 1 卸 + 0.5 ポイ	延 + 4 卸 + 0.8 ポイ
延 338 卸	42 卸	88 卸	67 卸	延 197 卸	延 535 卸
延 350 卸	42 卸	92 卸	61 卸	延 195 卸	延 545 卸
延 ▲ 12 卸	± 0 卸	▲ 4 卸	+ 6 卸	延 + 2 卸	延 ▲ 10 卸

問 23 前問で○を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

〔略〕

問 24 昨年に比べて、「押し付け販売等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

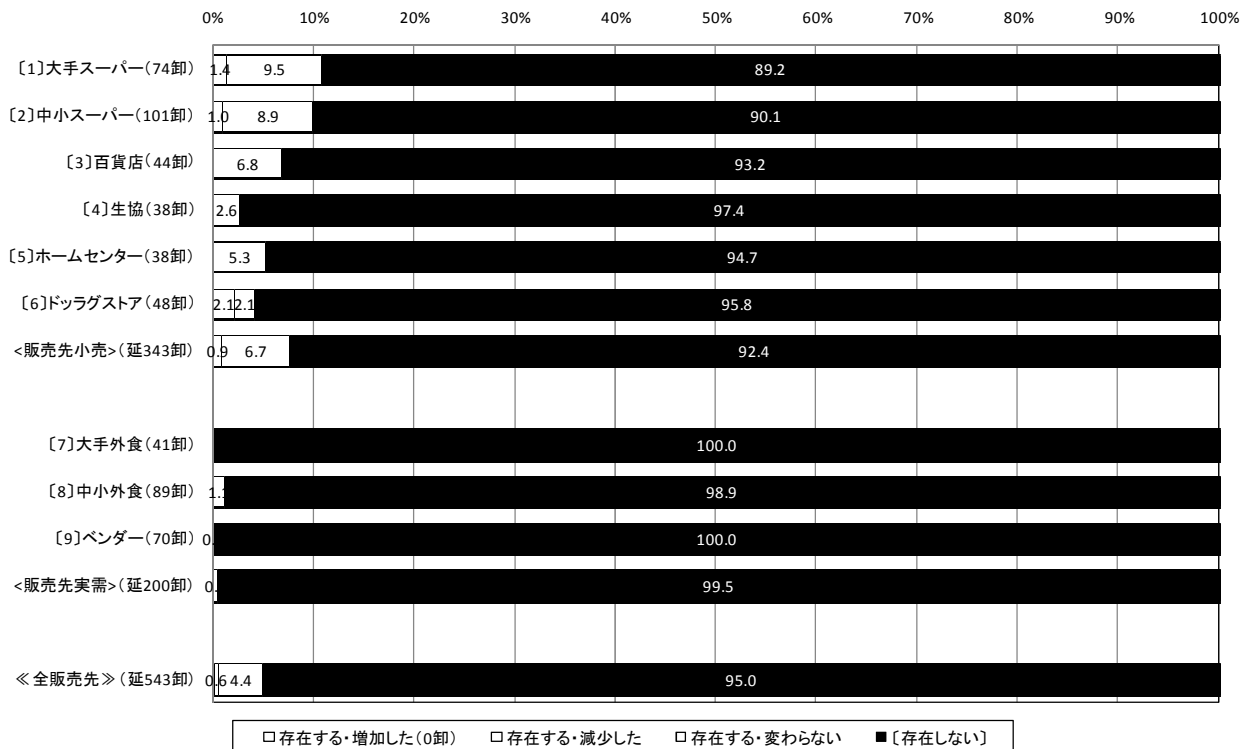
記載なし

＜告示第7項「納入業者の従業員等の不当使用等」について＞

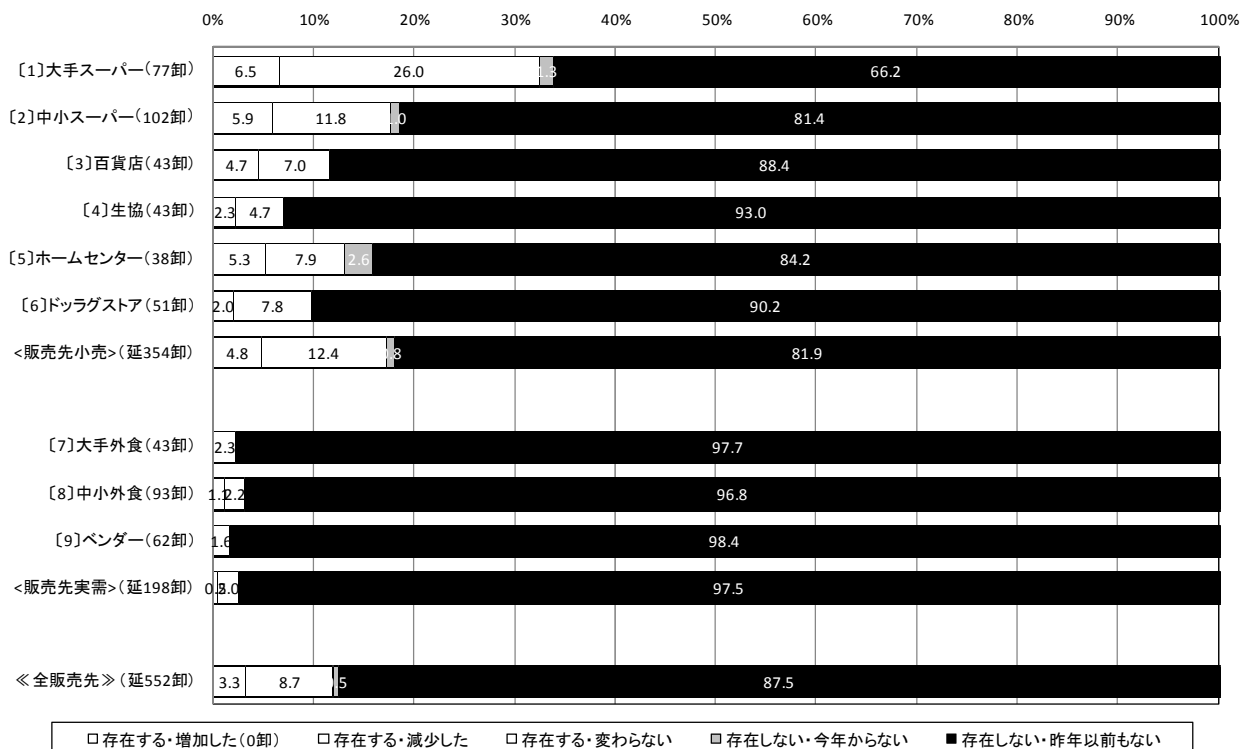
問 25 現在、販売先との取引において「納入業者の従業員等の不当使用等」（販売先等の業務に従事させるため、貴社の従業員等を派遣させたり、販売先等が雇用する従業員等の人件費を負担させること）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「納入業者の従業員等の不当使用等が存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前年の 12.0%から 5.0%（前年比▲7.0 ㊦）と大きく減少した。
販売先区分では、全販売先で減少しており、特に、大手スーパー10.8%（同▲21.7 ㊦）が大きく減少したが、最も高い割合であった。

問25 「納入業者の従業員等の不当使用等」の有無



問25 「納入業者の従業員等の不当使用等」の有無(21年度)



問25 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
存在する ・増加した	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
存在する ・減少した	22年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	5 卸 6.5 %	6 卸 5.9 %	2 卸 4.7 %	1 卸 2.3 %	2 卸 5.3 %	1 卸 2.0 %
	増減	▲ 4 卸 ▲ 5.1 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 4.9 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 5.3 ポイ	± 0 卸 + 0.1 ポイ
存在する ・変わらない	22年度調査	7 卸 9.5 %	9 卸 8.9 %	3 卸 6.8 %	1 卸 2.6 %	2 卸 5.3 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	20 卸 26.0 %	12 卸 11.8 %	3 卸 7.0 %	2 卸 4.7 %	3 卸 7.9 %	4 卸 7.8 %
	増減	▲ 13 卸 ▲ 16.5 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 2.9 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.2 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.6 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 5.8 ポイ
〔存在する〕	22年度調査	8 卸 10.8 %	10 卸 9.9 %	3 卸 6.8 %	1 卸 2.6 %	2 卸 5.3 %	2 卸 4.2 %
	21年度調査	25 卸 32.5 %	18 卸 17.6 %	5 卸 11.6 %	3 卸 7.0 %	5 卸 13.2 %	5 卸 9.8 %
	増減	▲ 17 卸 ▲ 21.7 ポイ	▲ 8 卸 ▲ 7.7 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.3 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 7.9 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 5.6 ポイ
〔存在しない〕	22年度調査	66 卸 89.2 %	91 卸 90.1 %	41 卸 93.2 %	37 卸 97.4 %	36 卸 94.7 %	46 卸 95.8 %
	21年度調査	52 卸 67.5 %	84 卸 82.4 %	38 卸 88.4 %	40 卸 93.0 %	33 卸 86.8 %	46 卸 90.2 %
	増減	+ 14 卸 + 21.7 ポイ	+ 7 卸 + 7.7 ポイ	+ 3 卸 + 4.8 ポイ	▲ 3 卸 + 4.3 ポイ	+ 3 卸 + 7.9 ポイ	± 0 卸 + 5.6 ポイ
取引卸数	22年度調査	74 卸	101 卸	44 卸	38 卸	38 卸	48 卸
	21年度調査	77 卸	102 卸	43 卸	43 卸	38 卸	51 卸
	増減	▲ 3 卸	▲ 1 卸	+ 1 卸	▲ 5 卸	± 0 卸	▲ 3 卸

＜販売先小売＞	〔7〕大手外食	〔8〕中小外食	〔9〕ベンダー	＜販売先実需＞	＜全販売先＞
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 17 卸 4.8 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 18 卸 3.3 %
延 ▲ 14 卸 ▲ 3.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ▲ 1 卸 ▲ 0.5 ポイ	延 ▲ 15 卸 ▲ 2.7 ポイ
延 23 卸 6.7 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 24 卸 4.4 %
延 44 卸 12.4 %	1 卸 2.3 %	2 卸 2.2 %	1 卸 1.6 %	延 4 卸 2.0 %	延 48 卸 8.7 %
延 ▲ 21 卸 ▲ 5.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 3 卸 ▲ 1.5 ポイ	延 ▲ 24 卸 ▲ 4.3 ポイ
延 26 卸 7.6 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 27 卸 5.0 %
延 61 卸 17.2 %	1 卸 2.3 %	3 卸 3.2 %	1 卸 1.6 %	延 5 卸 2.5 %	延 66 卸 12.0 %
延 ▲ 35 卸 ▲ 9.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 4 卸 ▲ 2.0 ポイ	延 ▲ 39 卸 ▲ 7.0 ポイ
延 317 卸 92.4 %	41 卸 100.0 %	88 卸 98.9 %	70 卸 100.0 %	延 199 卸 99.5 %	延 516 卸 95.0 %
延 293 卸 82.8 %	42 卸 97.7 %	90 卸 96.8 %	61 卸 98.4 %	延 193 卸 97.5 %	延 486 卸 88.0 %
延 + 24 卸 + 9.7 ポイ	▲ 1 卸 + 2.3 ポイ	▲ 2 卸 + 2.1 ポイ	+ 9 卸 + 1.6 ポイ	延 + 6 卸 + 2.0 ポイ	延 + 30 卸 + 7.0 ポイ
延 343 卸	41 卸	89 卸	70 卸	延 200 卸	延 543 卸
延 354 卸	43 卸	93 卸	62 卸	延 198 卸	延 552 卸
延 ▲ 11 卸	▲ 2 卸	▲ 4 卸	+ 8 卸	延 + 2 卸	延 ▲ 9 卸

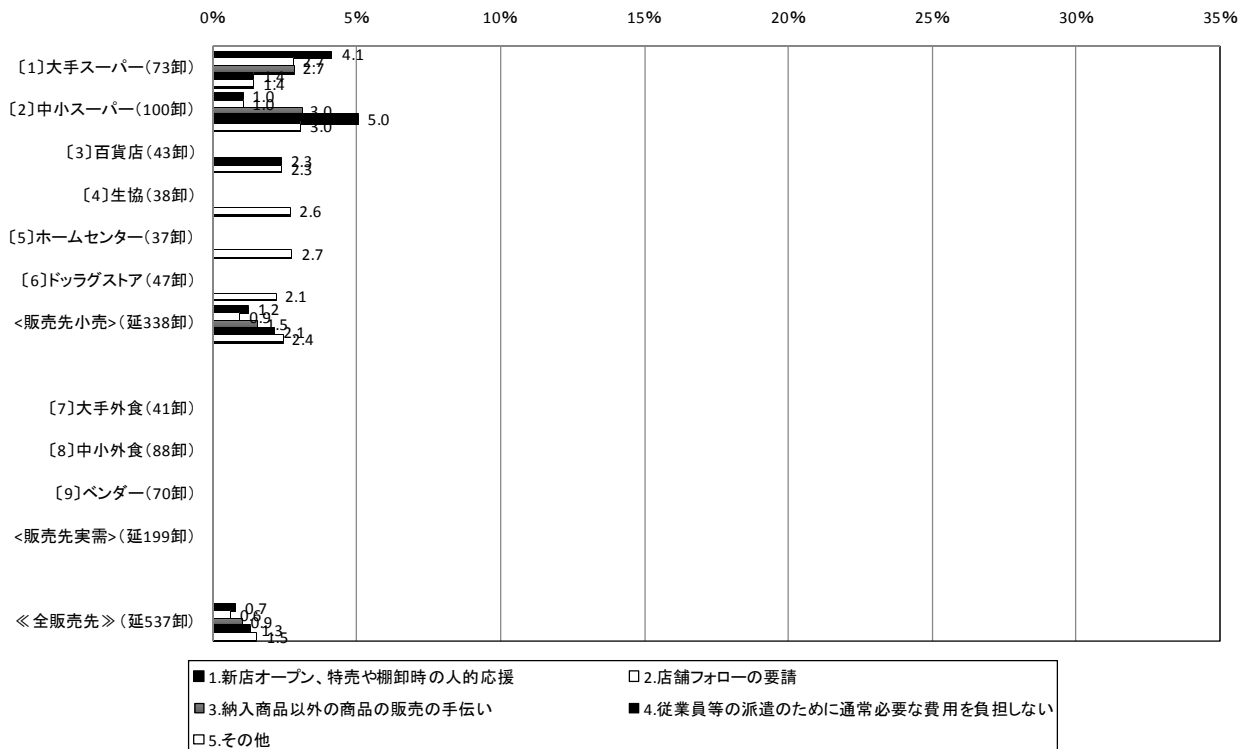
問 26 前問で「存在する」に○を付した取引の具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に○を付して下さい（複数可）。

選択肢

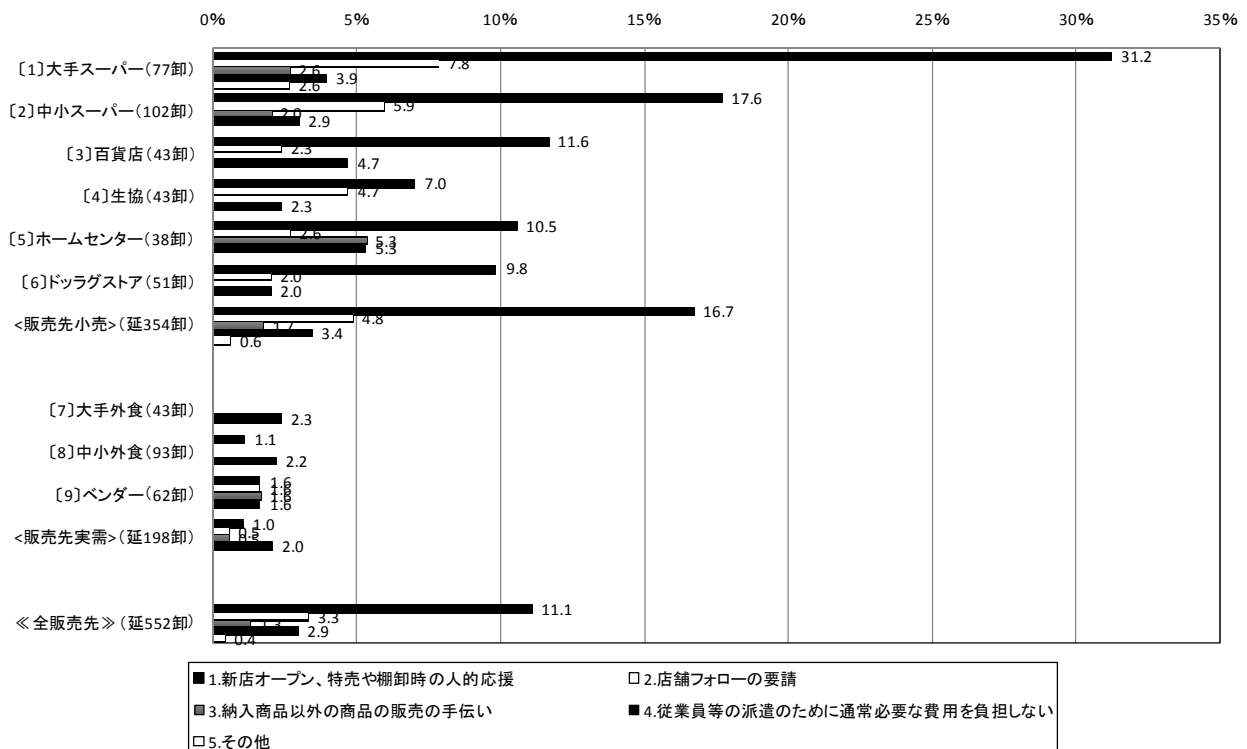
1. あらかじめ貴卸の同意を得ることなく、一方的に、新店オープンや特売等に際し、商品の陳列補充作業等を行うよう、従業員を派遣させられた
(新店オープン、特売や棚卸時の人的応援)
2. あらかじめ貴卸の同意を得ることなく、一方的に、普段の品出しや売場整理等店舗フォローに、従業員を派遣させられた
(店舗フォローの要請)
3. 新店オープンや特売時等に際し、貴卸の納入商品のみの販売業務に従事させることを条件としていたにも拘わらず、納入商品以外の商品の販売の手伝いをさせられた
(納入商品以外の商品の販売の手伝い)
4. 従業員等の派遣のための費用を負担する場合において、一律に日当額を定める等通常必要な費用を負担することなく、従業員を派遣させられた
(従業員等の派遣のために通常必要な費用を負担しない)
5. その他

- 最も多く選択されたのは「4. 従業員等の派遣のために通常必要な費用を負担しない」であったが、《全販売先》でも 1.3%、延 7 卸（前年比▲1.6%、▲9 卸）であった。
延 7 卸の販売先区分は、中小スーパーが 5 卸、5.0%（同+2 卸、+2.1 卸、）で、あとは大手スーパーと百貨店が各 1 卸であった。
- 前年最も多く、大手外食以外全ての販売先で選択された「1. 新店オープン、特売や棚卸時の人的応援」は、大手スーパー4.1%、3 卸（同▲27.1 卸、▲21 卸）、中小スーパー1.0%、1 卸（同▲16.6 卸、▲17 卸）のみとなり、選択した卸割合、卸数も大きく減少した。

問26「納入業者の従業員等の不当使用等」の具体的内容



問26「納入業者の従業員等の不当使用等」の具体的内容(21年度)



問26 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
1.新店オープン、特売や棚卸時の人的応援	22年度調査	3 卸 4.1 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	24 卸 31.2 %	18 卸 17.6 %	5 卸 11.6 %	3 卸 7.0 %	4 卸 10.5 %	5 卸 9.8 %
	増減	▲ 21 卸 ▲ 27.1 ポイ	▲ 17 卸 ▲ 16.6 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 11.6 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 7.0 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 10.5 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 9.8 ポイ
2.店舗フォローの要請	22年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	6 卸 7.8 %	6 卸 5.9 %	1 卸 2.3 %	2 卸 4.7 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.0 %
	増減	▲ 4 卸 ▲ 5.1 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 4.9 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.6 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ
3.納入商品以外の商品の販売の手伝い	22年度調査	2 卸 2.7 %	3 卸 3.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	2 卸 2.6 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 5.3 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 ポイ	+ 1 卸 + 1.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 5.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
4.従業員等の派遣のために通常必要な費用を負担しない	22年度調査	1 卸 1.4 %	5 卸 5.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	3 卸 3.9 %	3 卸 2.9 %	2 卸 4.7 %	1 卸 2.3 %	2 卸 5.3 %	1 卸 2.0 %
	増減	▲ 2 卸 ▲ 2.5 ポイ	+ 2 卸 + 2.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 5.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ
5.その他	22年度調査	1 卸 1.4 %	3 卸 3.0 %	1 卸 2.3 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	2 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 1.2 ポイ	+ 3 卸 + 3.0 ポイ	+ 1 卸 + 2.3 ポイ	+ 1 卸 + 2.6 ポイ	+ 1 卸 + 2.7 ポイ	+ 1 卸 + 2.1 ポイ
取引卸数	22年度調査	73 卸	100 卸	43 卸	38 卸	37 卸	47 卸
	21年度調査	77 卸	102 卸	43 卸	43 卸	38 卸	51 卸
	増減	▲ 4 卸	▲ 2 卸	± 0 卸	▲ 5 卸	▲ 1 卸	▲ 4 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.7 %
延 59 卸 16.7 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.6 %	延 2 卸 1.0 %	延 61 卸 11.1 %
延 ▲ 55 卸 ▲ 15.5 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 1.0 ポイ	延 ▲ 57 卸 ▲ 10.3 ポイ
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 17 卸 4.8 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 18 卸 3.3 %
延 ▲ 14 卸 ▲ 3.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 1 卸 ▲ 0.5 ポイ	延 ▲ 15 卸 ▲ 2.7 ポイ
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 6 卸 1.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 7 卸 1.3 %
延 ▲ 1 卸 ▲ 0.2 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 1 卸 ▲ 0.5 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 0.3 ポイ
延 7 卸 2.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 7 卸 1.3 %
延 12 卸 3.4 %	1 卸 2.3 %	2 卸 2.2 %	1 卸 1.6 %	延 4 卸 2.0 %	延 16 卸 2.9 %
延 ▲ 5 卸 ▲ 1.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.2 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 4 卸 ▲ 2.0 ポイ	延 ▲ 9 卸 ▲ 1.6 ポイ
延 8 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 8 卸 1.5 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 + 6 卸 + 1.8 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	延 + 6 卸 + 1.1 ポイ
延 338 卸	41 卸	88 卸	70 卸	延 199 卸	延 537 卸
延 354 卸	43 卸	93 卸	62 卸	延 198 卸	延 552 卸
延 ▲ 16 卸	▲ 2 卸	▲ 5 卸	+ 8 卸	延 + 1 卸	延 ▲ 15 卸

問 27 前問で○を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

〔略〕

問 28 昨年と比べて、「納入業者の従業員等の不当使用等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

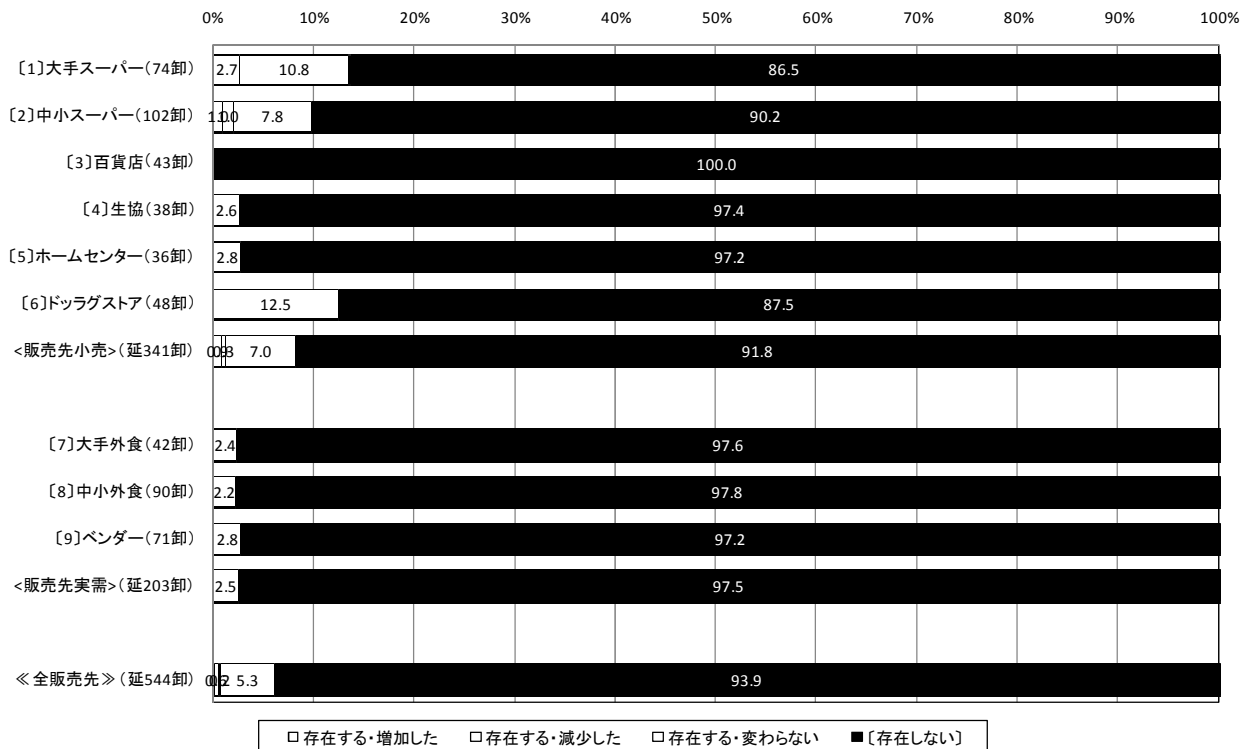
- 事前に打合せの上、新規オープン等の陳列の手伝いはするがその他の場合はできないことを説明している
- 公正取引委員会の介入を受けた
- 他のスーパーで不当使用が発覚したため

<告示第8項「不当な経済上の利益の收受等」について>

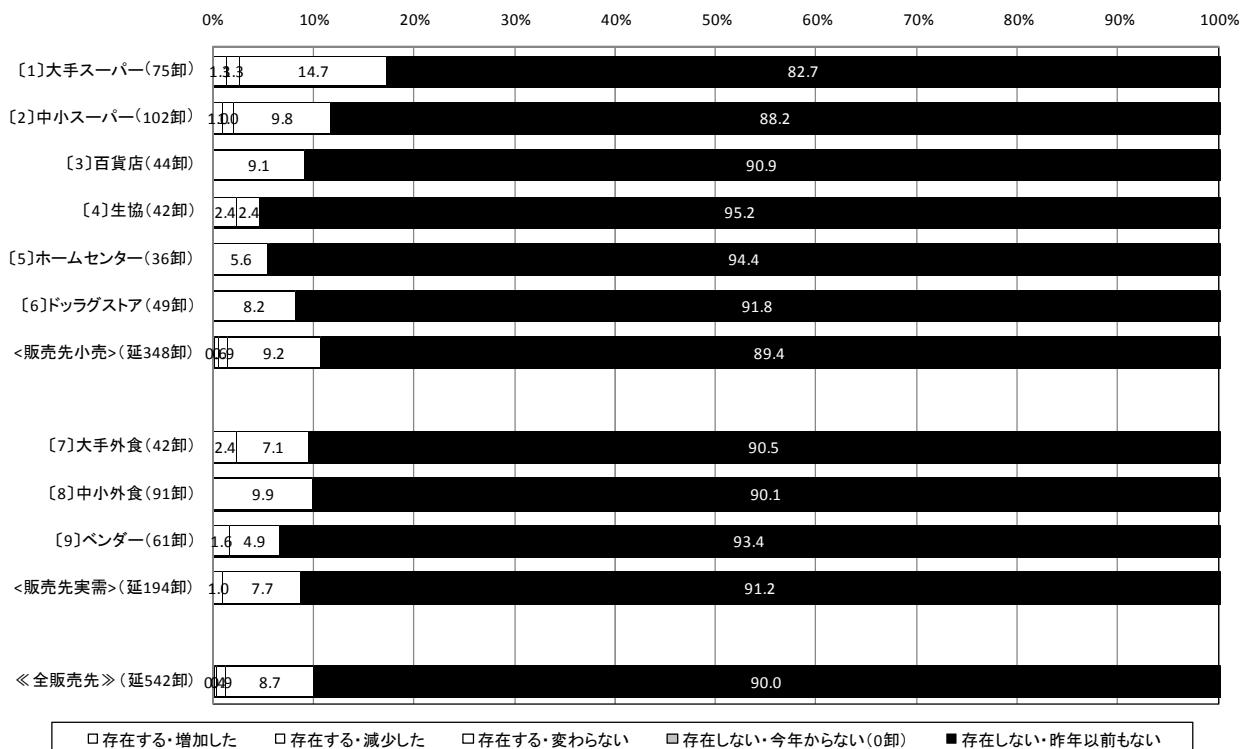
問 29 現在、販売先との取引において「不当な経済上の利益の收受等」（本来貴卸が提供する必要のない、あるいは、貴卸が得る利益等を勘案して合理的であると認められる範囲を超えて金銭、役務その他の経済上の利益を提供させること）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄 1 か所に○を付して下さい。

- 「不当な経済上の利益の收受等が存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前年の 10.0%から 6.1%（前年比▲3.9 ㊦）に減少した。
販売先区分では、百貨店で存在するとの回答がなくなり（前年は 9.1%）、大手外食 2.4%、1 卸（同▲7.1 ㊦、▲3 卸）、中小外食 2.2%、2 卸（同▲7.7 ㊦、▲7 卸）が大きく減少した。増加したのは、ドラッグストア 12.5%、6 卸（同+4.3 ㊦、+2 卸）のみであった。
- 「不当な経済上の利益の收受等が存在する」と回答した卸の割合の多い販売先区分は、大手スーパー13.5%、10 卸（同▲3.8 ㊦、▲3 卸）、中小スーパー9.8%、10 卸（同▲2.0 ㊦、▲2 卸）、ドラッグストアであった。

問29 「不当な経済上の利益の收受等」の有無



問29 「不当な経済上の利益の收受等」の有無(21年度)



問29 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
存在する ・増加した	22年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	1 卸 1.3 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 1 卸 + 1.4 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
存在する ・減少した	22年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	1 卸 1.3 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 1.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
存在する ・変わらない	22年度調査	8 卸 10.8 %	8 卸 7.8 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.8 %	6 卸 12.5 %
	21年度調査	11 卸 14.7 %	10 卸 9.8 %	4 卸 9.1 %	1 卸 2.4 %	2 卸 5.6 %	4 卸 8.2 %
	増減	▲ 3 卸 ▲ 3.9 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 9.1 ポイ	± 0 卸 + 0.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイ	+ 2 卸 + 4.3 ポイ
〔存在する〕	22年度調査	10 卸 13.5 %	10 卸 9.8 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.8 %	6 卸 12.5 %
	21年度調査	13 卸 17.3 %	12 卸 11.8 %	4 卸 9.1 %	2 卸 4.8 %	2 卸 5.6 %	4 卸 8.2 %
	増減	▲ 3 卸 ▲ 3.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 9.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイ	+ 2 卸 + 4.3 ポイ
〔存在しない〕	22年度調査	64 卸 86.5 %	92 卸 90.2 %	43 卸 100.0 %	37 卸 97.4 %	35 卸 97.2 %	42 卸 87.5 %
	21年度調査	62 卸 82.7 %	90 卸 88.2 %	40 卸 90.9 %	40 卸 95.2 %	34 卸 94.4 %	45 卸 91.8 %
	増減	+ 2 卸 + 3.8 ポイ	+ 2 卸 + 2.0 ポイ	+ 3 卸 + 9.1 ポイ	▲ 3 卸 + 2.1 ポイ	+ 1 卸 + 2.8 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 4.3 ポイ
取引卸数	22年度調査	74 卸	102 卸	43 卸	38 卸	36 卸	48 卸
	21年度調査	75 卸	102 卸	44 卸	42 卸	36 卸	49 卸
	増減	▲ 1 卸	± 0 卸	▲ 1 卸	▲ 4 卸	± 0 卸	▲ 1 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 + 1 卸 + 0.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	延 + 1 卸 + 0.2 ポイ
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 3 卸 0.9 %	1 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 2 卸 1.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 ▲ 2 卸 ▲ 0.6 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 1.0 ポイ	延 ▲ 4 卸 ▲ 0.7 ポイ
延 24 卸 7.0 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	2 卸 2.8 %	延 5 卸 2.5 %	延 29 卸 5.3 %
延 32 卸 9.2 %	3 卸 7.1 %	9 卸 9.9 %	3 卸 4.9 %	延 15 卸 7.7 %	延 47 卸 8.7 %
延 ▲ 8 卸 ▲ 2.2 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.8 ポイ	▲ 7 卸 ▲ 7.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.1 ポイ	延 ▲ 10 卸 ▲ 5.3 ポイ	延 ▲ 18 卸 ▲ 3.3 ポイ
延 28 卸 8.2 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	2 卸 2.8 %	延 5 卸 2.5 %	延 33 卸 6.1 %
延 37 卸 10.6 %	4 卸 9.5 %	9 卸 9.9 %	4 卸 6.6 %	延 17 卸 8.8 %	延 54 卸 10.0 %
延 ▲ 9 卸 ▲ 2.4 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 7.1 ポイ	▲ 7 卸 ▲ 7.7 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 3.7 ポイ	延 ▲ 12 卸 ▲ 6.3 ポイ	延 ▲ 21 卸 ▲ 3.9 ポイ
延 313 卸 91.8 %	41 卸 97.6 %	88 卸 97.8 %	69 卸 97.2 %	延 198 卸 97.5 %	延 511 卸 93.9 %
延 311 卸 89.4 %	38 卸 90.5 %	82 卸 90.1 %	57 卸 93.4 %	延 177 卸 91.2 %	延 488 卸 90.0 %
延 + 2 卸 + 2.4 ポイ	+ 3 卸 + 7.1 ポイ	+ 6 卸 + 7.7 ポイ	+ 12 卸 + 3.7 ポイ	延 + 21 卸 + 6.3 ポイ	延 + 23 卸 + 3.9 ポイ
延 341 卸	42 卸	90 卸	71 卸	延 203 卸	延 544 卸
延 348 卸	42 卸	91 卸	61 卸	延 194 卸	延 542 卸
延 ▲ 7 卸	± 0 卸	▲ 1 卸	+ 10 卸	延 + 9 卸	延 + 2 卸

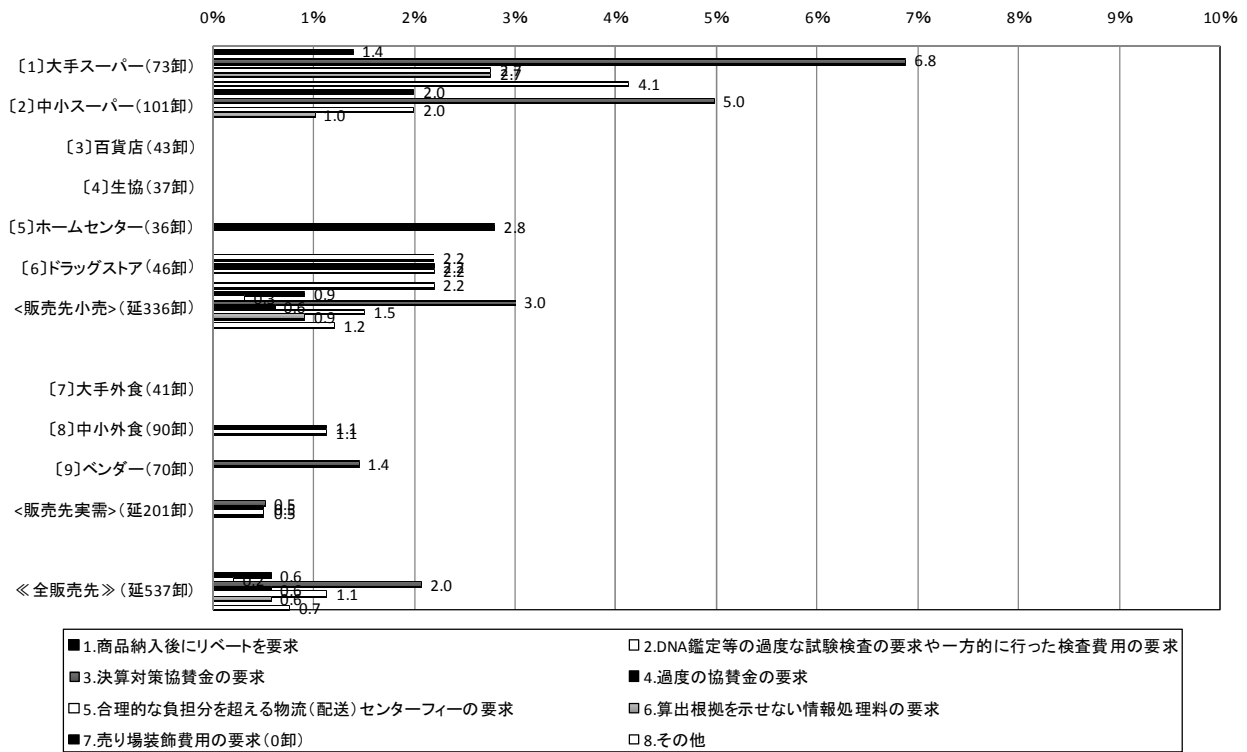
問 30 前問で「存在する」に○を付した取引の具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に○を付して下さい（複数可）。

選択肢

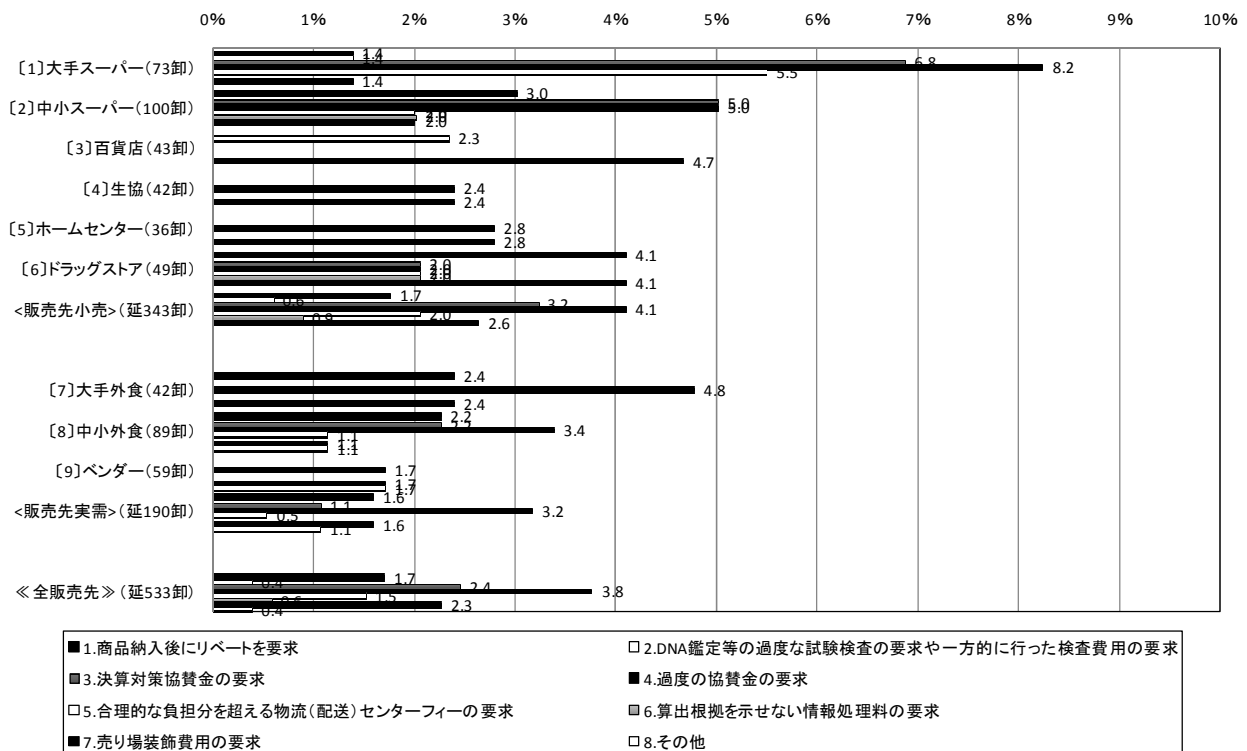
1. あらかじめ定めておいたリベート供与の条件（販売量等）を達成しないのにリベートを払わされた
（商品納入後にリベートを要求）
2. DNA鑑定等の過度な試験検査をさせられたり、一方的に行った検査費用を払わされた
（DNA鑑定等の過度な試験検査の要求や一方的に行った検査費用の要求）
3. 決算対策協賛金を払わされた（決算対策協賛金の要求）
4. 合理的な負担分を超えた協賛金を払わされた（過度の協賛金の要求）
5. 事前に算出根拠等について貴卸と協議することなく合理的な負担分を超える物流（配送）センターフィーを払わされた
（合理的な負担分を超える物流（配送）センターフィーの要求）
6. 算出根拠を示せない情報処理料を払わされた（算出根拠を示せない情報処理料の要求）
7. 合理的な負担分を超える売場装飾費用を払わされた（売場装飾費用の要求）
8. その他

- 最も多く選択されたのは、「3. 決算対策協賛金の要求」で、《全販売先》は 2.0%、延 11 卸（前年比▲0.4 ㊦、▲2 卸）と前年からほぼ横ばいであった。
販売先区分では、大手スーパー6.8%、5 卸（同±0.0 ㊦、±0 卸）、中小スーパー5.0%、5 卸（▲0.0 ㊦、±0 卸）、が前年と同数選択され、ベンダー1.4%、1 卸（+1.4 ㊦、+1 卸）は増加、昨年選択されたドラッグストア（昨年 2.0 ㊦、1 卸）、中小外食（昨年 2.2 ㊦、2 卸）はなくなった。
- 前年最も多く選択された「4. 過度の協賛金の要求」は、《全販売先》で 0.6%、延 3 卸（昨年比▲3.2 ㊦、▲17 卸）と前年に比べ大きく減少した。
販売先区分では、ホームセンター、ドラッグストア、中小外食で各 1 卸のみとなり、大手スーパー（前年 6 卸）、中小スーパー（前年 5 卸）等他の販売先はなくなった。
- 前年三番目に多かった「7. 売り場装飾費用の要求」（昨年《全販売先》2.3%、延 12 卸）は、本年はなくなった。

問30 「不当な経済上の利益の収受等」の具体的内容



問30 「不当な経済上の利益の収受等」の具体的内容(21年度)



問30 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
1.商品納入後にレポートを要求	22年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	1 卸 1.4 %	3 卸 3.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.1 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.1 ポイ
2.DNA鑑定等の過度な試験検査の要求や一方的に行った検査費用の要求	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.2 %
	21年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 1.4 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.2 ポイ
3.決算対策協賛金の要求	22年度調査	5 卸 6.8 %	5 卸 5.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	5 卸 6.8 %	5 卸 5.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ
4.過度の協賛金の要求	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	1 卸 2.2 %
	21年度調査	6 卸 8.2 %	5 卸 5.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %	1 卸 2.8 %	1 卸 2.0 %
	増減	▲ 6 卸 ▲ 8.2 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 5.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 + 0.1 ポイ
5.合理的な負担分を超える物流(配送)センターフィーの要求	22年度調査	2 卸 2.7 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.2 %
	21年度調査	4 卸 5.5 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.0 %
	増減	▲ 2 卸 ▲ 2.7 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 + 0.1 ポイ
6.算出根拠を示せない情報処理料の要求	22年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.0 %
	増減	+ 2 卸 + 2.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイ
7.売り場装飾費用の要求	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	2 卸 4.7 %	1 卸 2.4 %	1 卸 2.8 %	2 卸 4.1 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 1.4 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.1 ポイ
8.その他	22年度調査	3 卸 4.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.2 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 3 卸 + 4.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.2 ポイ
取引卸数	22年度調査	73 卸	101 卸	43 卸	37 卸	36 卸	46 卸
	21年度調査	73 卸	100 卸	43 卸	42 卸	36 卸	49 卸
	増減	± 0 卸	+ 1 卸	± 0 卸	▲ 5 卸	± 0 卸	▲ 3 卸

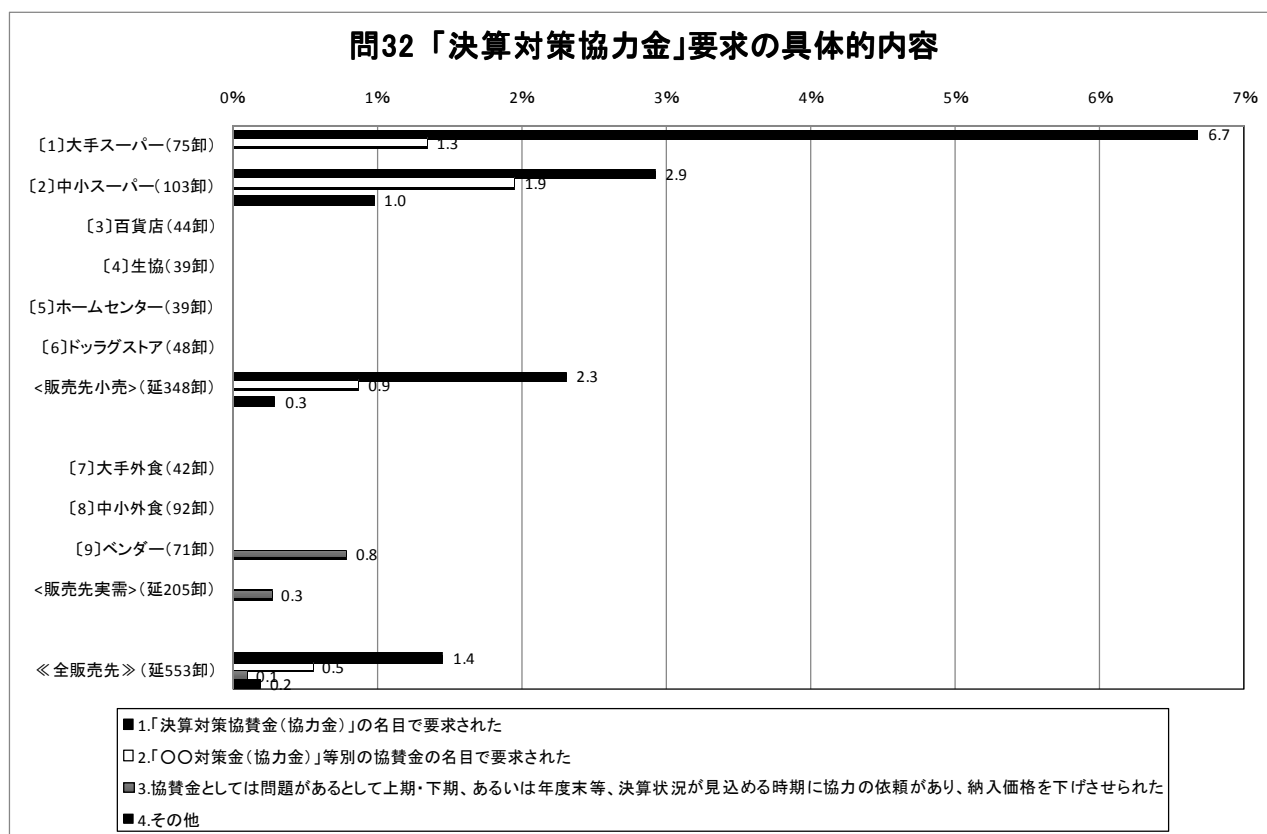
<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	《全販売先》
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 6 卸 1.7 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 3 卸 1.6 %	延 9 卸 1.7 %
延 ▲ 3 卸 ▲ 0.9 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.2 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ▲ 3 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 6 卸 ▲ 1.1 ポイ
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 ▲ 1 卸 ▲ 0.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ▲ 1 卸 ▲ 0.2 ポイ
延 10 卸 3.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	延 1 卸 0.5 %	延 11 卸 2.0 %
延 11 卸 3.2 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.1 %	延 13 卸 2.4 %
延 ▲ 1 卸 ▲ 0.2 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.2 ポイ	+ 1 卸 + 1.4 ポイ	延 ▲ 1 卸 ▲ 0.6 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 0.4 ポイ
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 3 卸 0.6 %
延 14 卸 4.1 %	2 卸 4.8 %	3 卸 3.4 %	1 卸 1.7 %	延 6 卸 3.2 %	延 20 卸 3.8 %
延 ▲ 12 卸 ▲ 3.5 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.7 ポイ	延 ▲ 5 卸 ▲ 2.7 ポイ	延 ▲ 17 卸 ▲ 3.2 ポイ
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 6 卸 1.1 %
延 7 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 8 卸 1.5 %
延 ▲ 2 卸 ▲ 0.6 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 0.4 ポイ
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 ± 0 卸 + 0.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ± 0 卸 ▲ 0.0 ポイ
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 9 卸 2.6 %	1 卸 2.4 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.7 %	延 3 卸 1.6 %	延 12 卸 2.3 %
延 ▲ 9 卸 ▲ 2.6 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.7 ポイ	延 ▲ 3 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 12 卸 ▲ 2.3 ポイ
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.7 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.7 %	延 2 卸 1.1 %	延 2 卸 0.4 %
延 + 4 卸 + 1.2 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.7 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 1.1 ポイ	延 + 2 卸 + 0.4 ポイ
延 336 卸	41 卸	90 卸	70 卸	延 201 卸	延 537 卸
延 343 卸	42 卸	89 卸	59 卸	延 190 卸	延 533 卸
延 ▲ 7 卸	▲ 1 卸	+ 1 卸	+ 11 卸	延 + 11 卸	延 + 4 卸

問 31 前問で○を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

〔略〕

問 32 具体的内容の「決算対策協賛金を払わされた」ケースについて伺います。具体的には、どのような形で要求されましたか。当てはまる欄に○を付して下さい（複数可）。

- 延 13 卸から回答があり、最も多いのは「決算対策協賛金」としての要求で延 8 卸（大手スーパー5 卸、中小スーパー3 卸）、その他は、「創業祭協賛金」（大手スーパー）、「〇〇周年協賛金」（中小スーパー）、「年末協賛金」（中小スーパー）という別の名目での協賛金、「納入価格の引下げ」、「仕入値引処理」であった。



問32 データテーブル

	[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
1.「決算対策協賛金(協力金)」の名目で要求された	5 卸 6.7 %	3 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
2.「〇〇対策金(協力金)」等別の協賛金の名目で要求された	1 卸 1.3 %	2 卸 1.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
3.協賛金としては問題があるとして上期・下期、あるいは年度末等、決算状況が見込める時期に協力の依頼があり、納入価格を下げさせられた	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
4.その他	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
取引卸数	75 卸	103 卸	44 卸	39 卸	39 卸	48 卸

問 33 昨年に比べて、「不当な経済上の利益の收受等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

- 細かな打合せを行うようにしている

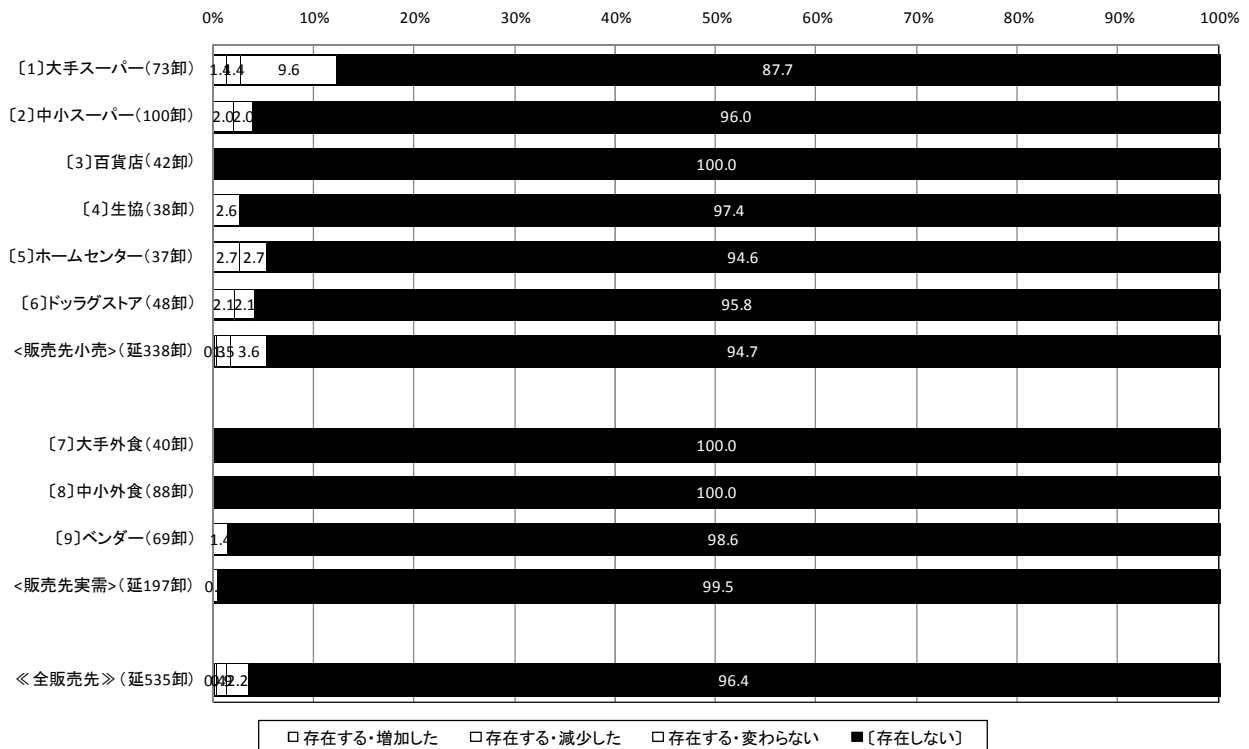
<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 8 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 8 卸 1.4 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.5 %
延 0 卸	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 0.8 %	延 1 卸 0.3 %	延 1 卸 0.1 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 348 卸	42 卸	92 卸	71 卸	延 205 卸	延 553 卸

＜告示第9項「要求拒否の場合の不利益な取扱い」について＞

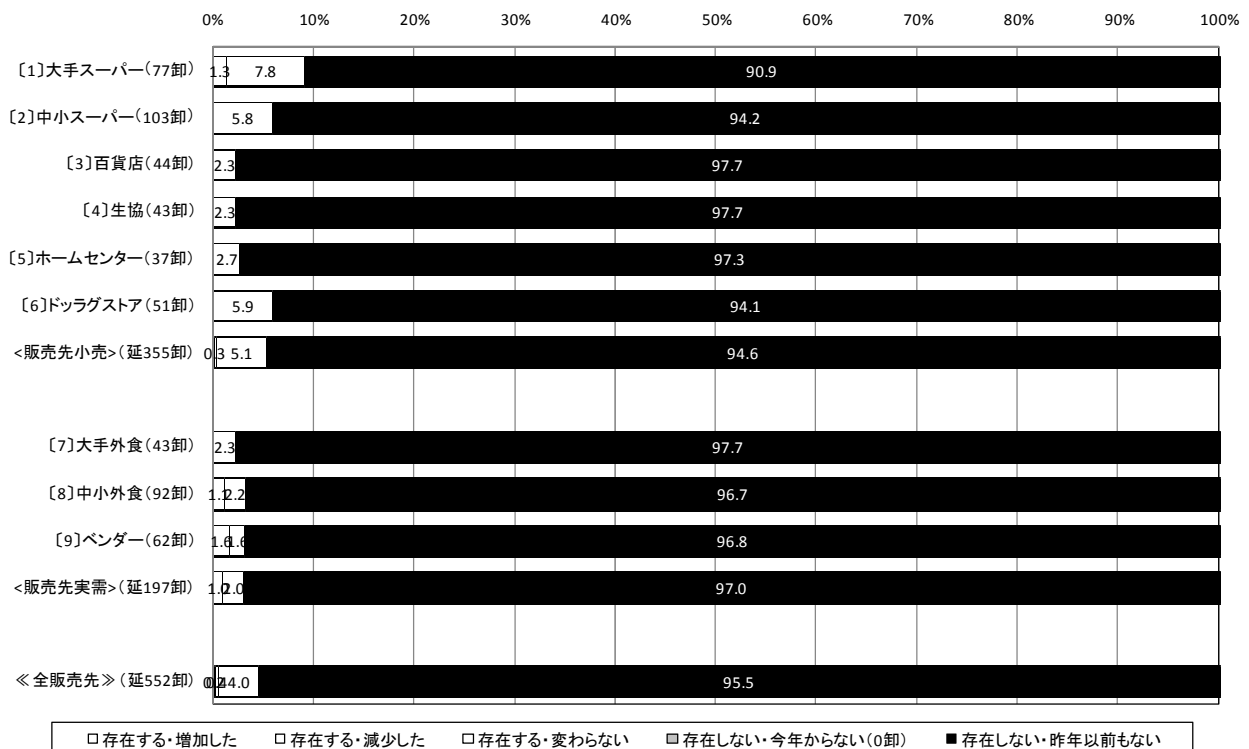
問 34 現在、販売先との取引において「要求拒否の場合の不利益な取り扱い」（第1項～第8項の要求に応じないことを理由に、不利益な取扱いをすること）が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「要求拒否の場合の不利益な取扱いが存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で3.6%（前年比▲1.0 ㊦）であった。
販売先区分では、大手スーパー12.3%（同+3.2 ㊦）が昨年同様最も多かった。

問34「要求拒否の場合の不利益な取扱い」の有無



問34「要求拒否の場合の不利益な取扱い」の有無(21年度)



問34 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
存在する ・増加した	22年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
存在する ・減少した	22年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 1 卸 + 1.4 ポイ	+ 2 卸 + 2.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.7 ポイ	+ 1 卸 + 2.1 ポイ
存在する ・変わらない	22年度調査	7 卸 9.6 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	6 卸 7.8 %	6 卸 5.8 %	1 卸 2.3 %	1 卸 2.3 %	1 卸 2.7 %	3 卸 5.9 %
	増減	+ 1 卸 + 1.8 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 3.8 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	± 0 卸 + 0.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 3.8 ポイ
〔存在する〕	22年度調査	9 卸 12.3 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	2 卸 5.4 %	2 卸 4.2 %
	21年度調査	7 卸 9.1 %	6 卸 5.8 %	1 卸 2.3 %	1 卸 2.3 %	1 卸 2.7 %	3 卸 5.9 %
	増減	+ 2 卸 + 3.2 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 1.8 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	± 0 卸 + 0.3 ポイ	+ 1 卸 + 2.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.7 ポイ
〔存在しない〕	22年度調査	64 卸 87.7 %	96 卸 96.0 %	42 卸 100.0 %	37 卸 97.4 %	35 卸 94.6 %	46 卸 95.8 %
	21年度調査	70 卸 90.9 %	97 卸 94.2 %	43 卸 97.7 %	42 卸 97.7 %	36 卸 97.3 %	48 卸 94.1 %
	増減	▲ 6 卸 ▲ 3.2 ポイ	▲ 1 卸 + 1.8 ポイ	▲ 1 卸 + 2.3 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 0.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイ	▲ 2 卸 + 1.7 ポイ
取引卸数	22年度調査	127 卸	126 卸	127 卸	128 卸	127 卸	129 卸
	21年度調査	130 卸	128 卸	129 卸	130 卸	129 卸	129 卸
	増減	▲ 3 卸	▲ 2 卸	▲ 2 卸	▲ 2 卸	▲ 2 卸	± 0 卸

<販売先小売>	[7]大手外食	[8]中小外食	[9]ベンダー	<販売先実需>	<<全販売先>>
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	延 1 卸 0.5 %	延 2 卸 0.4 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延± 0 卸 + 0.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 1.4 ポイ	延+ 1 卸 + 0.5 ポイ	延+ 1 卸 + 0.2 ポイ
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.6 %	延 2 卸 1.0 %	延 2 卸 0.4 %
延+ 5 卸 + 1.5 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 2 卸 ▲ 1.0 ポイ	延+ 3 卸 + 0.6 ポイ
延 12 卸 3.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 12 卸 2.2 %
延 18 卸 5.1 %	1 卸 2.3 %	2 卸 2.2 %	1 卸 1.6 %	延 4 卸 2.0 %	延 22 卸 4.0 %
延 ▲ 6 卸 ▲ 1.5 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.2 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 4 卸 ▲ 2.0 ポイ	延 ▲ 10 卸 ▲ 1.7 ポイ
延 18 卸 5.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	延 1 卸 0.5 %	延 19 卸 3.6 %
延 19 卸 5.4 %	1 卸 2.3 %	3 卸 3.3 %	2 卸 3.2 %	延 6 卸 3.0 %	延 25 卸 4.5 %
延 ▲ 1 卸 ▲ 0.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 3.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.8 ポイ	延 ▲ 5 卸 ▲ 2.5 ポイ	延 ▲ 6 卸 ▲ 1.0 ポイ
延 320 卸 94.7 %	40 卸 100.0 %	88 卸 100.0 %	68 卸 98.6 %	延 196 卸 99.5 %	延 516 卸 96.4 %
延 336 卸 94.6 %	42 卸 97.7 %	89 卸 96.7 %	60 卸 96.8 %	延 191 卸 97.0 %	延 527 卸 95.5 %
延 ▲ 16 卸 + 0.0 ポイ	▲ 2 卸 + 2.3 ポイ	▲ 1 卸 + 3.3 ポイ	+ 8 卸 + 1.8 ポイ	延+ 5 卸 + 2.5 ポイ	延 ▲ 11 卸 + 1.0 ポイ
延 764 卸	127 卸	125 卸	127 卸	延 379 卸	延 1,143 卸
延 775 卸	129 卸	127 卸	128 卸	延 384 卸	延 1,159 卸
延 ▲ 11 卸	▲ 2 卸	▲ 2 卸	▲ 1 卸	延 ▲ 5 卸	延 ▲ 16 卸

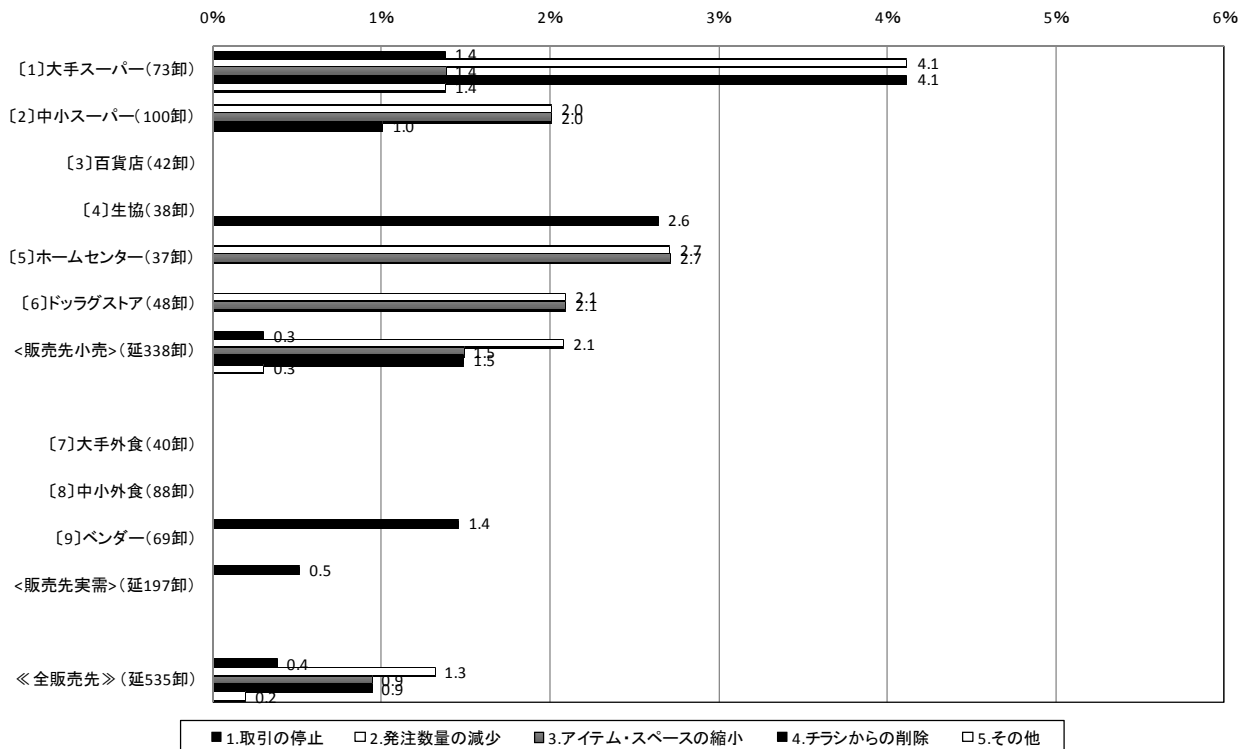
問 35 前問で「存在する」に○を付した具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に○を付して下さい（複数可）。

選択枝

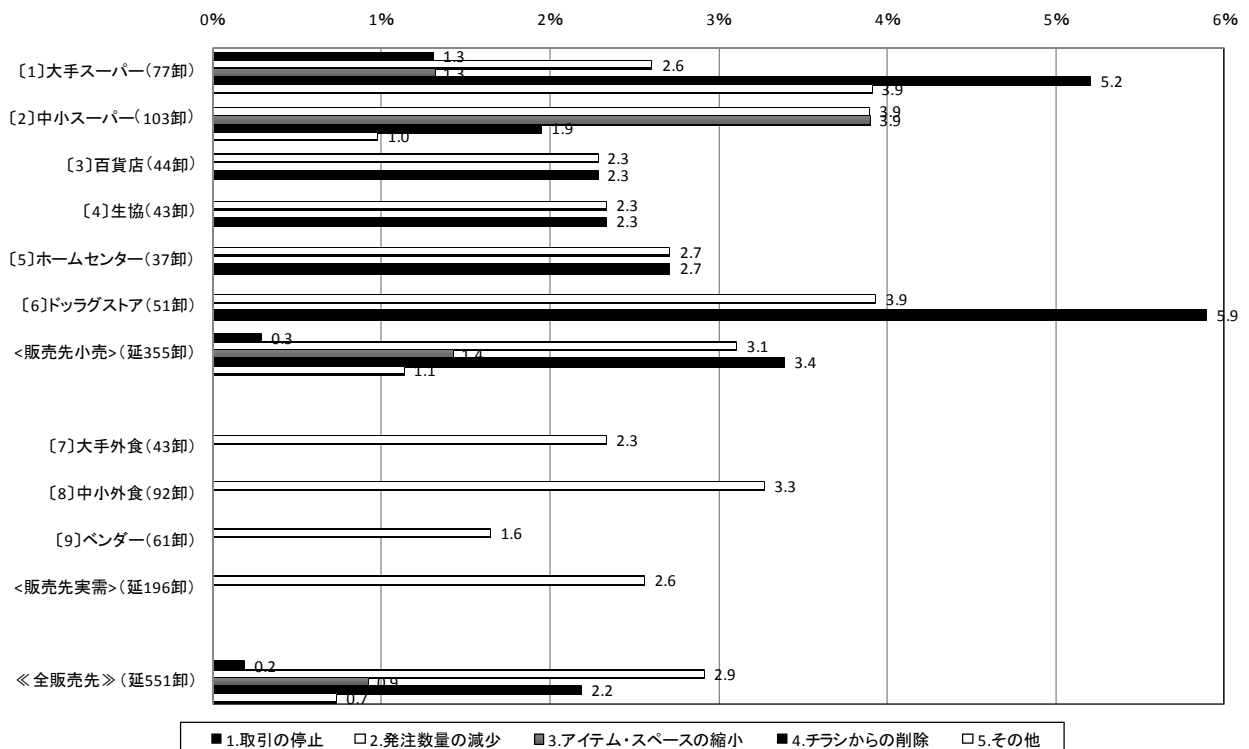
1. 取引を停止された（取引の停止）
2. 発注数量を減らされた（発注数量の減少）
3. アイテム・スペースを縮小された（アイテム・スペースの縮小）
4. チラシから削除された（チラシからの削除）
5. その他

- 最も多く選択されたのは、「2. 発注数量の減少」で、《全販売先》は、1.3%、延 7 卸（前年比▲1.6 ㊦、▲9 卸）と、昨年に比べて減少した。
販売先区分では、大手スーパー4.1%、3 卸（昨年比＋1.5 ㊦、＋1 卸）が最も多かった。
- 次に選択されたのは、「3. アイテム・スペースの縮小」と「4. チラシからの削除」で、いずれも延 5 卸であった。

問35 「要求拒否の場合の不利益な取扱い」の具体的内容



問35 「要求拒否の場合の不利益な取扱い」の具体的内容(21年度)



問35 データテーブル

		[1]大手スーパー	[2]中小スーパー	[3]百貨店	[4]生協	[5]ホームセンター	[6]ドラッグストア
1.取引の停止	22年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
2.発注数量の減少	22年度調査	3 卸 4.1 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	2 卸 2.6 %	4 卸 3.9 %	1 卸 2.3 %	1 卸 2.3 %	1 卸 2.7 %	2 卸 3.9 %
	増減	+ 1 卸 + 1.5 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 1.9 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.8 ポイ
3.アイテム・スペースの縮小	22年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	21年度調査	1 卸 1.3 %	4 卸 3.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 1.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.7 ポイ	+ 1 卸 + 2.1 ポイ
4.チラシからの削除	22年度調査	3 卸 4.1 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	4 卸 5.2 %	2 卸 1.9 %	1 卸 2.3 %	1 卸 2.3 %	1 卸 2.7 %	3 卸 5.9 %
	増減	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 0.9 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	± 0 卸 + 0.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 5.9 ポイ
5.その他	22年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	21年度調査	3 卸 3.9 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	▲ 2 卸 ▲ 2.5 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
取引卸数	22年度調査	73 卸	100 卸	42 卸	38 卸	37 卸	48 卸
	21年度調査	77 卸	103 卸	44 卸	43 卸	37 卸	51 卸
	増減	▲ 4 卸	▲ 3 卸	▲ 2 卸	▲ 5 卸	± 0 卸	▲ 3 卸

＜販売先小売＞	〔7〕大手外食	〔8〕中小外食	〔9〕ベンダー	＜販売先実需＞	＜全販売先＞
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	延 1 卸 0.5 %	延 2 卸 0.4 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延± 0 卸 + 0.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 1.4 ポイ	延+ 1 卸 + 0.5 ポイ	延+ 1 卸 + 0.2 ポイ
延 7 卸 2.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 7 卸 1.3 %
延 11 卸 3.1 %	1 卸 2.3 %	3 卸 3.3 %	1 卸 1.6 %	延 5 卸 2.6 %	延 16 卸 2.9 %
延 ▲ 4 卸 ▲ 1.0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 3.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	延 ▲ 5 卸 ▲ 2.6 ポイ	延 ▲ 9 卸 ▲ 1.6 ポイ
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 5 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.9 %
延± 0 卸 + 0.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延± 0 卸 ± 0 ポイ	延± 0 卸 + 0.0 ポイ
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 12 卸 3.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 12 卸 2.2 %
延 ▲ 7 卸 ▲ 1.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ▲ 7 卸 ▲ 1.2 ポイ
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 4 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.7 %
延 ▲ 3 卸 ▲ 0.8 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	延± 0 卸 ± 0 ポイ	延 ▲ 3 卸 ▲ 0.5 ポイ
延 338 卸	40 卸	88 卸	69 卸	延 197 卸	延 535 卸
延 355 卸	43 卸	92 卸	61 卸	延 196 卸	延 551 卸
延 ▲ 17 卸	▲ 3 卸	▲ 4 卸	+ 8 卸	延+ 1 卸	延 ▲ 16 卸

問 36 前問で○を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

〔略〕

問 37 昨年に比べて、「不当な経済上の利益の収受等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

記載なし

<告示第10項「公正取引委員会への報告に対する不利益な取扱い」について>

問 38 現在、販売先との取引において「公正取引委員会への報告に対する不利益な取扱い」と思われる取引が存在しますか。

昨年同様、存在するとの回答はない。

問 39 前問で○を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

存在するとの回答がないため記載なし。

問 40 昨年に比べて、「公正取引委員会への報告に対する不利益な取扱い」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

記載なし

＜その他＞

問 41 公正・不公正を問わず、取引先からの返品（商品の瑕疵等、貴卸の責任による返品は除く）がない取引先について伺います。返品がない理由は何ですか。販売先区分ごとに、当てはまる欄に○を付して下さい（複数可）。

選択枝

1. 返品を受けない条件として、納入価格メリットを出している（価格を低く設定している）
2. 取引先が返品はしない主義である（「自らの責任で仕入れたものは、自らの責任で売り切るもの」という考え）
3. 双方の合意を遵守している
4. その他

- 最も多く選択されたのは、「2. 取引先が返品はしない主義である（「自らの責任で仕入れたものは、自らの責任で売り切るもの」という考え）」で、《全販売先》51.5%、＜販売先小売＞49.5%、＜販売先実需＞54.9%であった。
販売先区分では、大手スーパー（67.4%）、大手外食（65.4%）、生協（63.6%）が多かった。
- 次に選択されたのが、「3. 双方の合意を遵守している」で、《全販売先》50.2%、＜販売先小売＞47.4%、＜販売先実需＞54.9%であった。
- 三番目は「1. 返品を受けない条件として、納入価格メリットを出している（価格を低く設定している）」で、《全販売先》17.3%、＜販売先小売＞20.6%、＜販売先実需＞11.5%であった。

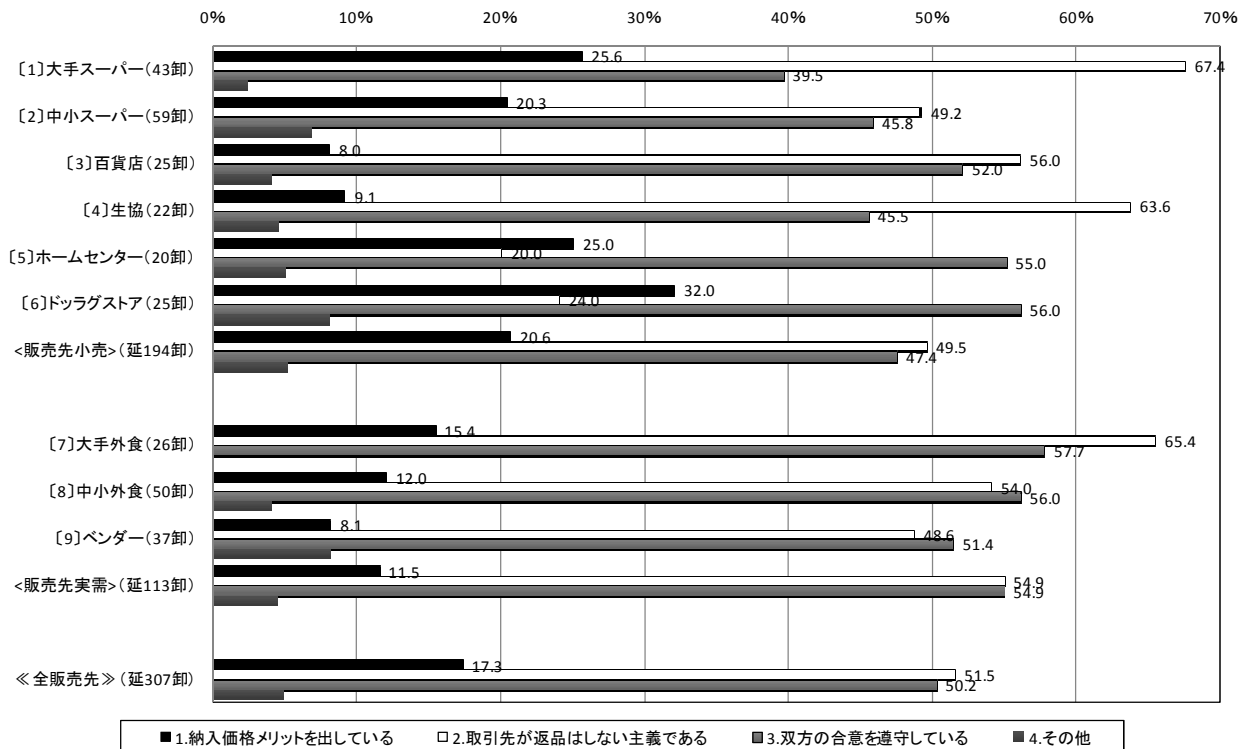
「4. その他」として記載された理由

- 返品を受け付けない
- 取引先が販売期限を設けていない
- 取引先の在庫を当社が調整している
- 取引先が1週間～10日間の使用分の仕入でやっている
- 精米年月日が古い米は自主的に取替えている

問41 データテーブル

	〔1〕大手スーパー	〔2〕中小スーパー	〔3〕百貨店	〔4〕生協	〔5〕ホームセンター	〔6〕ドラッグストア
1.納入価格メリットを出している	11 卸 25.6 %	12 卸 20.3 %	2 卸 8.0 %	2 卸 9.1 %	5 卸 25.0 %	8 卸 32.0 %
2.取引先が返品はしない主義である	29 卸 67.4 %	29 卸 49.2 %	14 卸 56.0 %	14 卸 63.6 %	4 卸 20.0 %	6 卸 24.0 %
3.双方の合意を遵守している	17 卸 39.5 %	27 卸 45.8 %	13 卸 52.0 %	10 卸 45.5 %	11 卸 55.0 %	14 卸 56.0 %
4.その他	1 卸 2.3 %	4 卸 6.8 %	1 卸 4.0 %	1 卸 4.5 %	1 卸 5.0 %	2 卸 8.0 %
返品のない取引卸数	43 卸	59 卸	25 卸	22 卸	20 卸	25 卸

問41 返品がない理由



<販売先小売>

延 40 卸
20.6 %
延 96 卸
49.5 %
延 92 卸
47.4 %
延 10 卸
5.2 %
延 194 卸

[7]大手外食

4 卸
15.4 %
17 卸
65.4 %
15 卸
57.7 %
0 卸
0.0 %
26 卸

[8]中小外食

6 卸
12.0 %
27 卸
54.0 %
28 卸
56.0 %
2 卸
4.0 %
50 卸

[9]ベンダー

3 卸
8.1 %
18 卸
48.6 %
19 卸
51.4 %
3 卸
8.1 %
37 卸

<販売先実需>

延 13 卸
11.5 %
延 62 卸
54.9 %
延 62 卸
54.9 %
延 5 卸
4.4 %
延 113 卸

《全販売先》

延 53 卸
17.3 %
延 158 卸
51.5 %
延 154 卸
50.2 %
延 15 卸
4.9 %
延 307 卸

問 42 その他ご意見があればご記入下さい。

〔略〕

平成 22 年度 「取引実態調査」(第 5 回) 結果

平成 23 年 5 月 発行

編集 全国米穀販売事業共済協同組合 経営相談室

〒103-0001 東京都中央区小伝馬町 15-15

TEL (03)4334-2125 FAX (03)4334-2148

承諾なしに転載、転写およびデータベース、磁気媒体、
光ディスクなどへの入力を禁じます。